注3

大学番号:国018

[平成28年度設置]

計画の区分:学部の設置

注1

意見伺い

宇都宮大学 地域デザイン科学部 ミュニティデザイン学科 建築都市デザイン学科 社会基盤デザイン学科

注2

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 宇都宮大学 平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務部総務課

職名・氏名 荒井 降

電話番号 028-649-5011

(夜間) 028-649-5011

F A X 028-649-5027

e — mail syosoumu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.j

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

大学新設の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

• 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

地域デザイン科学部

<]:	ミュニティテ゛ザ、イン学科> <建築都市テ゛ザ、イン学科> <社会基盤デ゛ザ、イン学科>	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2.	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	80
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	81
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	83
6.	留意事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	110
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	112

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 宇都宮大学

- (2) 大 学 名 宇都宮大学
- (3) 大学の位置

〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東7の1の2 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
学 長	(イシダ トモヤス) 石田 朋靖 (平成27年4月)		
学 部 長	(ツカモト ジュン) 塚本 純 (平成28年4月)		
	コミュニティテ [*] ザ 小 学科長 (ナカムラ ユウジ) 中村 祐司 (平成28年4月)	コミュニティデザ 小学科長 (ナカジマ ノゾム) 中島 望 (平成29年4月)	平成29年4月1日付け 任期満了に伴う交代 (29)
学科長	建築都市デザイン学科長 (コオリーキミコ) 郡 公子 (平成28年4月)	建築都市デザイン学科長 (ナカラシマ シロウ) 中島 史郎 (平成29年4月)	平成29年4月1日付け 任期満了に伴う交代 (29)
	社会基盤デザイン学科長 (イケダ ヒロカズ) 池田 裕一 (平成28年4月)	社会基盤デザイン学科長 (オオモリ ノブアキ) 大森 宣暁 (平成29年4月)	平成29年4月1日付け 任期満了に伴う交代 (29)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成27年度に報告済の内容 → (27) 平成29年度に報告する内容 → (29)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
 - 様式は、平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合 には、欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	川 行
		人	Y	年次	Y	
地域デザイン科学部	法学関係			人		
コミュニティデザイン学科		4	50	0	200	
	社会学・社会					
	福祉学関係					
学士(コミュニティデザイン学)	理学関係					

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成2	6年度	平成2	7 年度	平成 2	8 年度	平成 2	9 年度	平均入学定員	備	考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超 過 率	VFF	73
	- 人	- 人	- 人	- 人	50人	人	50人	人			
A 入学定員	(-	-) -]	-)	-) -]	([-	-) -]	([-	-) -]			
	-	-	-	-	169	-	208	-			
志願者数	(-)	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-)	(-)	(-)	(-) [-]			
	-	_			124		130				
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-) [-]	(-)	(-)	(-)	(-)	1. 08倍		
	-		_	_	59	_	58	-			
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
- 1 24 + 41					55	-	53	- ,			
B 入学者数	[(-)	(-) [_]	[-]	(-)	(-) [_]	(-)	(-) [_]	(-)			
入学定員超過率			LJ			4		_ L _ J			
B/A	1	-	-	-	1.	1	1.	06			

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、編入学の状況について<u>外数で</u>記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「一」を記入して
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**して ください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 2	6年度	平成2	7 年度	平成2	8 年度	平成 2	9 年度	備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	1/用	有
		-	-	-	-	55	-	53			
	1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
					-	-	-	55			
	2年次			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
				(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
						-	-	-	-		
	3 年次					[-]	[-]	[-]	[-]		
						(-)	(-)	(-)	(-)		
	4 年次							[-]	[-]		
				/		/	_	(-)	(-)		
	= ⊥	г -	- 1	г -	- 1] - 5	5	Г.	05		
	計	L -	.]	_	7	L -	.]	_	.]		
		(-	,	_)	(-	.)	_	.)		

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退学	全者数(内訳	-	主な退学理由	入学者数に 対する退学者数	
対象年度			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		の割合 (a/b)	
			平成26年度	人	人			
平成26年度	- 人	- 人	_ 1	平成27年度	人	人		- %
入学者	- 人		平成28年度	人	人		70	
			平成29年度	人	人			
			平成27年度	人	人			
平成27年度 入学者	- 人	- 人	平成28年度	人	人		- %	
			平成29年度	人	人			
平成28年度	55 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %	
入学者	00 %	0 %	平成29年度	0 人	0 人		0.00 /0	
平成29年度 入学者	53 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %	
合 計	108 人	0 人					0.00 %	

- (注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要ありません。)</u>
 - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、<u>退学者数の内数</u>を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してくた
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職・学生個人の心身に関する事情・家庭の事情・除籍・その他

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
 - ・ 様式は、平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		備考			
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員)# <i>1</i> 5
地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 学士(工学)	工学関係	年 4	人 50	年次 人 3	206	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成26	6年度	平成 2	7 年度	平成2	8年度	平成2	9 年度	平均入学定員	備	考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超 過 率	VĦ	79
	- 人	- 人	- 人	- 人	50人	- 人	50人	- 人			
A 入学定員	(-)	(-	-)	(-)	(-	.)			
	[-]	[-	-]	[-]	[-]			
	-	-	-	-	223	-	146	-			
志願者数	(-) ((-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[2]	[-]	[1]	[-]			
	-	-	-	-	184	-	126	-			
受験者数	(-) ((–)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1. 04倍		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[-]	[1]	[-]	1.0410		
	-	-	-	-	56	-	55	-			
合格者数	(-) ((-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[-]			
	-	-	-	-	53	-	51	-			
B 入学者数	(-) ((-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
入学定員超過率	_		_	_	1	06	1	02			
B/A					١.	00	١.	02			

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
 - []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - · 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度	平成2	6 年度	平成2	7 年度	平成 2	8 年度	平成2	9 年度	備	考
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	1月	45
	-	-	-	-	53	-	51	-		
1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
			-	-	-	-	53	-		
2年次			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
0 = 1					-	-	-	- 1		
3年次					[-]	[-]	[-]	[-]		
					(-)	(-)	(-)	(-)		
4 年次							- 1			
4 4 次							(-)	[-]		
					5	3		04		
計	- - ا	.]	Г -	. 1	- - ۱	.]	Г -	1		
	(-	.)	(-	.)	(-	.)	(-)		

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - · 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退学	全者数(内訳)	主な退学理由	入学者数に 対する退学者数	
対象年度			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		の割合 (a/b)	
			平成26年度	人	人			
平成26年度	_ J	- 人	- 人	平成27年度	人	人		- %
入学者	- 人			平成28年度	人	人		70
			平成29年度	人	人			
			平成27年度	人	人			
平成27年度 入学者	- 人	- 人	平成28年度	人	人		- %	
			平成29年度	人	人			
平成28年度	53 人	0 人	平成28年度	人	人		0.00 %	
入学者	33 X	0 X	平成29年度	人	人		0.00 70	
平成29年度 入学者	51 人	0 人	平成29年度	人	人		0.00 %	
合 計	104 人	0 人					0.00 %	

- (注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要ありません。)</u>
 - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、<u>退学者数の内数</u>を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してくた
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職・学生個人の心身に関する事情・家庭の事情・除籍・その他

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
 - ・ 様式は、平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合 には、欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1
地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 学士 (工学)		年 4	人 40	3年次 人 3	166	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均入学定員	備考
区分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超 過 率	illi 🤣
	- 人 - 人	- 人 - 人	40人 - 人	40人 - 人		
A 入学定員	(-)	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]		
			93 –	97 –		
志願者数						
			73 –	75 –		
受験者数	(-) (-)	(-) (-)	(-) (-)	(-) (-)	1 06/4	
	[-][-]	[-][-]	[-][-]	[-][-]	1.06倍	
A 15			47 –	43 –		
合格者数						
		L - J L - J	42	42		
B 入学者数			43 -	42 -		
入学定員超過率	_	_	1. 07	1. 05		
B/A			1.07	1.00		

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、編入学の状況について<u>外数で</u>記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
 - []内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - · 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

平成2	6年度	平成 2	7 年度	平成2	8 年度	平成2	9 年度	进	考
春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	1)用	与
-	-	-	-	43	-	42			
[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
		-	-	-	-	43	-		
		[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
				_	_	_	_		
					[-]		[-]		
				(-)	(-)	(-)	(-)		
						-	-		
							[-]		
				/	2				
г _	ו	г _	-	4 г _	. 1	Г _	. 1		
(-) T	(-) 1	(-	۱ .	(-	.) .		
	春季入学	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期 春季入学 [-] [-] [-] (-) (-) - [-]	春季入学 その他の学期 春季入学 その他の学期 - - - [-] [-] [-] (-) (-) (-) - - - [-] [-] [-]	春季入学 その他の学期 春季入学 その他の学期 春季入学 43 [-] [-] [-] [-] [-] [-] (-) (-) (-) (-) (-) [-] [-] [-] (-) (-) (-)	春季入学 その他の学期 春季入学 その他の学期 春季入学 その他の学期 - - - 43 - [-] [-] [-] [-] [-] [-] [-] [-] (-) (-) (-) - - - - - [-] [-] [-] [-] - - - [-] [-] [-] - - -	春季入学 その他の学期 春季入学 その他の学期 春季入学 その他の学期 春季入学 43 - 42 [-] [-] [-] [-] [-] [-] [-] [-] (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) 43 [-] [-] [-] [-] [-] [-] (-) (-) (-) (-) (-) (-)		番季入学 その他の学期 春季入学 その他の学期 イン・ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内敷で**記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - · 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退学	全者数(内訳)	主な退学理由	入学者数に 対する退学者数
対象年度	, H 200 (2)		退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	1 600	の割合 (a/b)
			平成26年度	人	人		
平成26年度	- 人	- 人	平成27年度	人	人		- %
入学者	- 人	- 7	平成28年度	人	人		- 90
			平成29年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	- 人	- 人	平成28年度	人	人		- %
			平成29年度	人	人		
平成28年度	43 人	0 人	平成28年度	人	人		0.00 %
入学者	40 X	0 X	平成29年度	人	人		0.00 70
平成29年度 入学者	42 人	0 人	平成29年度	人	人		0.00 %
合 計	85 人	0 人					0.00 %

- (注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要ありません。)</u>
 - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、<u>退学者数の内数</u>を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してくた
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職・学生個人の心身に関する事情・家庭の事情・除籍・その他

2 授業科目の概要

<地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科>

(1) 授業科目表

) :	授業科目表 I	1		単位数			専任参	数員等	の配置		
科日	区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	備考
1111		[XX11日 47日 47	HU I I IV	1/2-	∔ ⊓	-	440	教	Acc	#4.	т.	vm·- 3
基盤教育科目	初期導入科目	新入生セミナー	1前	修	択	<u>由</u>	授 6	教授 6	新 士 2	教	手	世界 (本音) (本音) (本音) (本音) (本音) (本音) (本音) (本音)
	リテラシー 科目	Integrated English I A Integrated English I B Integrated English II A Integrated English II B Advanced English I (Intensive Reading) Advanced English I (Pleasure Reading) Advanced English I (Essay writing) Advanced English I (Public Speaking) Advanced English I (Public Speaking) Advanced English I (Discussion & Debate) Advanced English I (Speech Clinic) Advanced English I (Communicative Grammar) Advanced English I (Media English) Advanced English I (TOEIC) Advanced English I (TOEFL) Advanced English I (EAP) Honors English B Honors English B	1前 1前 1前 1前 1前 1 後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後	2 1 2 1								兼6 兼2 当教員を追加 (28) 兼8 兼6 力リキュラム充実のため担 兼2 兼8 兼4 兼2 兼2 兼4 兼2 兼4 兼2 兼4 兼2 兼4 兼2 兼4 兼2 兼4 兼2 兼4 兼2 兼4 兼2 兼4 兼2 力リキュラム充実のため担 美2 兼4 兼2 カリキュラム充実のため担 共2 第8 兼4 兼2 カリキュラム充実のため担 共3 カリキュラム充実のため担 兼3 カリキュラム充実のため担 兼4 兼2 カリキュラム充実のため担 兼3 第2 兼4 兼2 兼4 兼2 カリキュラム充実のため担 兼3 第2 兼4 兼2 カリキュラム充実のため担 兼3 第2 兼4 兼2 カリキュラム充実のため担 兼3 第2 兼4 兼2 カリキュラム充実のため担 兼3 カリキュラム充実のため担 兼3 カリキュラム充実のため担 兼4 兼2 カリキュラム充実のため担 兼3 カリキュラム充実のため担 兼4 兼2 兼4 兼2 カリキュラム充実のため担 兼3 カリキュラム充実のため担 兼4 兼2 カリキュラム充実のため担 兼4 兼2 カリキュラム充実のため担 兼4 兼2 カリキュラム充実のため担 兼4 兼2 カリキュラム充実のため担 兼4 兼2 兼4 兼4 兼2 カリキュラム充実のため担 兼4 兼2 カリキュラム充実のため担 兼4 兼6 カリキュラム充実のため担 第6 第7 第8 第8 第8 第8 第8 第8 第8 第8 第8 第8

_			H	1 0 0 160	-		 		-		}/ -0	
			Honors English D	1・2・3・4後		1					兼2	
			Honors English E	1・2・3・4前		1					兼2	
			Honors English F	1・2・3・4後		1					兼2	
			Honors English G	1・2・3・4前		1					兼2	
			Honors English H	1・2・3・4後		1					兼2	
			Honors Camp A	1・2・3・4前		2					兼1	
			Honors Camp B	1・2・3・4前		2					兼1	
			Honors Camp C	1・2・3・4前		2					兼1	
			Honors Camp D	1・2・3・4前		2					兼1	
			Study Abroad A	1・2・3・4前		2					兼1	カリキュラムの整備により
			Overseas Study A	1・2・3・4前		1					*·1	科目を追加 (29) 習学期間により単位認定
			•	1·2·3·4前		1 0						カリキュラムの整備により
			Overseas Study A			2					200-	科目を廃止 (29)
			Overseas Study A	1·2·3·4前		3					兼1	
			Overseas Study A	1·2·3·4前		4					兼1	
	リラ	/	Study Abroad B	1・2・3・4前		2					兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
	5		Overseas Study B	1•2•3•4前		4					兼1	留学期間により単位認定
	3	/	Overseas Study B	1·2·3·4前		2					兼1	カリキュラムの整備により
	 乗		Overseas Study B	1・2・3・4前		3					兼1	科目を廃止(29)
	ı A		Overseas Study B	1·2·3·4前		4					兼1	
			Study Abroad C	1.2.3.4前		1						カリキュラムの整備により
			study heredu e	1 2 0 100		-						科目を追加 (29)
			Overseas Study C	1•2•3•4前		4					兼1	留学期間により単位認定
			Overseas Study C	1·2·3·4前		2					兼1	カリキュラムの整備により 科目を廃止 (29)
			Overseas Study C	1·2·3·4前		3					兼1	A D 2 /611 (20)
			Overseas Study C	1·2·3·4前		4					兼1	
			Study Abroad D	1.2.3.4前		1					兼1	カリキュラムの整備により
			0. 1. 5								26.4	科目を追加 (29)
			Overseas Study D	1 · 2 · 3 · 4前		1					兼1	留学期間により単位認定 カリキュラムの整備により
			Overseas Study D	1·2·3·4前		2						科目を廃止 (29)
			Overseas Study D	1·2·3·4前		3					兼1	
			Overseas Study D	1•2•3•4前		4					兼1]
			スポーツと健康	1前	2							カリキュラム充実のため担 当教員を追加(28)
			情報処理基礎	1前	2		1				//// /	当教員を追加 (20)
基			とちぎ終章学総論	1後	1			1				※講義
盤			西洋思想	1・2前		2					兼1	
教育			現代思想	1・2後		2					兼1	
科			東洋思想	1・2前		2					兼1	
目		哲	論理学	1・2前		2					兼1	
		学領	西洋の倫理思想	1・2後		2					兼1	
		4 c1;	科学思想史	1・2前		2					兼1	
			東アジアの宗教と文化	1・2前		2					兼1	
			仏教における人間形成論	1・2前		2					兼1	
			心理学	1・2前		2				_		カリキュラムの整備により
			心理子	1.780		4					飛1	科目を追加(29)
			認知心理学入門	1・2後		2					兼1	
			行動心理学入門	1・2前		2					兼1	
			実験心理学入門	1・2前		2					兼1	
			発達と学習の心理学	1・2後		2					兼1	
			パーソナリティ心理学概論	1・2前		2		1				
		心理	障害者心理学	1・2前		2					兼1	
	,	学	子どもの言語とコミュニケーション入門	1・2後		2					兼1	
	人女	領域	心理学と人権	1・2前		2						担当教員が退職したため廃
	文 科	坝										止 (29)
	: 学 系		学校臨床心理学	1・2後		2					兼1	カリキュラムの整備により
	糸科		言語習得論	1・2後		2					兼1	科目を追加(28)
	目		質的心理学研究法入門	1・2後		2						カリキュラムの整備により
			Man ext 1 Windows II 1	1 2 1/2							W.1	カリイユノムの金浦により 科目を追加 (29)
			児童生徒の思考と認知	1・2前		2						カリキュラムの整備により TV Plan (20)
			日本文学(古典)	1.2前後		2					兼2	科目を追加 (29)
			日本近代文学講読	1・2前後		2					兼1	<u> </u>
			日本の小説			2						カリキュラムの整備により
			ログマンハ [*] IT	1・2前		4					#1	カリキュフムの整備により 科目を追加(28)
			日本の古典	1・2後		2					兼1	カリキュラムの整備により
			中国文学	1.04							₩1	科目を追加(28)
		X	中国文学	1・2前		2					兼1	[
		学領	韓国文学	1・2後		2					兼1	Lilly was a substitute of the
		域	ドイツ文学	1・2前		2					兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
			フランス文学	1・2後		2					兼1	TIP C MAN (20)
			比較文学	1・2前		2					兼1	<u> </u>
			ロシア文学	1・2前		2					兼1	
			英文学入門	1・2後		2					兼1	
			米文学入門	1・2前		2					兼1	<u> </u>
1			21:24 4 2 M 4	* 540							AK 1	:

_	-		0.14.1-15.4-1.26								 34.	-
			ヨーロッパ地域文化論	1・2前		2					兼1	
			現代美学	1・2後		2					兼1	
			芸術学	1・2前		2					兼1	
			芸術と自然	1・2前		2					兼1	隔年
			音楽通論	1・2後		2					兼1	
			声楽の魅力	1・2後		2					兼1	
		術	器楽合奏概論	1 2 後 1 · 2 後								カリキュラムの見直しによ
		領	苗米古矣既謂	1.74年		2						り科目を廃止(28)
		域	管打合奏演習	1.2後		2					兼1	
			日本文化A	1・2前		2					兼1	
						2						
			日本文化B	1・2後							兼1	IN State Head At State Man
			美術表現基礎	1・2前		2						オムニバス・共同・※講義
			近現代美術論	1・2後		2					兼2	オムニバス・共同
	. [多言語コミュニケーション学A	1・2前		2					兼1	
	人文		多言語コミュニケーション学B	1・2後		2					兼1	
	科		日本語の表記	1・2前		2					兼1	カリキュラムの見直しによ
	· 学 系											り科目を廃止 (29)
			日本語を文法的に考える	1・2後		2						カリキュラムの整備により
	科目		論理表現の技術	1 . 0%		2					兼1	科目を追加(29)
				1・2後								
			Japanese Communication Arts	1・2後		2					兼1	
		人	ことばから見た人間	1.2後		2						共同
			社会言語学概論-日本語の変遷-	1・2前		2					兼1	
		総合	成人教育と参加型学習	1・2後		2					兼1	
		合領	教育の裏側に光を当てる	1・2前		2			1		Ī	
			生活美学	1・2前		2		1			I	
			ものと文化と社会	1・2後		2		_	1		I	
				-					1		2/- 1	
			映像分析の実践	1・2前		2					兼1	
			世界のなかの日本文化	1・2後		2					兼1	
			ボディ・ランゲージ	1・2後		2					兼1	
			声のトレーニング	1・2後		2					兼1	カリキュラムの整備により
												科目を追加 (28)
												担当教員が退職したため廃 止 (29)
			日本国憲法	1.2前後		2					兼3	11. (29)
		法	法学入門	1・2前		2					兼1	
基		7										
盤		領域	国際化と人権	1・2前		2					兼1	
教		->/	知的財産権概論	3・4後		2					兼1	※演習
育			国際政治史	1・2前		2					兼1	
科目			戦争と平和をめぐる諸問題	1・2後		2					兼1	
H			現代政治の理論と実際	1・2後		2		1				
		政	現代日本の政治と行政	1・2後		2			1			カリキュラムの整備により
		治	2111 1 2111 2 11 21									科目を追加 (29)
		学										担当 三田 妃路佳
		領域										平成28年12月 教員審査済 判定 可
		坝	グローバル・ガバナンス論入門	1・2前		2					兼1	刊足可
			政治の世界	1・2前		2					兼1	
			現代日本政治論	1.2後		2					兼1	
		経済	経済学I	1・2前		2					兼1	
		学	経済分析入門	1・2前		2		1			Ī	
		領域	資本市場の役割と証券投資	1.2後		2					兼1	
	, }	-30	資本論を読もう	1.2前		2					兼1	カリキュラムの整備により
	社	経										科目を追加 (28)
	会科	済	応用経済学入門	1.2後		2			1		I	
	学	学	数理経済学入門	1・2前		2					兼1	
	学系:	領域	ゲーム理論入門	1.2後		2					兼1	
	科	-5%	農業経営入門	1.2前		2		1			Ī	
	目		社会学入門	1・2後		2				-+	兼1	
			応用社会学	1・2後		2			1		AIV I	カリキュラムの整備により
			心用也去于	1.772		4			1		Ī	ガリキュフムの整備により 科目を追加 (28)
												担当 中川 敦(准教授)
		社										平成28年8月 教員審査済
		숲	77 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 /	1 024		_						判定可
		学	現代日本の社会	1・2前		2					兼1	
		tet:	マスコミ入門	1・2後		2					兼1	
		域	オセアニア民族誌	1・2後		2					兼1	
			文化人類学入門	1.2後		2					兼1	
			環境と国際社会	1.2前		2					兼1	
			多文化共生論入門	1・2前		2					兼1	
	ŀ		人文地理学入門 I	1・2前		2	\vdash			-	兼1	<u> </u>
			人文地理学入門Ⅱ	1・2前		2					兼1	
		地										
		理	農村空間論	1・2後		2					兼1	1
		学領	地誌学	1・2後		2				1		カリキュラムの整備により
		領域										科目を追加(28) 担当 鈴木 富之(講師)
		~~										平成28年8月 教員審査済
												判定 可
	_	_			_						_	

_		not	歷史学入門	1・2前	1	2				-		兼1	ī
		歴史	歴史と民族	1・2前		2						兼1	
		学											
		領	歴史と文化	1・2後		2						兼1	
		域	地域の歴史	1・2後		2						兼1	
			中東の社会と文化	1・2前		2						兼1	
			社会開発入門	1・2前		2						兼1	
			遊びの理論とゲーム開発	1・2後		2						兼1	
			遊び輪と遊び指導	1・2前		2						兼1	
			住まいづくり・まちづくり入門	1・2前		2						兼1	※講義
			オイコス入門	1・2前		2						兼1	
			障害者問題入門	1・2前		2							隔年
			数や図形の絵本づくり	1・2後		2							※講義
			栃木県の歴史と文化	1・2前		2							※講義
			/ ./										
			社会福祉入門	1・2後		2						兼1	:
			環境教育	1・2前		2							カリキュラムの整備により 科目を追加(28)
			地域環境社会学	1・2後		2							カリキュラムの整備により
													科目を追加(28)
			災害復興学入門	1・2後		2						兼1	:
	社		グローバル化と外国人児童生徒教育	1・2後		2						兼6	オムニバス・共同
	会		国際協力論入門	1・2前		2						兼1	
	科		伝統染織と感性	1・2後		2						兼1	
	学系	社	著作権法入門	1・2後		2						兼1	
	科	会総	教科書に見る歴史と社会	1・2後		2						兼1	
	目		人と自然の共生を考える	1・2通		2						兼1	集中
		領	希望の地域社会論	1.2後		2						兼5	オムニハ゛ス
		域		***									担当教員退職のため科目内
													容を変更,担当教員の変更 (29)
			地域振興と大学の役割	1・2後		2							(29) カリキュラムの整備により
			心気が外でパージ区間	1 2 10		-							科目を追加 (28)
			農業と文明	1・2後		2							カリキュラムの整備により
			世界の農業	1・2前		2							科目を追加(28) カリキュラムの整備により
			世がり辰木	1.740		4							ガリイユノムの亜偏により 科目を追加 (28)
			アフリカ学入門	1・2前		2							カリキュラムの整備により
			中国事情	1 04%		2							科目を追加 (28)
基				1・2後								兼1	
盤			グローバル韓国学	1・2前		2						兼1	
教			科学・技術・教育・社会を考える	1・2後		2						兼1	14. mm 34.
育科			セクソロジー入門	1・2後		2							※講義
目			高齢者福祉入門	1・2前		2]				カリキュラムの整備により 科目を追加(29)
													担当 呉 世雄(講師)
													平成28年12月 教員審査済
			戸吹払もの生吹し 細暦	1 04%		0							判定 可 カリキュラムの整備により
			国際協力の実際と課題	1・2後		2							カリイユノムの登価により 科目を追加 (29)
			現代数学入門	1.2後		2						兼1	
			電気電子数学入門	1・2前		2						兼1	※講義
		粉	Mathematicaによる微積分入門	1・2前		2						兼1	
		学	Mathematicaによるデータ解析入門	1・2後		2						兼1	
		領は	振動の科学	1・2前		2						兼1	
		域	数学の世界	1・2前		2							オムニハ゛ス
			20.0	1.7		_							カリキュラムの整備により
			化	1 02/							igspace		科目を追加(28)
			教養物理	1・2前		2							オムニハ゛ス
			物理学入門	1・2前		2						兼1	and the second second
		4.15	家庭の中の物理 物理工学最前線	1・2前		2							カリキュラムの整備により 科目名称を変更(29)
		物理	物理工学取削減 Mathematica入門	1.2前後		2						兼1	
		生学	放射線科学入門	1・2前		2						兼1	
	自	領	エレクトロニクス科学史	1・2前		2						兼1	
	然科	域	エレクトロークへ付子史 バイオミメティクス入門	1・2後		2						兼1	
	科学		/ "[タスクテイスの八円	1.747友		4						水工	
	系												
	科目		地球理接しル学	1 . 0 24:	-	0						**1	
	П		地球環境と化学	1・2前		2						兼1	
			環境と生物化学	1・2前		2						兼1	
			不思議な化学	1・2後		2						兼1	
		化	水素とエネルギー	1・2後		2						兼1	
		学	リメディアル化学	1・2前		2						兼1	
		領域	物質・材料の機器分析入門	1・2前		2						兼1	
		以	微生物の化学	1・2後		2						兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
													科目を追加 (28) 担当教員が退職したため廃
													止 (29)
		L	ノーベル化学賞周辺の化学	1.2後		2						兼1	
		生物	人間生活と植物	1.2後		2						兼1	
		学	食料生産の生物学	1.2後		2						兼1	
L		領域	21世紀を支える熱帯植物	1.2後		2		_			L I	兼1	
				_		_				_	_	_	

		野外における野生動物識別テクニックの基礎	1・2前		2				兼	(1) カリキュラムの整備により日々なな変更(20)
		野外における鳥獣識別テクニックの基礎 								科目名称を変更 (28)
	生	基礎生物学	1・2前		2				兼	ŧ1
	物	ウイルスの世界と生物の世界	1・2前		2				兼	14 カリキュラムの見直しに
	学	* 叶1 され利労士で、ここ、こいゼノビウ和ウもヘノアる	1 0%		0				34	り科目を廃止 (29)
	領域	美味しさを科学するーミシュランガイド宇都宮をつくろうー	1・2後		2					[1] ※講義
	-3%	人体の中の小宇宙	1・2後		2				兼	※1 カリキュラムの整備によ 科目を追加(28)
		昆虫生理生態学	1・2後		2				兼	₹1 カリキュラムの整備によ
										科目を追加(29)
		C言語・プログラミング入門	1・2前		2				兼	ŧ1
		プログラミング応用	1・2前		2				兼	ŧ1
	情知	グラフィックス入門	1・2後		2				兼	ŧ1
	報科	インターネットのしくみ	1.2後		2				兼	ŧ1
		Webのしくみ	1・2後		2				兼	ŧ1
	領	身のまわりのICT	1・2後		2				兼	ŧ1
	域	ワイヤレス通信のしくみ	1・2後		2				兼	ŧ1
自		医用画像工学入門	1・2前		2				兼	
然科	地	地球環境と生物事件史	1・2前		2				兼	
科学	地学師	身近な気象学	1・2後		2				兼	:
学系	領域	肥満の科学	1・2後		2			-	兼	
科										•
目		健康管理学概論	1・2後	Ī	2					[1]
	ME	健康のためなら死んでもいい!?	1・2前	Ī	2				#	₹1 カリキュラムの整備によ 科目を追加(28)
	康科	生活習慣と健康	1・2前	Ī	2				¥	*** カリキュラムの整備によ
	科学		111	Ī	-					科目を追加 (28)
	領	バレーボールの科学	1・2後	I	2					£1
	域	スポーツトレーニング論	1・2後	Ī	2				兼	₹1 カリキュラムの整備によ
		生 油 反	1 0/4	Ī	0				يد	科目を追加 (28)
		精神医学概論	1.2後	Ī	2				#	₹1 カリキュラムの整備によ 科目を追加(29)
		人間の感覚を測る	1・2前		2				兼	1 ※講義
		生物の多様性とは何か	1・2後	Ī	2					£1
	自	雑草と人のくらし	1・2後	Ī	2					£1
	然	維草観察入門			2					₹1 ※講義
	総		1・2前							<u> </u>
	合領	雑草と里山のフィールド演習 I	1・2前		1					£1 集中
	域	雑草と里山のフィールド演習 II	1・2後		1					£2 共同・集中
		創造ものづくり入門	1・2後		2				兼	(2 共同 カリキュラムの整備による
										カリイユノムの金浦によ 科目を追加 (28)
	1	ドイツ語基礎 I	1・2前		1				兼	(1
		ドイツ語基礎Ⅱ	1・2後		1				兼	F1
		ドイツ語基礎Ⅲ	1・2前		1				兼	:
		ドイツ語基礎IV	1・2後		1				兼	•
									兼	:
		ドイツ語応用Ⅰ	1・2前		1					:
		ドイツ語応用Ⅱ	1・2後		1					ŧ1
		フランス語基礎I	1・2前		1					₹2
		フランス語基礎Ⅱ	1・2後		1					2
		フランス語基礎Ⅲ	1・2前		1				兼	ŧ1
1		フランス語基礎IV	1・2後	Ī	1				兼	ŧ1
1		フランス語応用 I	1・2前	I	1				兼	£1
		フランス語応用Ⅱ	1・2後	Ī	1				兼	E1
		スペイン語基礎 I	1・2前	Ī	1				兼	8
		スペイン語基礎Ⅱ	1・2後	Ī	1				兼	:
				Ī	1		1		1 4	11:
_		スペイン語其磁Ⅲ	• 7 pii						¥	
1	kπ	スペイン語基礎III	1・2前						兼	€1
	初習	スペイン語基礎IV	1・2後		1				兼	€1 €1
译夕	習	スペイン語基礎IV スペイン語応用 I	1·2後 1·2前		1 1				兼	E1 E1
至 夕 豆	習 外 国	スペイン語基礎IV スペイン語応用 I スペイン語応用 II	1·2後 1·2前 1·2後		1 1 1				兼 兼 兼	E1 E1 E1
译 夕 豆 語	習外国語	スペイン語基礎IV スペイン語応用 I	1·2後 1·2前		1 1				兼 兼 兼	E1 E1 E1 E1 E2
音 夕 日 語 済	習外国語系	スペイン語基礎IV スペイン語応用 I スペイン語応用 II	1·2後 1·2前 1·2後		1 1 1				兼 兼 兼	E1 E1 E1
音夕 国語 済禾	習外国語	スペイン語基礎IV スペイン語応用 I スペイン語応用 II 中国語基礎 I	1·2後 1·2前 1·2後 1·2前		1 1 1 1				兼 兼 兼	E1 E1 E1 E1 E2 E2
音夕 国語 済禾	習外国語系科	スペイン語基礎IV スペイン語応用 I スペイン語応用 II 中国語基礎 I 中国語基礎 I	1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後		1 1 1 1				兼 兼 兼	E1 E1 E1 E1 E2 E2 E2
音夕 国語 另系	習外国語系科	スペイン語基礎IV スペイン語応用 I スペイン語応用 II 中国語基礎 I 中国語基礎 I 中国語基礎 II	1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前		1 1 1 1 1				兼 兼 兼 兼	E1 E
音夕 国語 済禾	習外国語系科	スペイン語基礎IV スペイン語応用 I スペイン語応用 II 中国語基礎 I 中国語基礎 II 中国語基礎 II 中国語基礎 II 中国語基礎 II	1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後		1 1 1 1 1 1 1				兼 兼 兼 兼 兼 兼	E1 E
音夕 国語 済禾	習外国語系科	スペイン語基礎IV スペイン語応用 I スペイン語応用 II 中国語基礎 I 中国語基礎 II 中国語基礎 II 中国語基礎 IV 中国語応用 I 中国語応用 I	1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後		1 1 1 1 1 1 1				兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼	E1 E
音夕 国語 済禾	習外国語系科	スペイン語基礎IV スペイン語応用 I スペイン語応用 II 中国語基礎 I 中国語基礎 II 中国語基礎 II 中国語 基礎 IV 中国語応用 I 中国語応用 I タイ語基礎 I	1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前		1 1 1 1 1 1 1 1 1				兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼	E1 E
音夕 国語 済禾	習外国語系科	スペイン語基礎IV スペイン語応用 I スペイン語応用 II 中国語基礎 I 中国語基礎 II 中国語基礎 IV 中国語 基礎 IV 中国語 応用 I 中国語 応用 I タイ語 基礎 II	1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼	E1 E
音夕 国語 済禾	習外国語系科	スペイン語基礎IV スペイン語応用 II スペイン語応用 II 中国語基礎 II 中国語基礎 II 中国語基礎 IV 中国語応用 I 中国語応用 I タイ語基礎 II タイ語基礎 II タイ語基礎 II	1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼	E1 E
音夕 国語 済禾	習外国語系科	スペイン語基礎IV スペイン語応用 I スペイン語応用 II 中国語基礎 I 中国語基礎II 中国語基礎IV 中国語応用 I 中国語 E 礎 I タイ語 基礎 I タイ語 基礎 II タイ語 基礎 II タイ語 基礎 II	1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼	E1 E
音夕 国語 済禾	習外国語系科	スペイン語基礎IV スペイン語応用 I スペイン語応用 I 中国語基礎 I 中国語基礎II 中国語基礎IV 中国語応用 I 中国語応応用 I タイ語基礎 I タイ語基礎 I タイ語基礎 I タイ語基礎 I タイ語 基礎 II	1·2& 1·2in 1·2& 1·2in 1·2& 1·2in 1·2& 1·2in 1·2& 1·2in 1·2& 1·2in 1·2& 1·2in 1·2& 1·2in 1·2.2in 1.2in		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼	E1 E
音夕 国語 済禾	習外国語系科	スペイン語基礎IV スペイン語応用 II 中国語基礎 I 中国語基礎II 中国語基礎II 中国語応用 I 中国語応用 II タイ語基礎 I タイ語基礎 I タイ語基礎 I タイ語基礎 I タイ語 基礎 II タイ語 基礎 II タイ語 基礎 II タイ語 基礎 II	1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼	E1 E
音夕 国語 済禾	習外国語系科	スペイン語基礎IV スペイン語応用 I スペイン語応用 I 中国語基礎 I 中国語基礎II 中国語基礎IV 中国語応用 I 中国語応応用 I タイ語基礎 I タイ語基礎 I タイ語基礎 I タイ語基礎 I タイ語 基礎 II	1·2& 1·2in 1·2& 1·2in 1·2& 1·2in 1·2& 1·2in 1·2& 1·2in 1·2& 1·2in 1·2& 1·2in 1·2& 1·2in 1·2.2in 1.2in		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼	E1 E
音夕 国語 済禾	習外国語系科	スペイン語基礎IV スペイン語応用 II 中国語基礎 I 中国語基礎II 中国語基礎II 中国語応用 I 中国語応用 II タイ語基礎 I タイ語基礎 I タイ語基礎 I タイ語基礎 I タイ語 基礎 II タイ語 基礎 II タイ語 基礎 II タイ語 基礎 II	1·2& 1·2 in		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼	E1 E
音 夕 囯 詣 済 禾	習外国語系科	スペイン語基礎IV スペイン語応用 I スペイン語応用 I 中国語基礎 I 中国語基礎II 中国語基礎IV 中国語応用 I 中国語基礎 I タイ語基礎 I タイ語基礎 I タイ語基礎 I タイ語基礎 I タイ語基 E タイ語 E タイ語 E の I タイ語 E タイ語 E タ タイ語 E タイ語 E タ タ タ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ	1·2後 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·26 1·26 1·26 1·26 1·27 1·28 1·28 1·29 1·20		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼	E1 E
香夕 国 語 系	習外国語系科	スペイン語基礎IV スペイン語応用 II 中国語基礎 II 中国語基礎 II 中国語基礎 II 中国語基礎 II 中国語基 E	1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·26 1·2後 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼	E1 E
香夕 国 語 系	習外国語系科	スペイン語基礎IV スペイン語応用 II 中国語基礎 II 中国語基礎 II 中国語基礎 II 中国語基 E	1·2後 1·2前 1·2後 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼	E1
香夕 国 語 系	習外国語系科	スペイン語基礎IV スペイン語応用 I スペイン語応用 I 中国語基礎 I 中国語基礎 I 中国語基礎 I 中国語基	1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼	E1
香夕 国 語 系	習外国語系科	スペイン語基礎IV スペイン語応用 II 中国語基礎 II 中国語基礎 II 中国語基礎 II 中国語基 E	1·2後 1·2前 1·2後 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼	E1

	i		田山の共ったノナビリティも老さて	1.046		Lo	 l	l	l	1 1	***	#日·传由·兴港美
			里山のサステイナビリティを考える 人と自然をつなぐ・人と人をつなぐ A	1·2前 1·2前		2						共同・集中・※講義共同・集中
			人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB	1・2前		1						集中・※講義
			実践・宇都宮のまちづくり	1・2前		2					兼1	
			一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と	1・2後		2					兼1	:
			"地域金融機関の役割り"									
			地域金融機関とともに「地方創生」を考える	1・2後		2					兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加(28)
			危機を見つめる力	1・2前		2					兼1	
			3.11と学問の不確かさ	1・2前		2					兼8	オムニバス・共同
			食と生命のフィールド実践演習	1・2前		4						共同
											兼6	担当教員退職のため担当教 員数の変更(28)
			ボランティアという生き方	1.2後		2					兼1	カリキュラムの整備により
			男女共同参画社会を生きる	1・2後		2					華 9	科目を追加 (29) : 共同・集中・※演習
			ものづくり体験	1・2後		2						共同 来
			宇大を学ぶ	1・2後		2						担当教員が退職したため担
												当教員の変更 (28)
			栃木の里山に学ぶ(春夏編)	1・2前		1						集中
			栃木の里山に学ぶ (秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」	1·2後 1·2前		1 2					兼1	集中
			ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」	1・2後		2					兼1	•
			生きるということ	1 2 仮 1 • 2 前		2						担当教員が退職したため廃
												止 (28)
			「ぷろじぇくと」をやってみる	1•2前		1					兼1	担当教員が退職したため廃止(28)
	糸	公	体験!ぷろじぇくと	1・2前		2					兼1	担当教員が退職したため廃
	É	<u></u>	感じる・考える・話す	1・2後		2					— — — — — — — — — — — — — — — — — — —	止 (28) - 担当教員が退職したため廃
	矛			1°21X		-					3K 1	上 (28)
	1		アクティブにとらえる現代社会	1・2後		2					兼1	担当教員が退職したため廃 止 (28)
			サイエンスコミュニケーション入門〜理系と文系の壁を超えよう	1・2前		2					兼1	止 (20) カリキュラムの整備により
			114.14) ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~	1 0///							** -	科目を追加 (28)
			地域メディア演習	1・2後		2					#1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
			環境マネジメント実践	1.2通		2					兼3	カリキュラムの整備により
基			宇大生の宇大生による宇大生のための理想の授業	1・2前		2					兼2	科目を追加(29) : 集中
盤			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1.7							2114-	カリキュラムの整備により
教育			大学論	1・2前		2					菲 1	科目を追加 (29) カリキュラムの整備により
科												科目を追加 (29)
目			青年期教育論	1・2後		2					兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加(29)
			とちぎ終章学特講	1・2後	1			1	1			共同・※講義
												カリキュラム充実のため担 当教員を追加(29)
												担当 呉 世雄(講師)
												平成28年12月 教員審査済 判定 可
			終章を支える社会資源	1・2前		2					兼1	集中
												カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
			とちぎ終章学演習 I	1・2前		2					兼3	共同・※講義
			とちぎ終章学演習Ⅱ	1.2前		2						※講義
			とちぎ仕事学	1.2後		1					兼1	カリキュラムの整備により
			N. 3 (2-1)	1.046		0					*:1	科目を追加 (29)
			ソーシャル・イノベーション (社会変革) 概論	1・2前		2						カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
			地域編集論〜地域振興と情報発信	1・2前		2					兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
			とちぎ企業人に学ぶ	1.2後		2					兼1	科日を追加 (29) カリキュラムの整備により
			~業界・仕事・社会~									科目を追加(29)
			人間と社会 キャリアデザイン	1·2·3·4前 1·2·3·4後		2 2					兼1	共同
			サヤリアデザイン 働くことの意味と実際	1・2・3・4後		2					兼1	:
		キャ	実践企業人材論	1・2・3・4前		2					兼1	:
		IJ	起業の実際と理論	1 · 2 · 3 · 4 後		2					兼1	§
	44-	ア創	先輩に学ぶ	1・2・3・4前		2					兼1	•
	基盤	造	より良く生きる	1.2.3.4前		2						オムニハ゛ス
	キャ	科目	企業のグローバル戦略とキャリア形成	1.2.3.4後		2					兼1	
	サリ	1	グローバル時代の企業経営	1・2・3・4前		2					兼1	集中
	ア		実践して学ぶミニ農業生産	1.2.3.4前		2					兼1	カリキュラムの整備により
	教育		課題発見・解決型インターンシップA	1・2・3・4前		1					兼1	科目を追加 (29) 活動期間により単位認定
	科		課題発見・解決型インターンシップB	1.2.3.4前		2					兼1	カリキュラムの整備により
	目	自	課題発見・解決型インターンシップC	1.2.3.4前		3					兼1	科目を追加(29)
		由	課題発見・解決型インターンシップD	1.2.3.4前		4					兼1	• -
		科目	課題発見・解決型インターンシップ	1·2·3·4前		1					兼1	カリモ ニュの軟件により
Ī		1	課題発見・解決型インターンシップ 課題発見・解決型インターンシップ	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2					兼1	科目を追加 (28)
			課題発見・解決型インターンシップ 課題発見・解決型インターンシップ	1·2·3·4前 1·2·3·4前		3 4					兼1	カリキュラムの整備により - 科目を廃止 (29)
Ц_	<u> </u>		WIND JUJU THINE I V Y V V Y J J	7 2 0 1 [1]		- +					/ (]	可口で <i>所</i> 工 (49)

				-						_	
			キャリア形成に資する活動A	1・2・3・4前		1					活動期間により単位認定
			キャリア形成に資する活動B	1.2.3.4前		2				兼1	カリキュラムの整備により
			キャリア形成に資する活動C	1.2.3.4前		3				兼1	科目を追加(29)
			キャリア形成に資する活動D	1.2.3.4前		4				兼1	
			キャリア形成に資する活動	1•2•3•4前		4				兼1	活動期間により単位認定
			キャリア形成に資する活動	1•2•3•4前		2				兼1	カリキュラムの整備により
			キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前		3					科目を追加(28)
										兼1	カリキュラムの整備により
			キャリア形成に資する活動	1·2·3·4前		4					科目を廃止(29)
	基		社会奉任活動	1·2·3·4前		1				兼1	活動期間により単位認定
	盤		社会奉仕活動	1·2·3·4前		2				兼1	カリキュラムの整備により
	丰		社会奉仕活動	1·2·3·4前		3				兼1	科目を廃止(28)
	ャ	自	社会奉仕活動	1・2・3・4前		4				兼1	
	リー	由		1・2・3・4前							」 活動期間により単位認定
	ア教	科目	国際協力活動			1				7.17	は助別向により単位略定 カリキュラムの整備により
	育		国際協力活動	1·2·3·4前		2				兼1	利目を廃止 (28)
	科		国際協力活動	1·2·3·4前		3				兼1	
	目		国際協力活動	1•2•3•4前		4				兼1	
			実務体験活動	1・2・3・4前		1				兼1	活動期間により単位認定
			実務体験活動	1·2·3·4前		2				兼1	カリキュラムの整備により
										7.17	科目を廃止(28)
			実務体験活動	1•2•3•4前		3				兼1	
基			実務体験活動	1·2·3·4前		4				兼1	
盤			特別体験活動	1•2•3•4前		1				兼1	活動期間により単位認定
教			特別体験活動	1・2・3・4前		2				兼1	カリキュラムの整備により
育科			特別体験活動	1・2・3・4前		3				兼1	科目を廃止(28)
目			特別体験活動								
				1•2•3•4前		4				兼1	J
			アカデミック・ジャパニーズ	1前		1				兼1	
	ĸ	577	日本語アカデミック・リーディング I	1前		1				兼1	カリキュラムの整備により
	量	¥ 学	日本語マカゴミ …カーニノニ・ハバ	1.60		,				3/- -	科目を追加(28)
		Ė	日本語アカデミック・ライティング	1後		1				兼1	
		3	日本語アカデミック・リーディングⅡ	1・2・3・4後		1				兼1	カリキュラムの整備により
	2		日土部マカゴミッカープロボンニーン・・・・	1 0 0 45%		1				≥/- 1	科目を追加(28)
		吾	日本語アカデミック・プレゼンテーション	1・2・3・4後		1				兼1	
	利		科学技術のための専門日本語	1・2・3・4前		1				兼1	
	1	-	人文社会系のための専門日本語	1・2・3・4前		1				兼1	
			日本事情	1・2・3・4前		2				兼1	
			地域デザイン学序論A	1前	2		6	6	1	兼1	オムニハ゛ス
									2		カリキュラム充実のため担 当教員を変更(29)
										I .	担当 呉 世雄
		事									平成28年12月 教員審査済
		門									判定可
	· 참	导 人	地域デザイン学序論B	1後	2					兼13	オムニハ゛ス
	/ 利										担当教員退職のため内容を
		i									変更、担当教員の変更
			III. Liberto 170 a x NA rivers of	. ///						24	(29)
			地域デザイン学序論C	1後	2						オムニバス カリキュラム充実のため担
										来11	カリヤュノム元美のため担 当教員を追加(29)
			地域デザイン訪問	1通	2		1	1	1	<u>₩6</u>	オムニハ、ス・共同
				1.00	_			•	-		カリキュラム充実のため担
											当教員を追加(29)
			地域の姿と課題 I	1前	1		1	1		兼2	オムニバス・共同
		必	地域コミュニケーション演習	1前	1		1	3		兼8	共同
	共	修	ワークショップ演習	3前	1			3		兼3	共同
	通	科	地域プロジェクト演習	3通	2		6	6	1	2114-	共同
	専	目	70,47 - V - 7 - 1 K - 1	0.00	-		·	0	2		カリキュラム充実のため担
	門科										当教員を追加 (29)
	目										担当 呉 世雄(講師)
		ĺ									平成28年12月 教員審査済
		yaa	C 1 C 注羽	0.6%	<u> </u>	1	1				判定 可
1		選択	GIS演習	2後		1	1			#2	オムニハ゛ス
		科	地域の姿と課題Ⅱ	3前		1	1				
<u>_</u>		目	地域デザイン倫理	3後		2				兼4	オムニハ゛ス
専門			地域社会総論	1前	2		6	6	1	1	オムニバンス
教		ĺ	まちづくり論	1後	2			1		1	
育		ĺ	ソーシャルスキル演習	2前	2			2		1	
科	コ	ĺ								1	
目	2 7	ĺ	社会調査と地域	2前	2			1			14/14 TH
	=	ĺ	社会調査法	2後	2					兼1	※演習
	テ		まちづくり特講	2後		2	4	2	1		オムニバス・※演習
	1	基	統計学基礎	2後		2		1		兼1	オムニハ゛ス
	デ	基								1	留意事項に対応するため内
	ザノ	科								1	容を変更、担当教員の追加
	イン	目								1	(28) 担当 阪田 和哉(准教
	学	群									授)
	科	ĺ								1	平成28年8月 教員審査済
	専										判定可
	門	ĺ	社会統計学	3前		2		1		1	留意事項に対応するため内
	科目	ĺ								1	容を変更 (28)
1	Ħ	ĺ								1	担当 阪田 和哉(准教授)
											授) 平成28年8月 教員審査済
	1	ĺ								1	判定 可
								1			and the second s

		基礎	社会調査実習 I	3前		1		1	1 2			共同 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 呉 世雄 (講師) 平成28年12月 教員審査済
		(()) 科目群	社会調査実習Ⅱ	3後		1		1	1 2			判定 可 共同 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 呉 世雄 (講師) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
	•		公共政策入門	1前	2			1				TAKE 1
			経済学概論	1前 1後	2		1					留意事項に対応するため配 当年次及び内容を変更 (28) 担当 塚本 純(教授) 平成28年2月 教員審査済
			行政学	2前	2		1					判定可
			公共経済学	2前	2		1	1				留意事項に対応するため内 容を変更 (28) 担当 阪田 和哉 (准教 授) 平成28年2月 教員審査済 判定 可
			政治学概論	1後		2		1				判定 可
			ミクロ経済学	1後		2					兼1	
		会システムな	マクロ経済学	2後		2	1					留意事項に対応するため科 目を追加 (28) 担当 塚本 純 (教授) 平成28年2月 教員審査済 判定 可
		科目	法学概論	2後		2					兼1	1372
		群	憲法	2後		2					兼1	
			民法 経済政策論	2後 3前		2 2	1				兼1	留意事項に対応するため配
			地方自治論	2後 3前		2						当年次を変更 (28)
	П ′′′		政策過程論	3前		2	1	1				
	η п		行政法	3前		2					兼1	
	テ		公共マネジメント	3前		2		1				
専門	イデ		スポーツ・余暇政策 都市計画法	3後 3後		2 2	1				兼1	
教育	ザイ		プロジェクト評価論	3後		2		1			71102	
科目	ン学		財政学	3後		2						集中
	科専		環境・資源経済学地域資源論	3後 1後	2	2	1				兼1	
	門科		地域食育論	2前	2		1					
	目		農村マネジメント	2前	2		1					※演習
			観光概論 文化マネジメント	2後 2後	2 2		1		1			※演習
			地域生態学	2前	_	2	1					ALC I
		域資	農村起業論	2後		2	1					※演習
		源科	食文化論 観光地理学	2後 3前		2 2	1		1			
		目群	食資源活用実習	3前		2	1		1			
		4+	観光学実習	3後		2			1			
			地域史 生物多様性論	3後 3後		2 2					兼1 兼1	
			景観解析	3後		2						集中
			文化マネジメント演習	3後		2	1					
			高齢社会学 地域福祉の実際	1後 1後	2 2			1			兼1	留意事項に対応するためカ リキュラムを見直したこと より科目を廃止 (29)
			生涯学習社会論	2前	2			1				
			地域社会学	2前	2			1			兼1	公津羽
		Let	地域実践心理学 生涯学習概論	2後 1前	2	2		1			兼1	※演習
		地域	社会学概論	2前		2					兼1	
		実践科目群	社会福祉学概論	2前 1後	2	2			1			留意事項に対応するため科 目区分を必修に変更,配当 年次を変更,担当教員を変 更 (29)
		拍干										担当 呉 世雄 平成28年12月 教員審査済
			地域福祉論	2後		2						判定 可 隔午 留意事項に対応するため毎 年開講へ変更,担当教員の
			社会教育計画 I	3前		2					兼1	<mark>変更(29)</mark> ※演習
			NPO論	3前		2		1			2017	
								-				•

			倫理学概論	0 ##:		0	1				¥:1	•
				3前		2		_			兼1	
			会話分析入門	3前		2		1				
		LU ₁	多文化理解論	3前		2		1				
		地域	地域ケアマネジメント論	3前		2			1			カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
		実										担当 呉 世雄(講師)
		践										平成28年12月 教員審査済
		科目	1-1111 4 37	0.44				_				判定可
		群	福祉社会学	3後		2		1			N/	
			現代日本社会論	3後		2					兼1	NAV NE TIT
			社会教育計画Ⅱ	3後		2						※演習
	L		ストレスマネジメント	3後		2		1				※演習
		他	防災マネジメントI	2後		2					兼1	
		学	流域環境学I	3前		2					兼1	
		科	都市計画	3前		2						オムニハ゛ス
		科目	地区計画	3後		2					兼1	
		Ι	高齢者防災論	3後		2					兼1	
			コミュニティデザイン演習(経済政策分野)	3前		2	1					
	コベ		コミュニティデザイン演習(文化マネジメント分野)	3前		2	1					
	ユ		コミュニティデザイン演習(地方自治分野)	3前		2	1					
	ニテ		コミュニティデザイン演習(農村マネジメント分野)	3前		2	1					
専	ブイ		コミュニティデザイン演習(地域生態学分野)	3前		2	1					
門	デ		コミュニティデザイン演習(食生活学分野)	3前		2	1					
教育	ザイ		コミュニティデザイン演習(まちづくり分野)	3前		2		1				
科	ン		コミュニティデザイン演習(公共マネジメント分野)	3前		2		1				
目	学		コミュニティデザイン演習(公共政策分野)	3前		2		1				
	科専		コミュニティデザイン演習(社会教育分野)	3前		2		1				
	門		コミュニティデザイン演習 (福祉社会学分野)	3前		2		1				
	科		コミュニティデザイン演習(心理学分野)	3前		2		1				
		主	コミュニティデザイン演習(観光地理学分野)	3前		2			1			
		題探	コミュニティデザイン演習(社会福祉学分野)	3前		2			1			カリキュラム充実のため科
		求										目を追加(29) 担当 呉 世雄(講師)
		科目										平成28年12月 教員審査済
		群										判定 可
		.,	外国語文献講読	3後		2	1	1				
			卒業研究準備演習	3後	2		6	6	1			カリキュラム充実のため担
									2			当教員を追加(29) 担当 呉 世雄(講師)
												平成28年12月 教員審査済
				425			c	C				判定の可
			卒業研究	4通	4		6	6	1 2			カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29)
									1			担当 呉 世雄(講師)
												平成28年12月 教員審査済
			リフレクション	4後	2		6	6	1			判定 可 カリキュラム充実のため担
			// · / ¥ 4 ¥	工区	4		J	J	2			当教員を追加(29)
												担当 呉 世雄(講師)
												平成28年12月 教員審査済 判定 可

- | | | | | (注)・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- · 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	設置時	の計画			変更	状況		備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	1用行
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
39	324	0	363	39 [0]	387 [63]	0 [0]	426 [63]	

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, []内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
 - ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位	改 配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - 教職大学院の場合は,「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	器楽合奏概論	2	1·2後	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
2	生きるということ	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
3	「ぷろじぇくと」をやってみる	1	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
4	体験!ぷろじぇくと	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
5	感じる・考える・話す	2	1·2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
6	アクティブにとらえる現代社会	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
7	社会奉仕活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
8	国際協力活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
9	実務体験活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
1 0	特別体験活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
1 1	Overseas Study A	1.2.3.4	1.2.3.4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
1 2	Overseas Study B	1.2.3.4	1-2-3-4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
1 3	Overseas Study C	1.2.3.4	1.2.3.4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
1 4	Overseas Study D	1.2.3.4	1-2-3-4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
1 5	心理学と人権	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
1 6	日本語の表記	2	1・2前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
17	声のトレーニング	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
1 8	微生物の化学	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
1 9	ウイルスの世界と生物の世界	2	1・2前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
2 0	課題発見・解決型インターンシップ	1.2.3.4	1-2-3-4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
2 1	キャリア形成に資する活動	1.2.3.4	1.2.3.4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
2 2	地域福祉の実際	2	1後	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

29年度に廃止となった番号22「地域福祉の実際」は、留意事項に対応するために社会福祉学に関する科目を体系的に 見直した結果によるものであり、改良であると考える。

28年度に廃止となった番号7~10の科目は、現状に見合った活動である「課題発見・解決型インターンシップ」及び 「キャリア形成に資する活動」として、29年度に廃止となった番号11~14の科目は「Study Abroad A~D」、番号20・ 21の科目は「課題発見・解決型インターンシップA~D」及び「キャリア形成に資する活動A~D」として科目を新設した ため、教育の質は確保できており、それ以外の科目については、一般教養科目に位置づけられている科目であり履修上 の影響はないと考える。

なお、学生に対しては、履修案内・シラバス等において、開講科目を周知している。

- (注) 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周 知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	_ [0.06
設置時の計画の授業科目数の計	_	0.00

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - 「未開講科目と廃止科目の計」が「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

2 授業科目の概要

<地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科>

(1) 授業科日表

(1)	授業科目表 I	1		単位数		ı	専任教	4昌垒(の配置		1	
N I I I I	运费型 D o 2 Th	353 N/ 65 N/-	必	選	自	教	准	講	助	助		/#: +z.
科目区分	授業科目の名称	配当年次		,255	П		教	049-	293			備考
			修	択	由	授	授	師	教	手))) = 1 ± ± ± ± 1 ± 1
	Integrated English I A	1前	2									カリキュラム充実のため担 当教員を追加(28)
	Integrated English I B	1前	1								兼8	14人員 2 12/11 (20)
	Integrated English II A	1後	2									カリキュラム充実のため担
												当教員を追加(28)
	Integrated English II B	1後	1								兼8	
	Advanced English I (Intensive Reading)	2前後		1							兼4	
	Advanced English I (Pleasure Reading)	2前後		1							兼2	
	Advanced English I (Academic Writing)	2前後		1							兼2	
	Advanced English I (Essay writing)	2前後		1							兼4	
	Advanced English I (Public Speaking)	2前後		1							兼2	
	Advanced English I (Presentation)	2前後		1							兼4	
	Advanced English I (Discussion&Debate)	2前後		1								カリキュラム充実のため担 当教員を追加(28)
	Advanced English I (Speech Clinic)	2前後		1								ョ玖貝で追加 (20) カリキュラム充実のため担
		- 1/									兼3	当教員を追加(28)
	Advanced English I (Vocabulary Building)	2前		1							兼2	
	Advanced English I (Communicative Grammar)	2前後		1							兼4 **°	
	Advanced English I (Media English) Advanced English I (Cinema English)	2前後		1							兼2 兼2	カリキュラム充実のため担
	Advanced Engirsh 1 (Cinema Engirsh)	2前後		1								ッケイユノム元美のためた 当教員を追加 (28)
	Advanced English I (TOEIC)	2前後		1							兼5	
	Advanced English I (TOEFL)	2前後		1								カリキュラム充実のため担
	Advanced English I (EAP)	2前後		1							兼1 兼4	当教員を追加(28)
	Honors English A	1・2・3・4前		1							兼2	
	Honors English B	1・2・3・4例									兼2	
		1・2・3・4版		1							兼2	
	Honors English C	1・2・3・4削		1							兼2	
	Honors English D			1							兼2	
IJ	Honors English E Honors English F	1·2·3·4前 1·2·3·4後		1							兼2	
基盤プテラ	Honors English G	1・2・3・4版									兼2	
教 〔	Honors English H	1・2・3・4例		1 1							兼2	
Fi	Honors Camp A	1・2・3・4版		2							兼1	
日 件	Honors Camp B	1・2・3・4前		2							兼1	
Ħ		1・2・3・4前		2							兼1	
	Honors Camp C	1・2・3・4前		2							兼1	
	Honors Camp D	1・2・3・4前										カリモュラムの軟件にトリ
	Study Abroad A	1.7.9.4月月		2								カリキュラムの整備により 斗目を追加(29)
	Overseas Study A	1•2•3•4前		+							兼1	留学期間により単位認定
	Overseas Study A	1•2•3•4前		2								カリキュラムの整備により 斗目を廃止(29)
	Overseas Study A	1·2·3·4前		3							兼1	4日を廃止 (29)
	Overseas Study A	1•2•3•4前		4							兼1	
	Study Abroad B	1.2.3.4前		2								カリキュラムの整備により
	Overseas Study B	1•2•3•4前									₩ 1	科目を追加(29) 留学期間により単位認定
	·	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 0								1- 11 1
	Overseas Study B			2							= 1	ガリキュフムの整備により 斗目を廃止 (29)
	Overseas Study B	1・2・3・4前		3								
	Overseas Study B	1・2・3・4前		4							兼1	Lill by the state of the base
	Study Abroad C	1・2・3・4前		1								カリキュラムの整備により 斗目を追加(29)
	Overseas Study C	1·2·3·4前		4							兼1	留学期間により単位認定
	Overseas Study C	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により SL日を廃止(20)
	Overseas Study C	1・2・3・4前		3							兼1	斗目を廃止 (29)
	Overseas Study C	1・2・3・4前		4							兼1	
	Study Abroad D	1.2.3.4前		1								カリキュラムの整備により
	Oversees Study D	1•2•3•4前		1								科目を追加 (29) 留学期間により単位認定
	Overseas Study D Overseas Study D	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1							I il	カリモーラルの軟件にトリ
	·			2								りょう イスクスの 登備により 科目を廃止 (29)
	Overseas Study D	1•2•3•4前		3							NKI	
	O COLL D										兼1 1	
	Overseas Study D	1•2•3•4前		4							ب	FILE = > +#~ * * * *
	Overseas Study D スポーツと健康	1•2•3•4前 1前	2	4							兼9	カリキュラム充実のため担 当教員を追加(28)

			西洋思想	1・2前	2				兼1	
			現代思想	1・2後	2				兼1	
		4-	東洋思想	1・2前	2				兼1	
		哲学	論理学	1・2前	2				兼1	
		チ領	西洋の倫理思想	1・2後	2				兼1	
		域	科学思想史							
				1・2前	2				兼1	
			東アジアの宗教と文化	1・2前	2				兼1	
			仏教における人間形成論	1・2前	2				兼1	
			心理学	1・2前	2					カリキュラムの整備により
				40	_					科目を追加(29)
			認知心理学入門	1・2後	2				兼1	
			行動心理学入門	1・2前	2				兼1	
			実験心理学入門	1・2前	2				兼1	
			発達と学習の心理学	1・2後	2				兼1	
			パーソナリティ心理学概論	1・2前	2		1			
		心理	障害者心理学	1・2前	2		•		兼1	
		学								
		行領	子どもの言語とコミュニケーション入門	1・2後	2				兼1	
		域	心理学と人権	1・2前	2					担当教員が退職したため廃
			学校臨床心理学	1・2後	2					止(29) カリキュラムの整備により
			子汉喻外心生子	1 - 21友	2					カリイユノムの金浦により 科目を追加 (28)
			言語習得論	1・2後	2				兼1	11 a 2 22/31 (20)
1			質的心理学研究法入門	1・2後	2					カリキュラムの整備により
1			SCHOOL STATE OF STREET STATE	- 2 IX	-					ガライユノムの亜偏により 科目を追加 (29)
I			児童生徒の思考と認知	1・2前	2					カリキュラムの整備により
1				1 024//	 C				- 1	科目を追加 (29)
1			日本文学(古典)	1・2前後	2				兼2	
			日本近代文学講読	1・2前	2				兼1	
			日本の小説	1・2前	2					カリキュラムの整備により
										科目を追加 (28)
			日本の古典	1・2後	2					カリキュラムの整備により
			中国文学	1・2前	2				兼1	科目を追加(28)
		文								
		学領	韓国文学	1・2後	2				兼1	
	1	域	ドイツ文学	1・2後	2					カリキュラムの整備により
基	人女		フランス文学	1・2後	2				兼1	科目を追加(28)
盤教育	文科学		·							
教	学		比較文学	1・2前	2				兼1	
科	系		ロシア文学	1・2前	2				兼1	
目	科		英文学入門	1.2後	2				兼1	
	目		米文学入門	1・2前	2				兼1	
			ヨーロッパ地域文化論	1・2前	2				兼1	
			現代美学	1・2後	2				兼1	
			芸術学	1・2前	2				兼1	
			芸術と自然	1・2前	2				兼1	隔年
			音楽通論	1.2後	2				兼1	
		芸	声楽の魅力	1・2後	2				兼1	
		術領	器楽合奏概論	1・2後	2				兼1	カリキュラムの見直しによ
		域	THE ST PARTY		_					り科目を廃止 (28)
			管打合奏演習	1・2後	2				兼1	
			目本文化A	1・2前	2				兼1	
			日本文化B	1・2後	2				兼1	
1			美術表現基礎	1・2前	2					オムニバス・共同・※講義
1										
I			近現代美術論	1・2後	 2					オムニバス・共同
			多言語コミュニケーション学A	1・2前	2				兼1	
			多言語コミュニケーション学B	1・2後	2				兼1	
			日本語の表記	1・2前	2					カリキュラムの見直しによ
1										り科目を廃止 (29)
			日本語を文法的に考える	1.2後	2					カリキュラムの整備により
1			論理表現の技術	1.9%	2					科目を追加(29)
				1・2後					兼1	i
1		,	Japanese Communication Arts	1・2後	2				兼1	i I
1		人文	ことばから見た人間	1・2後	2				兼2	共同
		総総	成人教育と参加型学習	1・2後	2				兼1	
1		合	教育の裏側に光を当てる	1・2前	2		1			
		領	生活美学	1・2前	2	1				
1		域	ものと文化と社会	1・2個	2	1	1			
I							1			
			映像分析の実践	1・2前	2				兼1	
1			世界のなかの日本文化	1・2後	2				兼1	
I			ボディ・ランゲージ	1・2後	2				兼1	
I			声のトレーニング	1・2後	2				兼1	カリキュラムの整備により
1										科目を追加 (28)
I										担当教員が退職したため廃
I										止 (29)

			1. 土田東外	1 0至%	_	١.				т т	1 4	***	
		法	日本国憲法	1・2前後		2						兼3	
		学	法学入門	1・2前		2					身	兼1	
			国際化と人権	1・2前		2					身	兼1	
		域	知的財産権概論	3・4後		2					身	兼1 ※演習	
			国際政治史	1・2前		2					身	兼1	
			戦争と平和をめぐる諸問題	1・2後		2					à	兼1	
			現代政治の理論と実際	1・2後		2	1						
		πb	現代日本の政治と行政	1・2後		2	_	1				カリキュラムの整備に。	ъ n
		治	先代日本の政権と行政	1.2/2				1				利目を追加 (29)	より
		学										担当 三田 妃路佳	
		領										平成28年12月 教員審	查済
		域	₩	1 034							-3	判定可	
			グローバル・ガバナンス論入門	1・2前		2						兼1	
			政治の世界	1・2前		2						兼1	
			現代日本政治論	1・2後		2					身	兼1	
			経済学I	1・2前		2					身	兼1	
			経済分析入門	1・2前		2	1						
		経	資本市場の役割と証券投資	1・2後		2					東	兼1	
		経済	資本論を読もう	1・2前		2					秉	兼1 カリキュラムの整備に。	より
		学										科目を追加(28)	
		領は	応用経済学入門	1・2後		2		1					
		域	数理経済学入門	1・2前		2					身	兼1	
			ゲーム理論入門	1・2後		2					秉	兼1	
			農業経営入門	1・2前		2	1						
			社会学入門	1・2後		2					身	兼1	
			応用社会学	1・2後		2		1				カリキュラムの整備に。	より
												科目を追加(28)	
												担当 中川 敦(准教持	
		社										平成28年8月 教員審査 判定 可	1泊
		会学	現代日本の社会	1・2前		2					ŧ	兼1	ļ
		子領	マスコミ入門	1・2後		2						··· 兼1	
		域	オセアニア民族誌	1・2後		2						兼1	
			文化人類学入門	1・2後		2						兼1	
			環境と国際社会	1・2前		2						兼1	
			多文化共生論入門	1・2前		2					身	兼1	
	ь.		人文地理学入門 I	1・2前		2					東	兼1	
基	社会	地	人文地理学入門Ⅱ	1・2後		2					身	兼1	
盤	会科	理	農村空間論	1・2後		2					兼	兼1	
基盤教育	学系	学	地誌学	1・2後		2			1			カリキュラムの整備に。	より
科	系	領は										科目を追加 (28)	(-y-)
目	科目	域										担当 鈴木 富之(講館 平成28年8月 教員審査	
	П											判定 可	.175
		歴	歷史学入門	1・2前		2					身	兼1	
		史	歴史と民族	1・2後		2					身	兼1	
		学	歴史と文化	1・2後		2					身	兼1	
		領域	地域の歴史	1・2後		2						··· 兼1	
			中東の社会と文化	4 0.34		_				 	_	兼1	-
				1・2前		2						兼1	
			社会開発入門	1・2前								· •	
			遊びの理論とゲーム開発	1・2後		2						兼1	
			遊び輪と遊び指導	1・2前		2						兼1	
			住まいづくり・まちづくり入門	1・2前		2					秉	兼1 ※講義	
			オイコス入門	1・2前		2					身	兼1	
			障害者問題入門	1・2前		2					兼	兼1 隔年	
			数や図形の絵本づくり	1・2後		2					兼	兼1 ※講義	
			栃木県の歴史と文化	1・2前		2					兼	兼1 ※講義	ļ
			社会福祉入門	1・2後		2					兼	兼1	
			環境教育	1・2前		2					1	兼1 カリキュラムの整備に。	r n
			DK-98-9A FI	1 500		_						科目を追加 (28)	~ /
			地域環境社会学	1・2後		2					身	兼1 カリキュラムの整備に。	より
		社へ	(() 内, (中, 1) 中	1 0///							4	科目を追加 (28)	
		会総	災害復興学入門	1・2後		2						兼1	
		合	グローバル化と外国人児童生徒教育	1・2後		2						兼6 オムニバス・共同	ļ
		領	国際協力論入門	1・2前		2						兼1	ļ
		域	12700次版で記住	1・2後		2						兼1	ļ
			著作権法入門	1・2後		2					身	兼1	J
			教科書に見る歴史と社会	1・2後		2					兼	兼1	J
			人と自然の共生を考える	1・2通		2					兼	兼1 集中	J
			希望の地域社会論	1・2後		2					身	兼5 オムニハ゛ス	
												担当教員退職のため内容	容を
												変更,担当教員の変更 (29)	
				1		2					∄	(29) 兼1 カリキュラムの整備に。	r n
			地域振興と大学の役割	1・2径							- A	pr- シェン トー・ノーツノエE.pHパー c	
			地域振興と大学の役割	1・2後								科目を追加 (28)	,
			地域振興と大学の役割 農業と文明	1·2後 1·2後		2					身	兼1 カリキュラムの整備に。	
			農業と文明	1・2後		2						兼1 カリキュラムの整備に。 科目を追加 (28)	より
												兼1 カリキュラムの整備に。科目を追加(28)兼1 カリキュラムの整備に。	より
			農業と文明	1・2後		2					兼	兼1 カリキュラムの整備に。 科目を追加 (28)	よりより

		1			i	1				
		中国事情	1・2後	2					兼1	
		グローバル韓国学	1・2前	2					兼1	
社会	社	科学・技術・教育・社会を考える	1.2後	2					兼1	
会科学系科	会	セクソロジー入門	1・2後	2					兼1	※講義
学	総合	高齢者福祉入門	1・2前	2			1			カリキュラムの整備により
系	領									科目を追加(29) 担当 呉 世雄(講師)
目	域									平成28年12月 教員審査流
		同數拉力の字數 1. 細膜	1 03%	0					¥ -0	判定 可
		国際協力の実際と課題	1.2後	2					兼2	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
		現代数学入門	1.2後	2					兼1	11 H G /2/11 (44)
	No.	Mathematicaによる微積分入門	1・2前	2					兼1	
	数学	Mathematicaによるデータ解析入門	1.2後	2					兼1	
	領	振動の科学	1・2前	2					兼1	
	域	数学の世界	1・2前	2					兼4	オムニバス
										カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
		教養物理	1・2前	2					兼 3	付日を垣加 (20) オムニハ゛ス
		物理学入門	1・2前	2					兼1	
	物	家庭の中の物理	1・2前	2						カリキュラムの整備により
	理	物理工学最前線	123						7114-	科目名称を変更 (29)
	学領	Mathematica入門	1.2前後	2					兼1	
	域	放射線科学入門	1・2前	2					兼1	
		エレクトロニクス科学史	1.2後	2					兼1	
		バイオミメティクス入門	1.2後	2					兼1	
		地球環境と化学	1・2前	2					兼1	
		環境と生物化学	1・2前	2					兼1	
		不思議な化学	1・2後	2					兼1	
	化	水素とエネルギー	1・2後	2					兼1	
	学	リメディアル化学	1・2前	2					兼1	
	領は	物質・材料の機器分析入門	1・2前	2					兼1	
	域	微生物の化学	1・2後	2					兼1	カリキュラムの整備により
										科目を追加 (28) 担当教員が退職したため原
										上 (29)
		ノーベル化学賞周辺の化学	1.2後	2					兼1	
		人間生活と植物	1・2後	2					兼1	
		食料生産の生物学	1.2後	2					兼1	
:		21世紀を支える熱帯植物	1.2後	2					兼1	
•	4-	野外における野生動物識別テクニックの基礎	1・2前	2					兼1	カリキュラムの整備により
自	生物	野外における鳥獣識別テクニックの基礎 基礎生物学	1・2前	2					兼1	科目名称を変更 (28)
然科	学	ウイルスの世界と生物の世界	1 2前 1 2前	2						カリキュラムの見直しに。
学	領域	フィル・ハック 医卵で 工物の 医卵	1 200	2					NK1	り科目を廃止 (29)
系	-34	美味しさを科学するーミシュランガイド宇都宮をつくろうー	1・2後	2					兼1	※講義
科目		人体の中の小宇宙	1・2後	2					兼1	カリキュラムの整備により
П		昆虫生理生態学	1・2後	2					華 1	科目を追加 (28) カリキュラムの整備によ
		PU 24 22 42 186 1	1 200	ž						科目を追加 (29)
		C言語・プログラミング入門	1・2前	2					兼1	
	情	プログラミング応用	1・2前	2					兼1	
	報	インターネットのしくみ	1・2後	2					兼1	
	科学	Webのしくみ	1.2後	2					兼1	
	領	身のまわりのICT	1・2後	2					兼1	
	域	ワイヤレス通信のしくみ	1・2後	2					兼1	
		医用画像工学入門	1・2前	2					兼1	
	地学	地球環境と生物事件史	1・2前	2					兼1	
	領域	身近な気象学	1.2後	2					兼1	
		肥満の科学	1.2後	2					兼1	
		健康管理学概論	1・2後	2					兼1	
	健	健康のためなら死んでもいい!?	1・2前	2					兼1	カリキュラムの整備により
	康	生活習慣と健康	1・2前	2					— — — — — — — — — — — — — — — — — — —	科目を追加 (28) カリキュラムの整備により
	科学	工品自负C使水	1 2 60	2					NK1	科目を追加 (28)
1	領	バレーボールの科学	1・2後	2					兼1	
1	域	スポーツトレーニング論	1・2後	2					兼1	カリキュラムの整備によ
1		精神医学概論	1・2後	2						科目を追加 (28) カリキュラムの整備によ
	L		1 4 枚							科目を追加 (29)
		人間の感覚を測る	1・2前	2					兼1	※講義
	1	生物の多様性とは何か	1.2後	2					兼1	
		雑草と人のくらし	1.2後	2					兼1	
	自分	7F		 0		1	I	1 1	- 華1	※講義
	然	維草観察入門	1・2前	2					N/L1	7. HT-4X
	然総合		1·2前 1·2前	1						集中
	然総合領	維草観察入門							兼1	•
	然総合	雑草観察入門 雑草と里山のフィールド演習 I	1・2前	1					兼1 兼2	集中

		7			_				
		ドイツ語基礎Ⅰ	1・2前	1				兼1	
		ドイツ語基礎Ⅱ	1・2後	1				兼1	
		ドイツ語基礎Ⅲ	1・2前	1				兼1	
		ドイツ語基礎IV	1・2後	1				兼1	
		ドイツ語応用 I	1・2前	1				兼1	
		ドイツ語応用Ⅱ	1・2後	1				兼1	
		フランス語基礎 I	1・2前	1				兼2	
		フランス語基礎Ⅱ	1・2後	1				兼2	
		フランス語基礎Ⅲ	1・2前	1				兼1	
		フランス語基礎IV	1・2後	1				兼1	
		フランス語応用 I	1・2前	1				兼1	
		フランス語応用Ⅱ	1・2後	1				兼1	
		スペイン語基礎 I	1・2前	1				兼1	
		スペイン語基礎Ⅱ	1・2後	1				兼1	
		スペイン語基礎Ⅲ	1・2前	1				兼1	
	初	スペイン語基礎IV	1・2後	1				兼1	
	習外	スペイン語応用 I	1・2前	1				兼1	
	玉	スペイン語応用Ⅱ	1.2後	1				兼1	
	語	中国語基礎 I	1・2前	1				兼2	
	系科	中国語基礎Ⅱ	1.2後	1				兼2	
	目	中国語基礎Ⅲ	1・2前	1				兼1	
		中国語基礎IV	1.2後	1				兼1	
		中国語応用 I	1・2前	1				兼1	
		中国語応用Ⅱ	1.2後	1				兼1	
		タイ語基礎 I	1・2前	1				兼1	
		タイ語基礎Ⅱ	1・2後	1				兼1	
		タイ語基礎Ⅲ	1・2前	1				兼1	
		タイ語基礎IV	1.2後	1				兼1	
		タイ語応用 I	1・2前	1				兼1	
		タイ語応用Ⅱ	1.2後	1				兼1	
		朝鮮語基礎I	1・2前	1				兼2	
		朝鮮語基礎Ⅱ	1.2後	1				兼1	
		朝鮮語基礎Ⅲ	1・2前	1				兼1	
基		朝鮮語基礎IV	1.2後	1				兼1	
盤		朝鮮語応用I	1・2前	1				兼1	
教育		朝鮮語応用Ⅱ	1・2後	1				兼1	
基盤教育科目		野外調査論	1・2前	2				兼3	共同・※講義
I		里山のサステイナビリティを考える	1・2前	2				兼3	共同・集中・※講義
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐA	1・2前	1				兼2	共同・集中
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB	1.036						
			1・2前	1				兼1	集中・※講義
		実践・宇都宮のまちづくり	1・2前	1 2				兼1 兼1	集中・※講義
		実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り"							集中・※講義
			1・2前	2				兼1 兼1 兼1	カリキュラムの整備により
		-地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える	1·2前 1·2後 1·2後	2 2 2				兼1 兼1 兼1	
		-地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力	1·2前 1·2後 1·2後 1·2前	2 2 2 2				兼1 兼1 兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加(28)
		-地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ	1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前	2 2 2 2 2				兼1 兼1 兼1 兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) オムニパス・共同
		-地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力	1·2前 1·2後 1·2後 1·2前	2 2 2 2				兼1 兼1 兼1 兼8	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) オムニパス・共同 共同
		一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習	1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前	2 2 2 2 2 4				兼 1 兼 1 兼 1 兼 8 兼 5 6	カリキュラムの整備により 科目を追加(28) ポムニパス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更(28)
		-地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ	1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前	2 2 2 2 2				兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) ポムニパス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により
		一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習	1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前	2 2 2 2 2 4				兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 8 	カリキュラムの整備により 科目を追加(28) ポムニパス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更(28)
		-地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方	1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前	2 2 2 2 2 4				兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 章 兼 兼 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) ポペス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
	603	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ	1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後	2 2 2 2 4 2 2 2 2 2 2				兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 1 兼 兼 兼 兼 兼 兼 1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) れニパス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員が退職したため担 当教員の変更 (28)
	総合	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編)	1·2前 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前	2 2 2 4 2 2 2 1				兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) れニパス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員が退職したため担 当教員の変更 (28) 集中
	合系	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編)	1·2前 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後	2 2 2 4 2 2 2 1 1 1				兼兼兼 兼兼 兼 兼 兼 兼 兼 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) れニパス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員が退職したため担 当教員の変更 (28)
	合系科	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」	1·2前 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2位 1·2後 1·2後 1·2前	2 2 2 2 4 2 2 4 2 2 1 1 1 2 2 1 1 2 1 2				兼兼兼 兼兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) れニパス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員が退職したため担 当教員の変更 (28) 集中
	合系	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」	1·2前 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後	2 2 2 2 4 2 2 4 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1				兼兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) なたがえ・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員の変更 (28) 集中 集中
	合系科	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」	1·2前 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2位 1·2後 1·2後 1·2前	2 2 2 2 4 2 2 4 2 2 1 1 1 2 2 1 1 2 1 2				兼兼 兼兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) 北ムハ、ス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 日本リキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・教員が退職したため担 当教員の変更 (28) 担当教員の変更 (28) 集中
	合系科	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」	1·2前 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後	2 2 2 2 4 2 2 4 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1				兼兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	合系科	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる	1·2前 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2	2 2 2 2 4 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2				兼兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) なたが、ま、共同 共同 共同 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共日・集中・※演習 担当教員が変更 (28) 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中
	合系科	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の食制り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ	1·2前 1·2前 1·2模 1·2前 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26	2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2				兼兼兼 兼 兼兼兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) れた、ス・共同 共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員の変更 (28) 集中 集中 生生教員が退職したため庭 は、(28) 担当教員が退職したため廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃 担当教員が退職したため廃 担当教員が退職したため廃
	合系科	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる	1·2前 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2	2 2 2 2 4 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2				兼兼兼 兼 兼兼兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) なたが、ま、共同 共同 数員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共 国・集中・※ 演習 担当教員の変更 (28) 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 (28)
	合系科	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる	1·2前 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2	2 2 2 2 4 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2				兼兼兼 兼 兼兼兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) れた、ス・共同 共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員の変更 (28) 集中 集中 生生教員が退職したため庭 は、(28) 担当教員が退職したため廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃 担当教員が退職したため廃 担当教員が退職したため廃
	合系科	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の食制り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじえくと」をやってみる 体験!ぶろじえくと	1·2前 1·2前 1·2核 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26	2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2				兼兼兼 兼兼兼 兼 兼兼 兼兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	合系科	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる	1·2前 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2	2 2 2 2 4 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2				兼兼兼 兼兼兼 兼 兼兼 兼兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	合系科	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の食制り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじえくと」をやってみる 体験!ぶろじえくと	1·2前 1·2前 1·2核 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26	2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2				兼兼兼 兼兼兼 兼 兼兼 兼兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	合系科	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の食制り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじえくと」をやってみる 体験!ぶろじえくと	1·2前 1·2前 1·2核 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26	2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2				兼兼兼 兼兼兼 兼 兼兼 兼兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	合系科	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(称冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験! ぷろじぇくと	1·2前 1·2前 (1·2前 (1·2前前 1·2位 (1·2前前前 1·2位 (1·2d (1)) (1)) (1)) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2				兼兼兼 兼兼 兼兼 兼兼 兼兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	合系科	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の食制り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじえくと」をやってみる 体験!ぶろじえくと	1·2前 1·2前 1·2核 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26	2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2				兼	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	合系科	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(称冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験! ぷろじぇくと	1·2前 1·2前 (1·2前 (1·2前前 1·2位 (1·2前前前 1·2位 (1·2d (1)) (1)) (1)) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2				兼	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	合系科	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(称冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験! ぷろじぇくと	1·2前 1·2前 (1·2前 (1·2前前 1·2位 (1·2前前前 1·2位 (1·2d (1)) (1)) (1)) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2				兼	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	合系科	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(称冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験! ぷろじぇくと	1·2前 1·2前 (1·2前 (1·2前前 1·2位 (1·2前前前 1·2位 (1·2d (1)) (1)) (1)) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2				兼	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)

			サイエンスコミュニケーション入門〜理系と文系の壁を超えよう	1・2前		2		Í		兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
			地域メディア演習	1・2後		2				兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
			環境マネジメント実践	1.2通		2				兼3	カリキュラムの整備により
			宇大生の宇大生による宇大生のための理想の授業	1・2前		2				兼2	科目を追加(29) 集中 カリキュラムの整備により
			大学論	1・2前		2				兼1	科目を追加(29) カリキュラムの整備により
		総 合	青年期教育論	1・2後		2				兼1	科目を追加(29) カリキュラムの整備により
	矛	系科目	とちぎ終章学特講	1.2後	1			1	1		科目を追加 (29) 共同・※講義 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 呉 世雄 (講師) 平成28年12月 教員審査済
			終章を支える社会資源	1・2前		2				兼1	判定 可 集中 カリキュラムの整備により
			とちぎ終章学演習 I	1・2前		2				兼3	科目を追加(29) 共同・※講義
			とちぎ終章学演習Ⅱ	1・2前		2					※講義
			とちぎ仕事学	1・2後		1					カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
			ソーシャル・イノベーション (社会変革) 概論 (社会変革) 概論	1・2前		2					カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
			地域編集論〜地域振興と情報発信	1・2前		2					カリキュラムの整備により 科目を追加(29)
			とちぎ企業人に学ぶ 〜業界・仕事・社会〜	1・2後		2					カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
		キ	キャリアデザイン 働くことの意味と実際	1·2·3·4後 1·2·3·4前		2 2				兼2 兼1	共同
		t	実践企業人材論	1•2•3•4前		2				兼1	
基		リア	起業の実際と理論	1・2・3・4後		2				兼1	
盤教		創造	先輩に学ぶ 企業のグローバル戦略とキャリア形成	1·2·3·4前 1·2·3·4後		2 2				兼1 兼1	
育科		科目	グローバル時代の企業経営	1・2・3・4前		2					集中
目			実践して学ぶミニ農業生産	1・2・3・4前		2				兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
			課題発見・解決型インターンシップA	1.2.3.4前		1				兼1	活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
			課題発見・解決型インターンシップ B 課題発見・解決型インターンシップ C	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2 3				兼1 兼1	
			課題発見・解決型インターンシップD	1・2・3・4前		4				兼1	:
			課題発見・解決型インターンシップ	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1				兼1 兼1	活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
			課題発見・解決型インターンシップ 課題発見・解決型インターンシップ	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2 3					科目を追加 (28)
			課題発見・解決型インターンシップ	1•2•3•4前		4				兼1	科目を廃止 (29)
	基盤		キャリア形成に資する活動A	1.2.3.4前		1					活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
	キャ		キャリア形成に資する活動B キャリア形成に資する活動C	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2 3				兼1 兼1	科目を追加(29)
	リア		キャリア形成に資する活動D	1.2.3.4前		4				兼1	
	教		キャリア形成に資する活動 キャリア形成に資する活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 2				兼1 兼1	活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
	育科	н	キャリア形成に資する活動	1·2·3·4前		3					科目を追加 (28) カリキュラムの整備により
	目	自由	キャリア形成に資する活動	1•2•3•4前		4				兼1	朴目を廃止 (29)
		科目	社会奉仕活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 2				兼1 兼1	活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
			社会奉仕活動	1 · 2 · 3 · 4前		3				兼1	科目を廃止 (28)
			社会奉仕活動	1·2·3·4前		4				兼1	3-41 110 1171
			国際協力活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 2				兼1 兼1	活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
			国際協力活動	1·2·3·4前		3				兼1	科目を廃止(28)
			国際協力活動 宝致体除活動	1•2•3•4前		4				兼1 兼1	活動期間により単位認定
			実務体験活動 実務体験活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 2				兼1 兼1	カリキュラムの整備により
			実務体験活動	1•2•3•4前		3				兼1	科目を廃止 (28)
			実務体験活動 特別体験活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		4				兼1 兼1	活動期間により単位認定
			特別体験活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2				兼1 兼1	カリキュラムの整備により
			特別体験活動	1·2·3·4前		3				兼1	科目を廃止 (28)
			特別体験活動	1·2·3·4前		4				兼1	J

_		-	アカゴミック・ジレパー・ブ	1 🔆	ı	1	I				1	±-1	1
			アカデミック・ジャパニーズ 日本語アカデミック・リーディング I	1前 1前		1						兼1	カリキュラムの整備により
	6		口平面 アルフミック・リーアインク 1	1 月リ		1						#1	カリキュフムの整備により 科目を追加 (28)
	学 生		日本語アカデミック・ライティング	1後		1						兼1	
	 E		日本語アカデミック・リーディングⅡ	1・2・3・4後		1						兼1	カリキュラムの整備により
	4		日本語アカデミック・プレゼンテーション	1・2・3・4後		1						兼1	科目を追加(28)
	韶彩	-	科学技術のための専門日本語	1・2・3・4版		1						兼1	
基	E		人文社会系のための専門日本語	1・2・3・4前		1						兼1	
盤			日本事情	1・2・3・4前		2						兼1	
教			地域デザイン学序論A	1前	2			6	6	1			オムニハ゛ス
育科			201-987 7 1 F 173 Hill 2-2	1133						2		2002	カリキュラム充実のため担
目													当教員を変更(29) 担当 呉 世雄
	専門												平成28年12月 教員審査済
	準	隹	14-14-69-19-2-5-20/	. ///									判定可
	フ	\	地域デザイン学序論B	1後	2							兼13	オムニバス 留意事項に対応するため内
	和目												容を変更,担当教員の変更
	_		地域デザイン学序論C	1後	2								(29) オムニハ゛ス
			地域プリイン子庁柵し	11友	4							2014-1	カリキュラム充実のため担
			사건 가수 22도 10만 크지	1 24				,					当教員を追加 (29)
			経済学概論	1前 1後	2			1					留意事項に対応するため配 当年次及び内容を変更
				- 1.0									(28)
													担当 塚本 純(教授) 平成28年2月 教員審査済
													判定 可
			行政学	2前	2			1					
			公共経済学	2前	2				1				留意事項に対応するため内容を変更(99)
													容を変更(28) 担当 阪田 和哉(准教
													授)
													平成28年2月 教員審査済 判定 可
		社	政治学概論	1後		2			1				137.2
		会シ	ミクロ経済学	1後		2						兼1	
		ス	マクロ経済学	2後		2		1					留意事項に対応するため科
		テム											目を追加(28) 担当 塚本 純(教授)
		科											平成28年2月 教員審査済
		目群	法学概論	2後		2						兼1	判定可
		4+	憲法	2後		2						兼1	
			民法	2後		2						兼1	
			経済政策論	3前		2		1				Æ1	留意事項に対応するため配
			尼 切	2後				1					当年次を変更 (28)
	コ		地方自治論	3前		2		1					
	<i>'''</i> 1		行政法	3前		2						兼1	
	=		スポーツ・余暇政策	3後		2		1				26.4	
専	ティ		都市計画法	3後		2						兼1	ts do
門	デ		財政学 環境・資源経済学	3後		2 2							集中
教	ザ		環境・貢源程併子 農村マネジメント	3後 2前	2	2		1				兼1	※演習
育科	イン	地	文化マネジメント	2後	2			1					※演習
目	学	域	農村起業論	2後	۱	2		1					※演習
	科専	箕	食文化論	2後		2		1					*
	門	科	地域史	3後		2						兼1	
	科目	目群	生物多様性論	3後		2						兼1	
		-1.	文化マネジメント演習	3後		2		1					
			地域福祉の実際	1後	2							兼1	留意事項に対応するためカ
													リキュラムを見直したこと により科目を廃止(29)
			生涯学習社会論	2前	2				1				. 5. 5 , , , , , , , , , , , , , , , , ,
			地域社会学	2前	2							兼1	
			生涯学習概論	1前		2						兼1	
			社会学概論	2前		2						兼1	1
			社会福祉学概論	2前 1名	2	2				1		兼1	留意事項に対応するため科
		地域		1後									目区分を必修に変更,配当 年次を変更、担当教員を変
		実											更 (29)
		践科											担当 呉 世雄 平成28年12月 教員審査済
		目											判定 可
		群	地域社会学	2前		2						兼1	:
			地域福祉論	2後		2						兼1	隔年 留意事項に対応するため毎
													年開講へ変更、担当教員の
			社 △對玄計画 I	044		0							変更 (29)
			社会教育計画 I	3前		2							※演習
			倫理学概論 現代日本社会論	3前		2						兼1	
I			現代日本任会論 社会教育計画 II	3後 3後		2 2						兼1	※演習
				で作品]					邢Ⅰ	小供日

⁽注)・設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
・設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更さ

れているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	<u> </u>							
	設置時	の計画			変更	状況		備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	1
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
18	278	0	296	18	341	0	359	
				[0]	[63]	[0]	[63]	·

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目滅の場合:△1)
 - ・資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単(位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	該当なし						
2							
3							

- 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	器楽合奏概論	2	1・2後	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
2	生きるということ	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(28)
3	「ぷろじぇくと」をやってみる	1	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(28)
4	体験!ぷろじぇくと	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(28)
5	感じる・考える・話す	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(28)
6	アクティブにとらえる現代社会	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(28)
7	社会奉仕活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
8	国際協力活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
9	実務体験活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
10	特別体験活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
1 1	Overseas Study A	1.2.3.4	1.2.3.4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
1 2	Overseas Study B	1.2.3.4	1.2.3.4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
1 3	Overseas Study C	1.2.3.4	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
1 4	Overseas Study D	1.2.3.4	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
1 5	心理学と人権	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(29)
1 6	日本語の表記	2	1・2前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
17	声のトレーニング	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(29)
1 8	微生物の化学	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(29)
1 9	ウイルスの世界と生物の世界	2	1・2前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
2 0	課題発見・解決型インターンシップ	1.2.3.4	1.2.3.4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
2 1	キャリア形成に資する活動	1.2.3.4	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
2 2	地域福祉の実際	2	1後	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除) した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

29年度に廃止となった番号22「地域福祉の実際」は、留意事項に対応するために社会福祉学に関する科目を体系的に見直し た結果によるものであり、改良であると考える。

28年度に廃止となった番号7~10の科目は、現状に見合った活動である「課題発見・解決型インターンシップ」及び「キャリア形成に資する活動」として、29年度に廃止となった番号11~14の科目は「Study Abroad A~D」、番号20・21の科目は「課題発見・解決型インターンシップA~D」及び「キャリア形成に資する活動A~D」として科目を新設したため、教育の質は 確保できており、それ以外の科目については、一般教養科目に位置づけられている科目であり履修上の影響はないと考える。 なお、学生に対しては、履修案内・シラバス等において、開講科目を周知している。

- 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周 (注) • 知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	_ [0.07
設置時の計画の授業科目数の計	_	0.07

- (注) •
- 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。 「未開講科目と廃止科目の計」が「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

2 授業科目の概要

陽東キャンパス

<地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科>

(1) 授業科目表

\Box	(1)		<u> </u>			単位数			専任参	女員等(の配置			
科	科目区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准数	講	助	助		備考
					修	択	由	授	教 授	師	教	手		
基盤教育科目	非常に利	切朝尊入科目	新人生セミナー	1前	2	PX.	14	6	6	1 2	73			共力当担平(29) 対議 (29) 対法
	目	シー サラ	情報処理基礎	1前	2			1						
	A 系科 目	合質域	社会言語学概論-日本語の変遷-	1・2前		2							兼1	
	-		電気電子数学入門	1・2前		2							兼1	※講義
	子系科目	領域 学領域 骨報科	グラフィックス入門	1.2後		2							兼1	
		総合系科目	ものづくり体験	1・2後		2							兼2	共同
	基盤キャリア教育科目	キャリア創造科目	人間と社会 より良く生きる	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2							兼1	オムニハ゛ス

_		- 1	11.14 · · · · 11 · · · · · · · · · · · · ·	1,72	0				-		26 0	10
			地域デザイン訪問	1通	2		1	1	1			オムニバス・共同 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29)
			地域の姿と課題I	1前	1		1	1			兼2	オムニバス・共同
		业	地域コミュニケーション演習	1前	1		1	3			兼8	共同
		修科目	ワークショップ演習	3前	1			3			兼3	共同
	通専門	П	地域プロジェクト演習	3通	2		6	6	1 2			共同 カリキュラム充実のため担
	科目											当教員を追加(29) 担当 呉 世雄(講師)
											.,	平成28年12月 教員審査済 判定 可
		選	GIS演習	2後		1	1				兼2	<i>オムニバス</i>
		科	地域の姿と課題Ⅱ 地域デザイン倫理	3前		1 2	1				¥:4	オムニハ゛ス
			地域社会総論	1前	2	2	6	6	1		邢4	144-1 A
			まちづくり論	1後	2		0	1	1			444-1
			ソーシャルスキル演習	2前	2			2				
			社会調査と地域	2前	2			1				
			社会調査法	2後	2			-			兼1	※演習
			まちづくり特講	2後		2	4	2	1		2014-	オムニバス・※演習
			統計学基礎	2後		2		1			兼1	オムニハ゛ス
												留意事項に対応するため内 容を変更,担当教員の追加
		基										(28) 担当 阪田 和哉(准教 授)
専門		礎科										平成28年8月 教員審査済 判定 可
教育		目群	社会統計学	3前		2		1			'	留意事項に対応するため内 容を変更 (28)
科目												日
	U /// U											平成28年8月 教員審査済 判定 可
	ユニテ		社会調査実習 I	3前		1		1	1 2			共同 カリキュラム充実のため担
	ノイデ											当教員を追加(29) 担当 呉 世雄(講師) エポック 19 日 教員家本次
	ザイ		사스퀘수다IR II	94%				1	1			平成28年12月 教員審査済 判定 可 共同
	ン学		社会調査実習Ⅱ	3後		1		1	1 2			カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29)
	科専門											担当
	科目		公共政策入門	1前	2			1				判定可
		テ社	政策過程論	3前		2		1				
		科目の	公共マネジメント	3前		2		1				
		群	プロジェクト評価論	3後		2		1				
			地域資源論	1後	2		1					
			地域食育論	2前	2		1					
		地	地域生態学	2前		2	1					
		地域資	観光概論	2後	2				1			
		源科	観光地理学	3前		2			1			
		B	食資源活用実習	3前		2	1					
			観光学実習	3後		2			1			
			景観解析	3後		2					兼1	集中

			高齢社会学	1後	2	l	I		1	l	1	I	
			地域実践心理学	2後	2				1				※演習
			NPO論	3前		2			1				
		地域実践科目	会話分析入門	3前		2			1				
			多文化理解論	3前		2			1				
			地域ケアマネジメント論	3前		2				1			カリキュラムの整備により
		群											科目を追加(29) 担当 呉 世雄(講師) 平式200万10日 教員家本文
			福祉社会学	3後		2			1				平成28年12月 教員審査済 判定 可
			ストレスマネジメント	3後		2			1				※演習
			防災マネジメントI	2後		2			1			兼1	** W H
		他学	流域環境学Ⅰ	3前		2						兼1	
		学科科	都市計画	3前		2							オムニハ゛ス
		目	地区計画	3後		2						兼1	
			高齢者防災論	3後		2						兼1	
	Ţ		コミュニティデザイン演習(経済政策分野)	3前		2		1					
	U /// U		コミュニティデザイン演習 (文化マネジメント分野)	3前		2		1					
	ニテ		コミュニティデザイン演習 (地方自治分野)	3前		2		1					
専門	イデ		コミュニティデザイン演習(農村マネジメント分野)	3前		2		1					
教育科	ザイ		コミュニティデザイン演習 (地域生態学分野)	3前		2		1					
科目	ン学		コミュニティデザイン演習(食生活学分野)	3前		2		1					
	子科専		コミュニティデザイン演習(まちづくり分野)	3前		2			1				
	門科		コミュニティデザイン演習(公共マネジメント分野)	3前		2			1				
	目		コミュニティデザイン演習 (公共政策分野)	3前		2			1				
			コミュニティデザイン演習 (社会教育分野)	3前		2			1				
		主	コミュニティデザイン演習(福祉社会学分野)	3前		2			1				
		題探出	コミュニティデザイン演習(心理学分野)	3前		2			1				
		求科目	コミュニティデザイン演習(観光地理学分野)	3前		2				1			
		群	コミュニティデザイン演習(社会福祉学分野)	3前		2				1			カリキュラム充実のため科
													目を追加(29) 担当 呉 世雄(講師)
													平成28年12月 教員審査済 判定 可
			外国語文献講読 卒業研究準備演習	3後 3後	2	2		1 6	1 6	4			カリキュラム充実のため担
			T AM / LT WISH	0 (2	_					2			当教員を追加 (29) 担当 呉 世雄 (講師)
													平成28年12月 教員審査済 判定 可
			卒業研究	4通	4			6	6	1 2			カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29)
													担当 呉 世雄 (講師) 平成28年12月 教員審査済
			リフレクション	4後	2			6	6	1			判定 可 カリキュラム充実のため担
				工权	۷					2			ガッイエクス元美のため担 当教員を追加 (29) 担当 呉 世雄 (講師)
													平成28年12月 教員審査済 判定 可

- (注)・設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。

• 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科日数

(2)	74110							
設置時の計画変更状況							備考	
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	1 拥
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
21	46	0	67	21 [0]	46 [0]	0 [0]	67 [0]	

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, []内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1) ・ 資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除) した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし	
(:4)	교ッ의 미소 + 明寺 고나호 나 나 나 보고 나는 나 그 씨는 이로 병호 이 오셨다면 바로 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그

- 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生へ6 知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	_	0	
設置時の計画の授業科目数の計	_	0	

- 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。 (注) •
 - 「未開講科目と廃止科目の計」が「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

2 授業科目の概要

<地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科>

(1) 授業科日表

				単位数	,		専任教)員等	の配置		1
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	備考
			修	択	由	授	教授	師	教	手	
初期導入科目	新人生セミナー	1前	2		, ,	5	6 5	Halls	3	•	オルニハス・※演習 担当教員退職のため内容を変更、担当教員の変更 (29) 担当 古賀 營章(准教 授) 平成28年12月 教員審査が 判定 可 担当 大嶽 陽徳(助教) 平成28年12月 教員審査が 判定 可 担当数員の職位を変更 (29)
	Integrated English I A Integrated English I B Integrated English II A	1前 1前 1後	2 1 2								担当 横尾 昇剛 (教授) 平成28年12月 教員審査 判定 可 兼6 カリキュラム充実のため打 兼2 当教員を追加 (28) 兼8 兼6 カリキュラム充実のため打
	Integrated English II B Advanced English I (Intensive Reading) Advanced English I (Pleasure Reading) Advanced English I (Academic Writing) Advanced English I (Essay writing) Advanced English I (Public Speaking)	1後 2前後 2前後 2前後 2前後 2前後	1	1 1 1 1							無3 #2 当教員を追加 (28) 兼8 兼4 兼2 兼2 兼4 兼2
	Advanced English I (Presentation) Advanced English I (Discussion&Debate) Advanced English I (Speech Clinic) Advanced English I (Vocabulary Building) Advanced English I (Communicative Grammar) Advanced English I (Media English)	2前後 2前後 2前後 2前 2前後 2前後		1 1 1 1 1							#4 #2 カリキュラム充実のためが #1 当教員を追加 (28) #4 カリキュラム充実のためが #3 当教員を追加 (28) #4 #2
リテラ	Advanced English I (Cinema English) Advanced English I (TOEIC) Advanced English I (TOEFL) Advanced English I (EAP)	2前後 2前後 2前後 2前後		1 1 1							兼2 カリキュラム充実のため持 乗1 当教員を追加 (28) 兼5 カリキュラム充実のため持 兼2 カリキュラム充実のため持 兼4 当教員を追加 (28)
シー 科目	Honors English A Honors English B Honors English C Honors English D Honors English E Honors English F	1·2·3·4前 1·2·3·4後 1·2·3·4後 1·2·3·4前 1·2·3·46 1·2·3·4後		1 1 1 1 1							兼2 兼2 兼2 兼2 兼2 兼2
	Honors English G Honors English H Honors Camp A Honors Camp B Honors Camp C	1·2·3·4前 1·2·3·4前 1·2·3·4前 1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 1 2 2 2							兼2 兼2 兼1 兼1 兼1 兼1
	Honors Camp D Study Abroad A Overseas Study A Overseas Study A	1·2·3·4前 1·2·3·4前 1·2·3·4前 1·2·3·4前		2 2 4 2							#1 カリキュラムの整備によ 科目を追加 (29) #1 留学期間により単位認定 カリキュラムの整備によ 対目を廃止 (29)
	Overseas Study A Overseas Study A Study Abroad B Overseas Study B Overseas Study B	1·2·3·4前 1·2·3·4前 1·2·3·4前 1·2·3·4前 1·2·3·4前		3 4 2 1 2							#1 #1 カリキュラムの整備によ 科目を追加 (29) #1 留学期間により単位認定 #1 カリキュラムの整備によ
	Overseas Study B Overseas Study B	1·2·3·4前 1·2·3·4前 1·2·3·4前		3 4							兼1 兼1 兼1

1		Study Abroad C	1・2・3・4前	ì	1	ı	ı	ı	ı	1 1		- 44:1	カリキュラムの整備により
													科目を追加 (29)
		Overseas Study C	1·2·3·4前		1								留学期間により単位認定 カリキュラムの整備により
		Overseas Study C	1•2•3•4前		2							2014-	カリキュフムの整備により 科目を廃止(29)
		Overseas Study C	1·2·3·4前		3							兼1	
) F	Overseas Study C	1•2•3•4前		4							兼1	to the second more than to be
	, 7	Study Abroad D	1・2・3・4前		1							#1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
	· 	Overseas Study D	1•2•3•4前		4							兼1	留学期間により単位認定
	! 斗	Overseas Study D	1•2•3•4前		2							兼1	カリキュラムの整備により 科目を廃止 (29)
	1	Overseas Study D	1·2·3·4前		3							兼1	ff日を廃止 (23)
		Overseas Study D	1•2•3•4前		4							兼1	
		スポーツと健康	1前	2									カリキュラム充実のため担
		情報処理基礎	1前	2			1					兼7	当教員を追加(28)
		とちぎ終章学総論	1後	1			1					兼1	※講義
-		西洋思想	1・2前		2							兼1	77191749
		現代思想	1.2後		2							兼1	
	±15	東洋思想	1.2前		2							兼1	
	哲学	論理学	1・2前		2							兼1	
	領	西洋の倫理思想	1.2後		2							兼1	
	域	科学思想史	1・2前		2							兼1	
		東アジアの宗教と文化	1・2前		2							兼1	
		仏教における人間形成論	1・2前		2							兼1	
		心理学	1・2前		2							兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
		認知心理学入門	1.2後		2							兼1	17日で足が (49)
		行動心理学入門	1・2前		2							兼1	
		実験心理学入門	1・2前		2							兼1	
		発達と学習の心理学	1.2後		2							兼1	
	心	パーソナリティ心理学概論	1・2前		2							兼1	
	理	障害者心理学	1・2前		2							兼1	
	学	子どもの言語とコミュニケーション入門	1.2後		2							兼1	
	領城	心理学と人権	1・2前		2							兼1	担当教員が退職したため廃
	~	学校臨床心理学	1・2後		2							兼1	止 (29) カリキュラムの整備により
		言語習得論	1.2後		2							兼1	科目を追加(28)
		質的心理学研究法入門	1.2後		2								カリキュラムの整備により
													科目を追加 (29)
人		児童生徒の思考と認知	1・2前		2							兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
文科		日本文学(古典)	1.2前後		2							兼2	作 日 と 足が (25)
学		日本近代文学講読	1・2前		2							兼1	
系科		日本の小説	1・2前		2								カリキュラムの整備により
目		日本の古典	1.2後		2							兼1	科目を追加 (28) カリキュラムの整備により
		中国文学	1.2前		2							兼1	科目を追加(28)
	文学	韓国文学	1・2後		2							兼1	
	領	ドイツ文学	1・2前		2								カリキュラムの整備により
	域										J		科目を追加 (28)
		フランス文学	1.2後		2							兼1	
		比較文学	1・2前		2							兼1	
		ロシア文学	1・2前		2						J	兼1	
		英文学入門	1.2後		2							兼1	
		米文学入門	1・2前		2							兼1	
		ヨーロッパ地域文化論 理仏美学	1・2前		2							兼1	
		現代美学	1・2後		2							兼1	
		芸術学	1・2前		2							兼1	厄仁
		芸術と自然 音楽通論	1・2前		2								隔年
	芸	音楽週論 声楽の魅力	1·2後 1·2後		2 2						J	兼1 兼1	
	術	戸条の魅刀 器楽合奏概論									J		カリキュラムの見直しによ
	領域	ロネロダ 機柵	1・2後		2							AK1	り科目を廃止(28)
	攻	管打合奏演習	1.2後		2							兼1	
		日本文化A	1・2前		2							兼1	
		日本文化B	1.2後		2							兼1	
		美術表現基礎	1・2前		2							兼2	オムニバス・共同・※講義
	ì	近現代美術論	1.2後	1	2	I	I	l	I	ı		兼2	オムニバス・共同

		多言語コミュニケーション学A	1・2前	2			€ 1
		多言語コミュニケーション学B	1.2後	2		兼	美 1
		日本語の表記	1・2前	2		À	4 カリキュラムの見直しに。
		日本語を文法的に考える	1.92%	2		a a	り科目を廃止 (29) €1 カリキュラムの整備により
		日本語を文伝的に考える	1・2後	2		用	*I カリヤュノムの登開により 科目を追加 (29)
		論理表現の技術	1.2後	2		兼	€ 1
		Japanese Communication Arts	1.2後	2) j	£ 1
		ことばから見た人間	1・2後	2		*	€ 2 共同
人	人	社会言語学概論-日本語の変遷-	1・2前	2			₹ 1
科	文	生涯学習概論	1・2前	2			£1
文科学系科	総合						•
系	領	成人教育と参加型学習	1・2後	2			£ 1
科目	域	教育の裏側に光を当てる	1・2前	2			£ 1
H		生活美学	1・2前	2			€1
		ものと文化と社会	1.2後	2			€ 1
		映像分析の実践	1・2前	2		兼	£ 1
		世界のなかの日本文化	1.2後	2		身	€ 1
		ボディ・ランゲージ	1.2後	2		兼	€1
		声のトレーニング	1·2後	2		*	#1 カリキュラムの整備により
							<u>科目を追加 (28)</u>
							担当教員が退職したため原
-	-	日本国憲法	1.2前後	2		à	止 (29) 能 3
	迚	法学入門	1・2前	2			£1
	法 学						:
	領	国際化と人権	1・2前	2			£1
	域		1・2後	2			€1 ※演習
		法学概論	3.4後	2			€1
		国際政治史	1・2前	2		兼	美 1
		戦争と平和をめぐる諸問題	1.2後	2		兼	€1
		現代政治の理論と実際	1.2後	2		兼	€ 1
	治学	現代日本の政治と行政	1.2後	2		身	#1 カリキュラムの整備により
	領						科目を追加(29)
	域	グローバル・ガバナンス論入門	1・2前	2			€1
		政治の世界	1・2前	2		兼	美 1
		現代日本政治論	1.2後	2		兼	£ 1
		経済学I	1・2前	2		兼	€1
些		経済分析入門	1・2前	2		身	€ 1
枚	経	資本市場の役割と証券投資	1・2後	2		*	€1
	経済	資本論を読もう	1・2前	2			・ £1 カリキュラムの整備により
화	学	JA-1-Alli C Di O J	1 200				科目を追加 (28)
∄	領	応用経済学入門	1.2後	2		兼	£ 1
	域	数理経済学入門	1・2前	2		兼	€1
		ゲーム理論入門	1.2後	2		兼	€ 1
		農業経営入門	1・2前	2		兼	€ 1
		社会学入門	1・2後	2		身	€1
		応用社会学	1・2後	2		身	£1 カリキュラムの整備によ
社	*1						科目を追加(28)
숲	会	現代日本の社会	1・2前	2			€1
科	7		1・2後	2			€1
学系科	領	オセアニア民族誌	1・2後	2			€ 1
科	域	文化人類学入門	1・2後	2			€1
目		環境と国際社会	1・2前	2			€1
	L	多文化共生論入門	1・2前	2			€1
	地	人文地理学入門 I	1・2前	2			€1
	理	人文地理学入門Ⅱ	1・2後	2		兼	€1
	学	農村空間論	1・2後	2			€1
	領域	地誌学	1・2後	2		兼	£1 カリキュラムの整備によ
		医中央 1 服	1 024	0	+	 	科目を追加 (28)
	歴由	歴史学入門	1・2前	2			€ 1
	史学	歴史と民族	1・2後	2			£1
	領	歴史と文化	1・2後	2			€1
	域		1・2後	2			€1
		中東の社会と文化	1・2前	2	 		€ 1
		社会開発入門	1・2前	2			€1
		遊びの理論とゲーム開発	1・2後	2			€1
		遊び輪と遊び指導	1・2前	2			€1
		住まいづくり・まちづくり入門	1・2前	2		兼	₹1 ※講義
	社会	オイコス入門	1・2前	2		兼	€1
	会総	障害者問題入門	1・2前	2		兼	₹1 隔年
	合	数や図形の絵本づくり	1・2後	2		兼	₹1 ※ 講義
	領	栃木県の歴史と文化	1・2前	2		兼	₹1 ※講義
	域	社会福祉入門	1・2後	2		兼	€1
		環境教育	1・2前	2		兼	¢1 カリキュラムの整備によ
							科目を追加(28)
		地域環境社会学	1・2後	2			(1) カリキュラムの整備により 利日を泊加 (20)
1		災害復興学入門	1・2後	2		-h	科目を追加 (28) #1
1	1	火市攻央ナハ门	1 * 41友			オ	€1

社会科学系科目	会 卷 全 頁	1·2後 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1	2	1	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼2	# 本本でス・共同 集中 * 本本で、ス 担当教員退職のため科の変更、担当教員の変更、担当教員の変更、担当教員の変更、担当教員の変更を表 を では、 一、 を では、 一、 を では、 一、 を では、 一、 を では、
会科学系科	伝統染織と感性 著作権法入門 教科書に見る歴史と社会 人と自然の共生を考える 希望の地域社会論 地域振興と大学の役割 農業と文明 世界の農業 アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学	1·2後 1·2後 1·2後 1·2通 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後		2 2 2 2 2		1	2	1	兼1 兼1 兼1 兼1 兼2	集中 ********* ******** ********* ********
会科学系科	教科書に見る歴史と社会 人と自然の共生を考える 希望の地域社会論 世域振興と大学の役割 農業と文明 世界の農業 アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学	1·2後 1·2通 1·2後 1·2後 1·2後 1·2前		2 2 2		1	2	1	兼1 兼1 兼2	集中 ********* ******** ********* ********
会科学系科	人と自然の共生を考える 希望の地域社会論 社会総合 育領域 地域振興と大学の役割 農業と文明 世界の農業 アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学	1·2通 1·2後 1·2後 1·2後 1·2前		2 2		+	2	1	兼1 兼2	集中 ********* ******** ********* ********
会科学系科	希望の地域社会論 社会総合項域 地域振興と大学の役割 農業と文明 世界の農業 アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学	1·2後 1·2後 1·2後 1·2前		2		1	2	1	兼2	ポニハ、ス 担当教員退職のため科目内容の変更、担当教員の変更 (29) 担当 安森 亮雄(准教 授) 平成28年12月 教員審査済 担当 佐藤 栄治(准教 授) 平成28年12月 教員審査済 担当 佐藤 栄治(准教 授)
会科学系科	出会会合項 地域振興と大学の役割 農業と文明 世界の農業 アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学	1·2後 1·2後 1·2前				1	2	1		担当教員退職のため科目内容の変更,担当教員の変更 (29) 担当 安森 亮雄(准教 授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可 担当 佐藤 栄治(准教 授) 東成28年12月 教員審査済 利力で成28年12月 教員審査済 判定 可
会科学系科	会会会 質成 地域振興と大学の役割 農業と文明 世界の農業 アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学	1·2後 1·2前		2						容の変更,担当教員の変更 (29) 行担当 安森 亮雄 (准教 世授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可 担当 佐藤 栄治 (准教 授) 平成28年12月 教員審査済 担当 佐藤 常治 (准教 関)
会科学系科	会会会 質成 地域振興と大学の役割 農業と文明 世界の農業 アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学	1·2後 1·2前		2						担当 安森 亮雄(准教授) 平成28年12月 教員審查》 判定 可 担当 佐藤 栄治(准教 授) 平成28年12月 教員審查》 判定 可
会科学系科	会会会 質成 地域振興と大学の役割 農業と文明 世界の農業 アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学	1·2後 1·2前		2						授) 平成28年12月 教員審查済 判定 可 担当 佐藤 栄治(准教 授) 现28年12月 教員審查済 判定 可
会科学系科	会会会 質成 地域振興と大学の役割 農業と文明 世界の農業 アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学	1·2後 1·2前		2						判定 可 担当 佐藤 栄治(准教 授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
会科学系科	会会会 質成 地域振興と大学の役割 農業と文明 世界の農業 アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学	1·2後 1·2前		2						平成28年12月 教員審査済 判定 可
会科学系科	会会会 質成 地域振興と大学の役割 農業と文明 世界の農業 アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学	1·2後 1·2前		2						平成28年12月 教員審査済 判定 可
会総合領域	会会会 質成 地域振興と大学の役割 農業と文明 世界の農業 アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学	1·2後 1·2前		2						判定 可
科博	章 音 頂 域 地域振興と大学の役割 農業と文明 世界の農業 アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学	1·2後 1·2前		2						担当 大嶽 陽徳(助教)
科博	質成 地域振興と大学の役割 農業と文明 世界の農業 アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学	1·2後 1·2前		2						
	農業と文明 世界の農業 アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学	1·2後 1·2前		2						平成28年8月 教員審査済 判定 可
	世界の農業 アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学	1・2前							兼1	カリキュラムの整備により
	世界の農業 アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学	1・2前		0					ilde s	科目を追加 (28)
	アフリカ学入門 中国事情 グローバル韓国学			2					#1	カリキュラムの整備により 科目を追加(28)
	中国事情グローバル韓国学	1・2前		2					兼1	カリキュラムの整備により
	中国事情グローバル韓国学			2					兼1	科目を追加 (28) カリキュラムの整備により
	グローバル韓国学									科目を追加 (28)
		1・2後		2					兼1	
	行子・1次四・秋月・江云と与える	1·2前 1·2後		2 2					兼1 兼1	
	セクソロジー入門	1・2後		2						※講義
	高齢者福祉入門	1・2前		2						カリキュラムの整備により
										科目を追加 (29)
	国際協力の実際と課題	1.2後		2					兼2	カリキュラムの整備により
l	現代数学入門	1・2後		2					兼1	科目を追加 (29)
i	電気電子数学入門	1・2後		2						※講義
数	数 Mathematicaによる微積分入門	1・2前		2					兼1	*\ BH.4%
学	対 Mathematicaによるデータ解析入門	1.2後		2					兼1	
基類		1・2前		2					兼1	
盤教	数学の世界	1・2前		2					兼4	オムニバス カリキュラムの整備により
育										カリイユノムの金偏により 科目を追加 (28)
科目	教養物理	1・2前		2			1			オムニハ゛ス
物	物理学入門	1・2前		2					兼1	よりよ こしの軟件により
珥	型 物理工学最前線	1・2前		2					兼1	カリキュラムの整備により 科目名称を変更 (29)
学		1.2前後		2					兼1	
垣	成材線科字人門	1・2前		2					兼1	
1	エレクトロニクス科学史	1・2後		2					兼1	
l I	バイオミメティクス入門 地球環境と化学	1·2後 1·2前		2					兼1 兼1	
	環境と生物化学	1・2前		2					兼1	
	不思議な化学	1・2後		2					兼1	
11	水素とエネルギー	1.2後		2					兼1	
化 分		1・2前		2					兼1	
自能		1・2前		2					兼1	•
科	微生物の化学	1・2後		2					兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
学系										担当教員が退職したため房
科目	ノーベル化学賞周辺の化学	1.2後		2]				兼1	止 (29)
	人間生活と植物	1.2後		2					兼1	1
	食料生産の生物学	1.2後		2	J				兼1	
	21世紀を支える熱帯植物	1.2後		2					兼1	
	野外における野生動物識別テクニックの基礎 野外における鳥獣識別テクニックの基礎	1・2前		2					兼1	カリキュラムの整備により 科目名称を変更 (28)
生物	to to	1.034		0	J				shire e	
学	 	1·2前 1·2前		2 2	J				兼1 兼1	カリキュラムの見直しによ
領域	或				J					り科目を廃止 (29)
"	美味しさを科学するーミシュランガイド宇都宮をつくろうー	1・2後		2	J					※講義
	人体の中の小宇宙	1・2後		2	1				兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	昆虫生理生態学	1.2後		2]				兼1	カリキュラムの整備により
	C言語・プログラミング入門	1・2前	\vdash	2					兼1	科目を追加(29)
	プログラミング応用	1・2前		2	J				兼1	
情報		1.2後		2					兼1	
和	4 インターネットのしくみ	1・2後		2	J				兼1	
学領	学 Webのしくみ	1・2後		2					兼1	
		1・2後		2						
垣	ワイヤレス通信のしくみ	1・2後		2	J				兼1 兼1	

I 1	共	地球環境と生物事件史	1・2前	2	1 1	1	1	1 1	兼1	
	90 10	単近か気象学	1・2後	2					兼1	
	Г	肥満の科学	1・2後	2					兼1	
		健康のためなら死んでもいい!?	1・2前	2					兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	仮		1・2前	2					兼1	カリキュラムの整備により
	乖	健康管理学概論	1.2後	2					兼1	科目を追加(28)
自		*	1.2後	2					兼1	
然	it li	スポーツトレーニング論	1・2後	2					兼1	カリキュラムの整備により
学	ż	精神医学概論	1.2後	2					兼1	科目を追加 (28) カリキュラムの整備により
系科		人間の感覚を測る	1・2前	2					兼1	科目を追加 (29) ※講義
Ħ		生物の多様性とは何か	1・2前	2					兼1	公 再我
	É	雑草と人のくらし	1.2後	2					兼1	
	外		1・2前	2					兼1	※講義
	台領		1・2前	1						集中
	垣		1·2後 1·2後	1 2						共同・集中 共同
		And GV2 2 C 97Cl 1	1 2 100	2					AK4	カリキュラムの整備により
l		ドイツ語基礎 I	1・2前	1	+	-			兼1	科目を追加(28)
		ドイツ語基礎Ⅱ	1.2後	1					兼1	
		ドイツ語基礎Ⅲ	1・2前	1					兼1	
		ドイツ語基礎IV	1・2後	1					兼1	
		ドイツ語応用 I ドイツ語応用 II	1·2前 1·2後	1					兼1 兼1	
		フランス語基礎 I	1・2前	1					兼2	
		フランス語基礎Ⅱ	1.2後	1					兼2	
		フランス語基礎Ⅲ	1・2前	1					兼1	
		フランス語基礎Ⅳ	1・2後	1					兼1 兼1	
		フランス語応用 I フランス語応用 II	1·2前 1·2後	1					兼1	
		スペイン語基礎 I	1・2前	1					兼1	
		スペイン語基礎Ⅱ	1・2後	1					兼1	
	- 277	スペイン語基礎Ⅲ	1・2前	1					兼1	
	初習	スペイン語基礎IV スペイン語応用 I	1·2後 1·2前	1					兼1 兼1	
基盤	外国	スペイン語応用Ⅱ	1・2後	1					兼1	
教育	語	中国語基礎I	1・2前	1					兼2	
科	系科	中国語基礎Ⅱ	1・2後	1					兼2	
目	目	中国語基礎Ⅲ 中国語基礎Ⅳ	1·2前 1·2後	1					兼1 兼1	
		中国語を使い中国語応用Ⅰ	1・2版	1					兼1	
		中国語応用Ⅱ	1.2後	1					兼1	
		タイ語基礎 I	1・2前	1					兼1	
		タイ語基礎Ⅱ	1・2後	1					兼1	
		タイ語基礎Ⅲ タイ語基礎Ⅳ	1·2前 1·2後	1					兼1 兼1	
		タイ語応用 I	1・2前	1					兼1	
		タイ語応用Ⅱ	1・2後	1					兼1	
		朝鮮語基礎I	1・2前	1					兼2	
		朝鮮語基礎Ⅲ	1・2後	1					兼1 兼1	
		朝鮮語基礎IV	1·2前 1·2後	1					兼1	
		朝鮮語応用I	1・2前	1					兼1	
I ∟		朝鮮語応用Ⅱ	1.2後	1					兼1	II He AVOR V
		野外調査論 田山のサスティナビリティを考える	1・2前	2						共同・※講義
		里山のサステイナビリティを考える 人と自然をつなぐ・人と人をつなぐA	1·2前 1·2前	2						共同・集中・※講義 共同・集中
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB	1・2前	1						集中・※講義
		実践・宇都宮のまちづくり	1・2前	2					兼1	
		一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り"	1・2後	2					兼1	
		地域金融機関とともに「地方創生」を考える	1.2後	2					兼1	カリキュラムの整備により
	60	危機を見つめる力	1・2前	2					兼1	科目を追加(28)
	総合	3.11と学問の不確かさ	1・2前	2						オムニバス・共同
	系科	食と生命のフィールド実践演習	1・2前	4					兼5	共同
	目								兼6	担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28)
		ボランティアという生き方	1.2後	2					兼1	カリキュラムの整備により
		男女共同参画社会を生きる	1.2後	2					兼2	科目を追加(29) 共同・集中・※演習
		ものづくり体験	1.2後	2						共同
		宇大を学ぶ	1.2後	2					兼1	担当教員が退職したため担 当教員の変更(28)
		栃木の里山に学ぶ (春夏編)	1・2前	1					兼1	自教員の変更(28) 集中
		栃木の里山に学ぶ (秋冬編)	1.2後	1						集中
		ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」	1・2前	2	1 1				兼1	

1		ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」	1・2後	I	2	ĺ	I			l	ı	兼1	
		生きるということ	1・2前		2								担当教員が退職したため廃
		<u>「ぷろじぇくと」をやってみる</u>	1・2前		1							兼1	止(28) 担当教員が退職したため廃
		体験!ぷろじぇくと	1・2前		2							兼1	止 (28) 担当教員が退職したため廃
		感じる・考える・話す	1·2後		2								止 (28) 担当教員が退職したため廃
													止 (28)
		アクティブにとらえる現代社会	1・2後		2							兼1	担当教員が退職したため廃 止 (28)
		サイエンスコミュニケーション入門〜理系と文系の壁を超えよう	1・2前		2							兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
		地域メディア演習	1・2後		2							兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	総合	環境マネジメント実践	1・2通		2		1			1		兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 担当 横尾 昇剛 (教授) 平成29年6月 提出予定 担当 糸井川 高穂 (助教 授)
	系 科 目	宇大生の宇大生による宇大生のための理想の授業	1・2前		2							兼2	平成29年6月 提出予定 集中 カリキュラムの整備により
		大学論	1・2前		2							-	科目を追加 (29) カリキュラムの整備により
													科目を追加 (29)
		青年期教育論	1・2後		2								カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
		とちぎ終章学特講	1・2後	1								兼2	共同・※講義 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29)
		終章を支える社会資源	1•2前		2							兼1	集中カリキュラムの整備により
		とちぎ終章学演習 I	1・2前		2							兼3	科目を追加(29) 共同・※講義
		とちぎ終章学演習Ⅱ	1・2前		2								※講義
		とちぎ仕事学	1・2後		1							兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
3		ソーシャル・イノベーション (社会変革) 概論	1・2前		2							兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
t		地域編集論〜地域振興と情報発信	1・2前		2							兼1	カリキュラムの整備により
î F		とちぎ企業人に学ぶ	1.2後		2							兼1	科目を追加 (29) カリキュラムの整備により
-	I	∼業界・仕事・社会∼ 人間と社会	1・2・3・4前		2							兼1	科目を追加(29)
		キャリアデザイン	1・2・3・4後		2								共同
	キャ	働くことの意味と実際 実践企業人材論	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2 2							兼1 兼1	
	リア	起業の実際と理論	1・2・3・4後		2							兼1	
	創	先輩に学ぶ	1・2・3・4前		2							兼1	
	造科	より良く生きる 企業のグローバル戦略とキャリア形成	1·2·3·4前 1·2·3·4後		2							兼3 兼1	オムニハ゛ス
	目	グローバル時代の企業経営	1.2.3.4前		2								集中
		実践して学ぶミニ農業生産	1.2.3.4前		2							兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
		課題発見・解決型インターンシップA	1・2・3・4前		1								活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
		課題発見・解決型インターンシップB 課題発見・解決型インターンシップC	1・2・3・4前1・2・3・4前		2 3							兼1 兼1	14日を追加 (29)
基		課題発見・解決型インターンシップD	1.2.3.4前		4							兼1	
盤キ		課題発見・解決型インターンシップ	1•2•3•4前		4							兼1	活動期間により単位認定
ャ		課題発見・解決型インターンシップ 課題発見・解決型インターンシップ	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2							兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
リア		課題発見・解決型インターンシップ 課題発見・解決型インターンシップ	1·2·3·4前 1·2·3·4前		3 4							兼1	カリキュラムの整備により 科目を廃止 (29)
教育		キャリア形成に資する活動A	1.2.3.4前		1								活動期間により単位認定
科目		キャリア形成に資する活動B	1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加(29)
	自	キャリア形成に資する活動 C キャリア形成に資する活動 D	1・2・3・4前1・2・3・4前		3 4							兼1	
	由科	キャリア形成に資する活動	1-2-3-4前		4							兼1 兼1	活動期間により単位認定
	目	キャリア形成に資する活動	1·2·3·4前		2								カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
		キャリア形成に資する活動	1·2·3·4前		3							兼1	カリキュラムの整備により
		<u>キャリア形成に資する活動</u> なみを44年動	1.2.3.4前		4								科目を廃止 (29)
		社会奉仕活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 2							兼1 兼1	活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
		社会奉仕活動	1·2·3·4前		3							兼1	科目を廃止 (28)
		社会奉仕活動	1·2·3·4前		4							兼1	
		国際協力活動	1・2・3・4前		1								活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
1	1	国際協力活動	1·2·3·4前	I	2	1	ı	1				兼1	カリキュフムの整備により 科目を廃止 (28)
		国際協力活動	1・2・3・4前		3							兼1	作日で廃止 (40)

数元 10 10 10 10 10 10 10 1	4 1		1	実務体験活動	1・2・3・4前		1	ı		ı	1 1	ı	1 4	ìde 1	活動期間により単位認定
製造機能接触		基盤											3	iii: 1	カリキュラムの整備により
対	1	#	白	[兼1	科目を廃止 (28)
数目 お田の	1	IJ	由		1·2·3·4前		4								
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1			1									#	兼1	活動期間により単位認定 カリキュラムの整備に上り
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	育	1	1											利目を廃止 (29)
アクテミック・フィーペーズ 1前 1 1 1 1 1 1 1 1				1											
日本部アカデミック・ライマイング 1後 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	_		アカデミック・ジャパニーズ	1前		1						j	兼1	
日本新7 万デミック・ライアング 1歳	1	台	習	日本語アカデミック・リーディング I	1前		1						j	兼1	カリキュラムの整備により
日本版学がティック・リーディング目 12-2-46 1		4		日本語アカデミック・ライティング	1後		1						j	兼1	作日で垣加(20)
1 本本アカテスク・アリーゼンデーション 12-5-4億 1 1 1		E	3	日本語アカデミック・リーディングⅡ	1.2.3.4後		1						ž	兼1	カリキュラムの整備により
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本				日本語アカデミック・プレゼンテーション	1・2・3・4後		1						ij	兼1	科日を追加 (28)
大人の大学が2009年11年本語		禾	4												
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	基	E	∃	人文社会系のための専門日本語			1								
地域デザイン中洋協日 1歳 2 5 6 6 6 5 3 3 2 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 3 3 2 2 3 3 2 2 3 3 2 3 3 3 2 3 3 3 2 3 3 3 2 3 3 3 3	盤教					_	2								D . * -
地域グサイン学序論日 1後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	育			地域アサイン字序論A	1 再订	2							兼	₹14	オムニハ ス カリキュラム充実のため担
日本				山山やで、ボフェ、空に南海への	1.64				_						当教員を変更(29)
1歳 古賀 音葉 音響 1歳 日本 1歳 日				地域アサイン子序論B	1仮	2			Б						和4-1 A・※ 演音 担当教員退職のため内容を
中国															変更,担当教員の変更
東京の東京日 東京日 東京の東京日 東京日 東京	1														担当 古賀 誉章(准教
対域がザイン学序論C 1後 2 1 2 1 2 1 2 2 2 2															授) 平成28年12月 教員審査済
大利日															判定可
日	1	7	,												平成28年12月 教員審査済
地域デザイン学序論C 1後 2 1 2 1 数6 対応パネ 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元															
地域デザイン学序論C 1後 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 2	1														(29)
地域デザイン学序論C 1後 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 3 3 3 4 2 3 3 3 4 3 3 4 3 3 3															担当 横尾 昇剛(教授) 平成28年12月 教員審査済
地域デザイン訪問	1														判定可
地域デザイン訪問				地域デザイン学序論C	1後	2									
地域の姿と課題 1前 1	1												1	KII	
地域の姿と課題 1前 1	\vdash			地域デザイン訪問	1通	2			1	2		1	- 1	兼6	オムニバス・共同
地域の姿と課題 1前 1				250 7 1 2015		_				_					カリキュラム充実のため担
地域の姿と課題 1前 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2															当教員を追加(29) 担当 大嶽 陽徳(助教)
地域の姿と課題 I 1前 1 2 2 表 表 表 表 表 表 表 表															平成28年8月 教員審査済
地域の姿と課題II 3前 1 1 1 3				地域の姿と課題 I	1前	1				1			j	兼3	
東西門教育 東京						1			2	2		2	ŧ	兼6	1
世級 (29) 担当 教徒 (29) 担当 保尾 早期 (29) 担当 保尾 早期 (29) 担当 大阪 (29) 担当 全条 (29) 担当 全条 (29) 担当 全条 (29) 担当 全条 (29) 担当 (29) 工作	1													Mr.o.	•
通過 横尾 昇剛 平成28年12月 教徒 担当 横尾 昇剛 平成28年12月 教徒 担当 横尾 月剛 平成28年12月 教徒 対りキュラム完美 当教員を追加 (29) 担当 城屋 昇剛 平成28年8月 教員 判定 可の 職位を 2 (29) 担当 城屋 昇剛 平成28年8月 教員 判定 可の 職位を 3 (29) 担当 城屋 月剛 平成28年8月 教員 判定 可の 職位を 3 (29) 担当 城屋 月剛 平成28年8月 教員 1 前 3 推立 本				リークショップ演習	3月1	1			1				7	#3	共同 担当教員の職位を変更
中門 日 日 地域プロジェクト演習 3通 2 4 6 5 5 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1															
地域プロジェクト演習 3通 2	1	専													平成28年12月 教員審査済
日	1	1 1	1	地域プロジェクト演習	3通	2			4	£		2			判定 可 共同
中門		Ħ		地域ノロマエノ「映日	3,111	2									カリキュラム充実のため担
P															当教員を追加(29) 担当 大嶽 陽徳(助教)
理当教員の職位を名 (29) 担当 権尾 昇剛 平成28年8月 教員 利定 可 イムニバス 本4 オムニバス 本4 オムニバス 本6 本6 本6 本6 本6 本6 本6 本	1														平成28年8月 教員審査済
中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国	1														担当教員の職位を変更
P															(29) 担当 横尾 昇剛(教授)
関数	_														平成28年8月 教員審査済
1	門		遊	G I S演習	2後		1			1			i	兼2	-
#3 共同・※講義 カリキュラム充実の 連楽構造力学 I 連楽構造力学演習 I 連楽報告の学演習 I 連楽報告の学演習 I 連楽報告の学演習 I 連楽報告の学演習 I 連楽報告の学演習 I 連楽報告の学演習 I 連楽報告の学演習 I 連楽報告の学演習 I 連楽構造力学演習 I 連楽構造力学演習 I 連楽構造力学演習 I 連楽構造力学演習 I 連楽構造力学演習 I 連楽構造力学演習 I 線形代数学及演習 I 2 i 3 i 1後 2 i 1			科 目												•
建築構造力学 I 1 1 1 1 2 1 1 2 2 3 3 4 4 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4	科			微積分学及演習	1前	3							į	兼3	
建築構造力学演習 I 1前 1	Ħ														カリキュフム允美のため担 当教員の変更 (29)
建築図学 1後 1	1			1					1						
建築	1									1					オムーバコ
 (29) (20) (20)	1	建		在来凶丁						1		1			教育的効果を高めるため配
##	1	築		建築設計基礎	1後	2				1		1			当年次を変更(29) 共同
デザ - V - V - V - V - V - V - V - V - V -	1	市		A STATE OF HI CELLING	110	Ĩ				1		•			カリキュラム充実のため担
イ (を) 学 目 建築構造力学II 1後 2 科 専 門 科 目 2前 3 日 (を) 学 目 建築構造力学演習 II 1後 1 線形代数学及演習 2前 3 ※講義 教2 カリキュラム充実の当教員を変更 (29)	1	デ	ıV.												当教員を追加(29) 担当 大嶽 陽徳(助教)
一	1	イ	修												平成28年8月 教員審査済 判定 可
科 建築構造力学演習 II 1後 1 専門門科 目 線形代数学及演習 科 日 2前 3 当教員を変更(29)				建築構造力学Ⅱ	1後	2				1					1376 - 1
門	1	科			_							1			
	1	門		線形代数学及演習	2前	3									
:: Letting ≠1, phy ⇔ 1	1			The 640-11 11/2										104	当教員を変更 (29)
	1	-		建築計画学 I 建築コンバージョン論	2前	2			1	1					
				1						1					担当教員の職位を変更
			i	1			I	l	· -	1 -	1 1				
平成28年12月 教師												- 1	J		
															担当 横尾 昇剛(教授) 平成28年12月 教員審査済

			建築構法	2前	2		1	1	1	1	I	1
			建築設計製図 I	2前	2			4		2 3		カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 大嶽 陽徳 (助教) 平成28年8月 教員審査済
			建築計画学Ⅱ	2後	2			1				判定可
			バリアフリー建築論 設備工学 I	2後 2後	2		1	1				
			建築材料 I 建築設計製図 II	2後 2後	2 2		1	3		1	¥ 1	カリキュラム充実のため担
											AK1	当教員を追加 (29) 担当 大嶽 陽徳 (助教) 平成28年8月 教員審査済 判定 可
			建築材料実験 建築設計製図Ⅲ	3前 3前	2		1	3		1		カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 大嶽 陽徳 (助教) 平成28年8月 教員審査済
			建築法規	3後	2						兼1	判定可
			建築生産建築地域設計製図	3後 3後	2 2		4	6		2	兼1 並 1	カリキュラム充実のため担
		必	在来で10個以上 本に				5	5		3	AK1	当教員を追加 担当 大嶽 陽徳(助教) 平成28年8月 教員審査済
		修科										判定 可 担当教員の職位を変更 (29)
		目										1257 担当 横尾 昇剛(教授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
			建築環境実験	3通	1		1 2	1		1		ポニー・ス・共同 担当教員の職位を変更 (29)
												担当 横尾 昇剛(教授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
	建築		卒業研究	4通	4		4 5	6 5		2 3		カリキュラム充実のため担 当教員を追加
専門は	都市デザ											担当 大嶽 陽徳(助教) 平成28年8月 教員審査済 判定 可 担当教員の職位を変更
教育科目	イン学科											(29) 担当 横尾 昇剛(教授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
	専門科		卒業設計	4通	4		4 5	6 5		2 3		カリキュラム充実のため担 当教員を追加 担当 大嶽 陽徳(助教)
	目											平成28年8月 教員審査済 判定 可 担当教員の職位を変更 (29)
												担当 横尾 昇剛(教授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
			高齢社会学 まちづくり論	1後 1後		2 2					兼1 兼1	
			建築構造力学Ⅲ 社会調査法	2前 2後		2 2	1	2		1		オムニバス・※演習
			建築史 I	2後		2		,			兼1	隔年
			建築構造力学Ⅳ 環境工学Ⅱ	2後 2後		2 2	1	1 1				担当教員の職位を変更
												(29) 担当 横尾 昇剛(教授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
			防災マネジメント I まちづくり特講	2後 2後		2 2					兼1 第 7	オムニハ゛ス・※演習
		選	学外実習 I	2通		1	1				NK1	担当教員の変更
		択科目	学外実習Ⅱ	2通		2	1					担当 中島 史郎 平成29年6月 提出予定 担当教員の変更 担当 中島 史郎
			社会統計学	3前		2					兼1	平成29年6月 提出予定 コミュニティデザイン学科 の留意事項に対応するため
			建築計画学Ⅲ	3前		2		1				内容を変更(28)
			都市計画 建築リサイクル学	3前 3前		2 2	1	1			兼1	オムニバス
			建築史Ⅱ	3前		2				1	兼1	隔年 カリキュラム充実のため担 当教員を変更 (29) 担当 大嶽 陽徳 (助教) 平成28年8月 教員審査済
			鉄骨構造	3前		2	1					判定可
									•			-

1			鉄筋コンクリート構造	3前	Ī	2	ĺ	1	Ì		
			設備工学Ⅱ	3前		2	1				
			設備設計論	3前		2				兼1	隔年
			建築材料Ⅱ	3前		2	1				
			生物多様性論	3後		2				兼1	
			建築計画学IV	3後		2		1			
			地区計画	3後		2		1		兼1	オムニハ゛ス
	建		建築デザイン	3後		2		1			
	築		建築史Ⅲ	3後		2				兼1	隔年
	都		高齢者防災論	3後		2		1			
亩	市デ		構造設計論	3後		2				兼1	隔年
専門		選	土質基礎工学	3後		2				兼1	
教			設備工学Ⅲ	3後		2	1				
育科	ン学	科目	地域環境エネルギー計画	3後		2	1	1			担当教員の職位を変更
目		П									(29) 担当 横尾 昇剛(教授)
	専										平成28年12月 教員審査済
	門科										判定 可
	目		建築インターンシップ	3通		2	1				担当教員の変更
											担当 中島 史郎 平成29年6月 提出予定
			建築学外実習	3通		1	1				担当教員の変更
											担当 中島 史郎
			国土計画	4前		2					平成29年6月 提出予定 オムニバス
			工業日本語基礎Ⅰ	3前		1				- 11 -	留学生対象科目
			工業日本語基礎Ⅱ	3後		1					留学生対象科目 留学生対象科目
			工業日本語を開	3仮 4通							* · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
			上来日平前心用	4.00		2				飛1	留学生対象科目

(注) 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- 設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更さ れているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。

- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合 には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前) についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え 消し修正をしてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科日数

_	(\angle)	又未付口的							
			の計画				状況		備考
	必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計)拥有
ı	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
	44	300	0	344	44	361	0	405	
					[0]	[61]	[0]	[61]	

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
 - 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	器楽合奏概論	2	1.2後	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
2	生きるということ	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(28)
3	「ぷろじぇくと」をやってみる	1	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(28)
4	体験!ぷろじぇくと	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(28)
5	感じる・考える・話す	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(28)
6	アクティブにとらえる現代社会	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(28)
7	社会奉仕活動	1	1-2-3-4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
8	国際協力活動	1	1-2-3-4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
9	実務体験活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
10	特別体験活動	1	1-2-3-4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
1 1	Overseas Study A	1.2.3.4	1-2-3-4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
12	Overseas Study B	1.2.3.4	1-2-3-4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
1 3	Overseas Study C	1.2.3.4	1-2-3-4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
1 4	Overseas Study D	1-2-3-4	1-2-3-4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
1 5	心理学と人権	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(29)
1 6	日本語の表記	2	1・2前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
1 7	声のトレーニング	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(29)
1 8	微生物の化学	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(29)
1 9	ウイルスの世界と生物の世界	2	1・2前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
2 0	課題発見・解決型インターンシップ	1.2.3.4	1-2-3-4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
2 1	キャリア形成に資する活動	1-2-3-4	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

28年度に廃止となった番号7~10の科目は、現状に見合った活動である「課題発見・解決型インターンシップ」及び「キャリア形成に資する活動」として、29年度に廃止となった番号11~14の科目は「Study Abroad A~D」、番号20・21の科目は「課題発見・解決型インターンシップA~D」及び「キャリア形成に資する活動A~D」として科目を新設したため、教育の質は確保できており、それ以外の科目については、一般教養科目に位置づけられている科目であり履修上の影響はないと考える。

なお、学生に対しては、履修案内・シラバス等において、開講科目を周知している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計 設置時の計画の授業科目数の計 = 0.06

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

峰キャンパス

2 授業科目の概要

<地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科>

(1) 授業科目表

				単位数			専任参	女員等(の配置		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	備考
			修	択	由	授	教授	師	教	手	
	Integrated English I A	1前	2	1/4	Щ	1,2,	12	Enh	43	7	兼6 カリキュラム充実のため担
											兼2 当教員を追加(28)
	Integrated English I B	1前	1								兼8
	Integrated English II A	1後	2								兼6 カリキュラム充実のため担 兼2 当教員を追加 (28)
	Integrated English II B	1後	1								兼8
	Advanced English I (Intensive Reading)	2前後		1							兼4
	Advanced English I (Pleasure Reading)	2前後		1							兼2
	Advanced English I (Academic Writing)	2前後		1							兼2 兼4
	Advanced English I (Essay writing) Advanced English I (Public Speaking)	2前後 2前後		1							兼2
	Advanced English I (Presentation)	2前後		1							兼4
	Advanced English I (Discussion&Debate)	2前後		1							兼2 カリキュラム充実のため担
	Advanced English I (Speech Clinic)	2前後		1							兼1 当教員を追加(28) 兼4 カリキュラム充実のため担
	Advanced English 1 (Speech Clinic)	4月17久		1							兼3 当教員を追加 (28)
	Advanced English I (Vocabulary Building)	2前		1							兼2
	Advanced English I (Communicative Grammar)	2前後		1							兼4
	Advanced English I (Media English)	2前後 2前後		1 1							兼2 兼2 カリキュラム充実のため担
	Advanced English I (Cinema English)	2月11友		1							兼1 当教員を追加 (28)
	Advanced English I (TOEIC)	2前後		1							兼5
	Advanced English I (TOEFL)	2前後		1							兼2 カリキュラム充実のため担 兼1 当教員を追加 (28)
	Advanced English I (EAP)	2前後		1							兼4
	Honors English A	1.2.3.4前		1							兼2
	Honors English B	1・2・3・4後		1							兼2
	Honors English C	1・2・3・4前		1							兼2
	Honors English D	1・2・3・4後		1							兼2
11	Honors English E	1・2・3・4前		1							兼2
基サテ	Honors English F	1・2・3・4後		1							兼2
盤教	Honors English G Honors English H	1·2·3·4前 1·2·3·4後		1							兼2 兼2
育 ~	Honors Camp A	1・2・3・4版		1 2							兼1
科科科	Honors Camp B	1・2・3・4前		2							兼1
	Honors Camp C	1・2・3・4前		2							兼1
	Honors Camp D	1・2・3・4前		2							兼1
	Study Abroad A	1.2.3.4前		2							兼1 カリキュラムの整備により
	Overseas Study A	1・2・3・4前		4							科目を追加(29) 兼1 留学期間により単位認定
	Overseas Study A	1・2・3・4前		2							#1 カリキュラムの整備により
	Overseas Study A	1·2·3·4前		3							和目を廃止(29) 兼1
	Overseas Study A	1·2·3·4前		4							*** *********************************
	Study Abroad B	1.2.3.4前		2							兼1 カリキュラムの整備により
	Overseas Study B	1•2•3•4前		1							科目を追加(29) 兼1 智学期間により単位認定
	Overseas Study B	1・2・3・4前		2							#1 カリキュラムの整備により
	Overseas Study B	1 2 3 1前		3							和目を廃止(29) 兼1
	Overseas Study B	1•2•3•4前		4							*** *********************************
	Study Abroad C	1.2.3.4前		1							兼1 カリキュラムの整備により
	0	1 0 0 4									科目を追加 (29)
	Overseas Study C	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 2							兼1 智学期間により単位認定 カリキュラムの整備により
	Overseas Study C	1·2·3·4前 1·2·3·4前		± 3							雅1 兼1 #1
	Overseas Study C	1 2 3 4前		4							#1
	Study Abroad D	1.2.3.4前		1							兼1 カリキュラムの整備により
		1.0 0 424									科目を追加(29)
	Overseas Study D Overseas Study D	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 2							兼1 母学期間により単位認定 兼1 カリキュラムの整備により
	Overseas Study D	1·2·3·4前 1·2·3·4前		<u>≠</u>							無1 和目を廃止(29)
	Overseas Study D	1・2・3・4前		4							兼1
	スポーツと健康	1前	2	1							兼9 カリキュラム充実のため担
											兼7 当教員を追加 (28)
	とちぎ終章学総論	1後	1								兼1 ※講義

. –		五次日相	1 0 ====				 1 1	₩ 1	
		西洋思想	1・2前	2				兼1	
		現代思想	1・2後	2				兼1	•
	哲	東洋思想	1・2前	2				兼1	•
	学	論理学	1・2前	2				兼1	•
	領	西洋の倫理思想	1・2後	2				兼1	•
	域	科学思想史	1・2前	2				兼1	
		東アジアの宗教と文化	1・2前	2				兼1	
		仏教における人間形成論	1・2前	2				兼1	
	-	心理学	1・2前	2		\vdash	+		カリキュラムの整備により
		心理子	1.7月1	4				水1	カリイユノムの金浦により 科目を追加 (29)
		認知心理学入門	1・2後	2				兼1	117 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -
		行動心理学入門	1・2前	2				兼1	
		実験心理学入門	1・2前	2				兼1	
		発達と学習の心理学	1・2後	2				兼1	
		パーソナリティ心理学概論		2				兼1	
	心		1・2前						
	理学		1・2前	2				兼1	
	一領	, c 0 % Line (-)	1・2後	2				兼1	
	域		1・2前	2					担当教員が退職したため廃
		学校臨床心理学	1・2後	2					止(29) カリキュラムの整備により
		于仅幅小心生子	1 2/2	2					科目を追加(28)
		言語習得論	1・2後	2				兼1	,,,,,
		質的心理学研究法入門	1・2後	2				兼1	カリキュラムの整備により
									科目を追加(29)
		児童生徒の思考と認知	1・2前	2					カリキュラムの整備により
	-	日本文学(古典)	1・2前後	2	-			兼2	科目を追加(29)
		日本近代文学講読	1・2前	2				兼1	
		日本の小説							カリナ ニノの動供に上り
		日本の小説	1・2前	2					カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
		日本の古典	1・2後	2					カリキュラムの整備により
									科目を追加(28)
	文		1・2前	2				兼1	
	学		1・2後	2				兼1	
	領域		1・2前	2					カリキュラムの整備により
J	坝								科目を追加(28)
基盤教育		フランス文学	1・2後	2				兼1	
盤教科		比較文学	1・2前	2				兼1	
教育科		ロシア文学	1・2前	2				兼1	
17 EN		英文学入門	1・2後	2				兼1	
目目		米文学入門	1・2前	2				兼1	
		ヨーロッパ地域文化論	1・2前	2				兼1	
		現代美学	1・2後	2				兼1	
		芸術学	1・2前	2				兼1	
		芸術と自然	1・2前	2					隔年
		音楽通論	1・2後	2				兼1	nu 1
	芸	声楽の魅力	1・2後	2				兼1	
	11.3	BB 550 A = 1 1 1 2 A							<u> </u>
	領		1・2後	2				#1	カリキュラムの見直しによ り科目を廃止 (28)
	域	管打合奏演習	1・2後	2				兼1	7 11 a 2 16 ac (20)
		日本文化A	1・2前	2				兼1	
		日本文化B	1・2後	2				兼1	
									せい プロ・サロ・ツ 講美
		美術表現基礎	1・2前	2					オムニバス・共同・※講義
	<u> </u>	近現代美術論	1・2後	2	1	$\sqcup \sqcup$	1		オムニバス・共同
		多言語コミュニケーション学A	1・2前	2				兼1	
		多言語コミュニケーション学B	1・2後	2				兼1	
		日本語の表記	1·2前	2					カリキュラムの見直しによります。
		日本語を文法的に考える	1・2後	2	1				り科目を廃止 (29) カリキュラムの整備により
		p 不明でスIAPNに与える	1 1 41友						カリヤュラムの登開により 科目を追加(29)
		論理表現の技術	1・2後	2				兼1	= .= \== /
		Japanese Communication Arts	1・2後	2				兼1	
	١.	ことげから目を人間	1・2後	2					共同
	人	生涯学習概論	1・2前	2	1			兼1	
	総		1・2後					兼1	
	合	成八秋日こ 参加主 子日							
	領城		1・2前					兼1	
	- ツ	生活美学	1・2前	2				兼1	
		ものと文化と社会	1・2後	2	1			兼1	
		映像分析の実践	1・2前	2				兼1	
		世界のなかの日本文化	1・2後	2				兼1	
		ボディ・ランゲージ	1・2後	2				兼1	
		声のトレーニング	1·2後	2				兼1	カリキュラムの整備により
					1				科目を追加 (28)
				I					担当教員が退職したため廃 止 (29)
. L		L	1	I	1		 <u>i L</u>		II. (40)

				1 02/1//							34.	
			日本国憲法	1・2前後	2						兼	<u>:</u>
		法	法学入門	1・2前	2						兼	
		学	国際化と人権	1・2前	2						兼	
		領域	知的財産権概論	1・2後	2						兼	※演習
		坝	法学概論	3・4後	2						兼	:
			国際政治史	1・2前	2						兼	•
			戦争と平和をめぐる諸問題	1・2後	2						兼	
			現代政治の理論と実際	1.2後	2						兼	
		治	現代日本の政治と行政	1・2後	2						- 華	カリキュラムの整備により
		学	Silveryoxidens	1 200							AIK.	科目を追加 (29)
		領域	グローバル・ガバナンス論入門	1・2前	2						兼	• · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		坝	政治の世界	1・2前	2						兼	
					2							<u> </u>
			現代日本政治論	1・2後							兼	<u> </u>
			経済学Ⅰ	1・2前	2						兼	
			経済分析入門	1・2前	2						兼	
		(r v	資本市場の役割と証券投資	1・2後	2						兼	
		経済	資本論を読もう	1・2前	2						兼	カリキュラムの整備により
		学	Sering E pe o y	1 2111							7114	科目を追加 (28)
			応用経済学入門	1・2後	2						兼	
			数理経済学入門	1・2前	2						兼	
			ゲーム理論入門									<u> </u>
				1・2後	2						兼	:
			農業経営入門	1・2前	2		<u> </u>				兼	:
			社会学入門	1・2後	2						兼	
			応用社会学	1・2後	2		1				兼	カリキュラムの整備により
							I					科目を追加 (28)
		社	現代日本の社会	1・2前	2		1				兼	
		会	マスコミ入門	1・2後	2		1				兼	
		学額	オセアニア民族誌	1・2後	2		1				兼	•
							1					
			文化人類学入門	1・2後	2		1				兼	:
			環境と国際社会	1・2前	2						兼	
			多文化共生論入門	1・2前	2						兼	
			人文地理学入門 I	1・2前	2		1				兼	
		地	人文地理学入門Ⅱ		2							:
		理学		1・2後							兼	:
		子領	農村空間論	1・2後	2						兼	
atate .	社	域	地誌学	1・2後	2						兼	カリキュラムの整備により
基盤教育	会科		TT -L W -T FIF	1/:		<u> </u>	ļ				37.	科目を追加(28)
数	科		歷史学入門	1・2前	2						兼	:
育	学	史学	歴史と民族	1.2後	2						兼	
48L	系科	子領	歴史と文化	1.2後	2						兼	
目	目		地域の歴史	1.2後	2						兼	
	Ι		中東の社会と文化	1・2前	2	+	1				兼	
												:
			社会開発入門	1・2前	2						兼	
			遊びの理論とゲーム開発	1・2後	2						兼	
			遊び輪と遊び指導	1・2前	2						兼	
			住まいづくり・まちづくり入門	1・2前	2						兼	※講義
			オイコス入門	1・2前	2						兼	
												<u>:</u>
			障害者問題入門	1・2前	2							隔年
			数や図形の絵本づくり	1・2後	2						兼	※講義
			栃木県の歴史と文化	1・2前	2						兼	※講義
			社会福祉入門	1・2後	2						兼	
			環境教育	1・2前	2						華	カリキュラムの整備により
			DENOTE A PROPERTY OF THE PROPE	1 211			1				AK.	カリイユノムの金浦により 科目を追加 (28)
			地域環境社会学	1・2後	2		1				兼	カリキュラムの整備により
							1					科目を追加 (28)
			災害復興学入門	1・2後	2		1				兼	
		社	グローバル化と外国人児童生徒教育	1.2後	2		1				兼	う オムニバス・共同
		会	国際協力論入門	1・2前	2		1				兼	
		総	伝統染織と感性		2		1				兼	<u> </u>
				1・2後			1					•
		4-1	著作権法入門	1・2後	2		1				兼	
		域	教科書に見る歴史と社会	1・2後	2		1				兼	l
			人と自然の共生を考える	1.2通	2		I				兼	集中
			希望の地域社会論	1・2後	2		4	2		1		? オム ニバス
			III Z O O O I Z O III	1 200			-			-	7110.	担当教員退職のため科目内
												容の変更,担当教員の変更
												(29)
												担当 安森 亮雄(准教
												授) 平成28年12月 教員審査済
												判定 可
												担当 佐藤 栄治(准教
							1					授)
							1					平成28年12月 教員審査済
							1					判定可知法(出数)
							1					担当 大嶽 陽徳(助教)
							1					平成28年8月 教員審査済 判定 可
			地域振興と大学の犯割	1.944	0		1				*	
			地域振興と大学の役割	1・2後	2		1				兼.	」 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
			1		ı	1	i	ji	ji			: , I H C /2/0H (20)

1 1	ı	典券と文明	1.0%	1 1	o I		ı		1 4	能 1	カリセーコルの動曲により
		農業と文明	1・2後		2				1		カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
		世界の農業	1・2前		2				j		カリキュラムの整備により
ż+-		アフリカ学入門	1・2前		2				į		科目を追加 (28) カリキュラムの整備により
会	社会										科目を追加 (28)
科	会総合	中国事情	1・2後		2					兼1	
社会科学系科	合領	グローバル韓国学	1・2前		2					兼1	
科目	· 域	科学・技術・教育・社会を考える セクソロジー入門	1・2後		2					兼1	V:#x 辛
		高齢者福祉入門	1·2後 1·2前		2 2						※講義 カリキュラムの整備により
		同周节 田地八八]	1 280		2						科目を追加(29)
		国際協力の実際と課題	1.2後		2				3	兼2	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
		現代数学入門	1.2後		2				3	兼1	行口を延加(29)
	364.	Mathematicaによる微積分入門	1・2前		2				3	兼1	
	数学	Mathematicaによるデータ解析入門	1.2後		2				ž	兼1	
	領	振動の科学	1・2前		2					兼1	
	域	数学の世界	1・2前		2				7	兼4	オムニバス カリキュラムの整備により
											科目を追加 (28)
		教養物理	1・2前		2		1				オムニハ゛ス
	物	物理学入門家庭の中の物理	1・2前		2					兼1 * 1	カリン ニテの動法により
	理	家庭の中の物理 <mark>物理工学最前線</mark>	1・2前		2				1		カリキュラムの整備により 科目名称を変更(29)
	学領	Mathematica入門	1・2前後		2					兼1	
	域	放射線科学入門	1・2前		2					兼1	
		エレクトロニクス科学史 バイオミメティクス入門	1·2後 1·2後		2					兼1 兼1	
	\vdash	地球環境と化学	1・2後		2	_				퐩↓ 兼1	
		環境と生物化学	1・2前		2					兼1	
		不思議な化学	1.2後		2					兼1	
	化	水素とエネルギー	1.2後		2				3	兼1	
	学	リメディアル化学	1・2前		2				ž	兼1	
	領域	物質・材料の機器分析入門	1・2前		2					兼1	
基	-5%	微生物の化学	1•2後		2				j	兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
盤											担当教員が退職したため廃
教育		ノーベル化学賞周辺の化学	1・2後		2				į	兼1	止 (29)
科		人間生活と植物	1・2後		2	_				兼1	
目		食料生産の生物学	1.2後		2					兼1	
自		21世紀を支える熱帯植物	1・2後		2				ž	兼1	
然科		野外における野生動物識別テクニックの基礎	1・2前		2				ž		カリキュラムの整備により
学		野 <u>外における鳥獣識別テクニックの基礎</u>									科目名称を変更(28)
系科	生	基礎生物学 ウイルスの世界と生物の世界	1・2前 1・2前		2 2					兼1 第 1	カリキュラムの見直しによ
目	物	リ4ルスの世界と生物の世界	1.744111		2				7	 (1	り科目を廃止(29)
	学領										
	域										
		美味しさを科学する-ミシュランガイド宇都宮をつくろう-	1・2後		2					兼1	※講義
		人体の中の小宇宙	1・2後		2						カリキュラムの整備により
		昆虫生理生態学	1・2後		2						科目を追加 (28) カリキュラムの整備により
											カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
		C言語・プログラミング入門	1・2前		2	Ī		7		兼1	
	111	プログラミング応用	1・2前		2					兼1	
	報科	インターネットのしくみ Webのしくみ	1·2後 1·2後		2					兼1 兼1	
	学	身のまわりのICT	1・2後		2					₩1 兼1	
	領域	ワイヤレス通信のしくみ	1・2後		2					版1 兼1	
		医用画像工学入門	1・2前		2					兼1	
	地学	地球環境と生物事件史	1・2前		2				j	兼1	
	領域	身近な気象学	1・2後		2				j	兼1	
		肥満の科学	1・2後		2					兼1	
		健康管理学概論	1・2後		2					兼1 ※1	カルモ・ニュの動性によっ
	健康	健康のためなら死んでもいい!?	1・2前		2				1		カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	科	生活習慣と健康	1・2前		2				į	兼1	カリキュラムの整備により
	学領	バレーボールの科学	1・2後		2				j	兼1	科目を追加(28)
		スポーツトレーニング論	1・2後		2					兼1	カリキュラムの整備により
		精神医学概論	1・2後		2						科目を追加 (28) カリキュラムの整備により
1			1 2100		-						メッパユノムの金偏により 科目を追加 (29)

1 1	1		人間の感覚を測る	1・2前	9		-1		1		兼1	※講義
					2							公
	自	١.	生物の多様性とは何か	1・2後	2						兼1	
	然	自然	雑草と人のくらし	1・2後	2						兼1	
	科	然総	雑草観察入門	1・2前	2						兼1	※講義
	然科学系	合	雑草と里山のフィールド演習 I	1・2前	1						兼1	集中
	杀	領	雑草と里山のフィールド演習 II	1・2後	1						兼2	共同・集中
	科目	域	創造ものづくり入門		2							•
	П		周垣ものっくり入門	1・2後	2						兼2	共同 カリキュラムの整備により
												科目を追加 (28)
			ドイツ語基礎 I	1・2前	1						兼1	
			ドイツ語基礎Ⅱ	1・2後	1						兼1	
			ドイツ語基礎Ⅲ	1・2前	1						兼1	
			ドイツ語基礎IV	1・2後	1						兼1	
			ドイツ語応用Ⅰ	1・2前	1						兼1	
			ドイツ語応用Ⅱ	1・2後	1						兼1	
			フランス語基礎 I	1・2前	1						兼2	
			フランス語基礎Ⅱ	1・2後	1						兼2	
			フランス語基礎Ⅲ	1・2前	1						兼1	
			フランス語基礎IV	1・2後	1						兼1	
			フランス語応用 I	1・2前	1						兼1	
			フランス語応用 II								兼1	
				1・2後	1							
			スペイン語基礎Ⅰ	1・2前	1						兼1	
			スペイン語基礎Ⅱ	1・2後	1						兼1	
			スペイン語基礎Ⅲ	1・2前	1						兼1	
	老		スペイン語基礎IV	1・2後	1						兼1	
			スペイン語応用I	1・2前	1						兼1	
	ь Б		スペイン語応用Ⅱ	1・2後	1						兼1	
	目前		中国語基礎I	1・2前	1						兼2	
	귀											
	禾		中国語基礎Ⅱ	1・2後	1						兼2	
	E	∃	中国語基礎Ⅲ	1・2前	1						兼1	
			中国語基礎IV	1・2後	1						兼1	
			中国語応用I	1・2前	1						兼1	
			中国語応用Ⅱ	1・2後	1						兼1	
基			タイ語基礎 I	1・2前	1						兼1	
盤			タイ語基礎Ⅱ	1・2後	1						兼1	
教			タイ語基礎Ⅲ	1・2前	1						兼1	
育科												
目			タイ語基礎IV	1・2後	1						兼1	
_			タイ語応用 I	1・2前	1						兼1	
			タイ語応用Ⅱ	1・2後	1						兼1	
			朝鮮語基礎 I	1・2前	1						兼2	
			朝鮮語基礎Ⅱ	1・2後	1						兼1	
			朝鮮語基礎Ⅲ	1・2前	1						兼1	
			朝鮮語基礎IV	1・2後	1						兼1	
			朝鮮語応用I	1・2前	1						兼1	
			朝鮮語応用Ⅱ	1・2後	1						兼1	
			野外調査論	1・2前	2							共同・※講義
			里山のサステイナビリティを考える	1・2前	2							共同・集中・※講義
			人と自然をつなぐ・人と人をつなぐA	1•2前	1							共同・集中
			人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB	1・2前	1						兼1	集中・※講義
			実践・宇都宮のまちづくり	1・2前	2						兼1	
			一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と	1・2後	2						兼1	
			"地域金融機関の役割り"		-							
			地域金融機関とともに「地方創生」を考える	1・2後	2						兼1	カリキュラムの整備により
			E. 100 + 11 - 11 7 L								.,	科目を追加(28)
			危機を見つめる力	1・2前	2						兼1	<u> </u>
			3.11と学問の不確かさ	1・2前	2						兼8	オムニバス・共同
	糸	x	食と生命のフィールド実践演習	1・2前	4							共同
	石台										兼6	担当教員退職のため担当教
	昇	系	ボランティアという生き方	1・2後	2							員数の変更 (28) カリキュラムの整備により
	禾	平	**・/ マノイ/ GV /玉さ刈	1 4 仅							水1	科目を追加(29)
	E	∃	男女共同参画社会を生きる	1・2後	2						兼2	共同・集中・※演習
			宇大を学ぶ	1・2後	2						兼1	担当教員が退職したため担
					-							当教員の変更 (28)
			栃木の里山に学ぶ(春夏編)	1・2前	1						兼1	集中
			栃木の里山に学ぶ(秋冬編)	1・2後	1						兼1	集中
			ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」	1・2前	2						兼1	
			ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」	1・2後	2						兼1	
			生きるということ	1・2前	2							担当教員が退職したため廃
				1 400							NK.I	上 (28)
			<u>「ぷろじぇくと」をやってみる</u>	1・2前	1						兼1	担当教員が退職したため廃
			体験!ピフ ピ ヘ フ レ	1 024	_						¥4	止 (28)
			<u>体験!ぷろじぇくと</u>	1·2前	2						#1	担当教員が退職したため廃 止 (28)
. !			I			ı		I	ı	ı İ	I	11. (20)

ı	l		感じる・考える・話す	1·2後	1	2		1	1 1	ı	兼1	担当教員が退職したため廃
			アクティブにとらえる現代社会	1・2後		2						止(28) 担当教員が退職したため廃
			サイエンスコミュニケーション入門〜理系と文系の壁を超えよう	1・2前		2						止 (28) カリキュラムの整備により
			地域メディア演習	1・2後		2						科目を追加 (28) カリキュラムの整備により
												科目を追加 (28)
			環境マネジメント実践	1・2通		2	1		1			カリキュラムの整備により 科目を追加(29)
												担当 横尾 昇剛(教授) 平成29年6月 提出予定
												担当 糸井川 高穂(助教 授)
			宇大生の宇大生による宇大生のための理想の授業	1・2前		2						平成29年6月 提出予定 集中
			「八工の「八工による「八工のための社画の技术	1 200		2						スーカリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
	É	総 合	大学論	1・2前		2					兼1	カリキュラムの整備により
	禾	系科	青年期教育論	1.2後		2						科目を追加 (29) カリキュラムの整備により
	F		とちぎ終章学特講	1.2後	1							科目を追加(29) 共同・※講義
												カリキュラム充実のため担 当教員を追加(29)
			終章を支える社会資源	1・2前		2					兼1	集中
												カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
			とちぎ終章学演習I	1・2前		2					兼3	共同・※講義
			とちぎ終章学演習Ⅱ とちぎ仕事学	1·2前 1·2後		2						※講義 カリキュラムの整備により
			ソーシャル・イノベーション	1・2前		2						科目を追加 (29) カリキュラムの整備により
			(社会変革) 概論 地域編集論〜地域振興と情報発信	1・2前		2						科目を追加 (29) カリキュラムの整備により
												科目を追加(29)
			とちぎ企業人に学ぶ 〜業界・仕事・社会〜	1・2後		2						カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
		牛	キャリアデザイン 働くことの意味と実際	1·2·3·4後 1·2·3·4前		2 2					兼2 兼1	共同
基		ヤリ	実践企業人材論	1.2.3.4前		2					兼1	
盤		ア	起業の実際と理論	1・2・3・4後		2					兼1	
教育		創造	先輩に学ぶ 企業のグローバル戦略とキャリア形成	1·2·3·4前 1·2·3·4後		2 2					兼1	オムニハ゛ス
科目		科目	近来のクローバル戦略とギャリア形成 グローバル時代の企業経営	1.2.3.4後		2					兼1	44-/1 A
-		П	実践して学ぶミニ農業生産	1・2・3・4前		2					兼1	集中
			課題発見・解決型インターンシップA	1.2.3.4前		1						活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
			課題発見・解決型インターンシップB 課題発見・解決型インターンシップC	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2 3					兼1 兼1	→ 科目を追加 (29)
			課題発見・解決型インターンシップD	1.2.3.4前		4					兼1	
			課題発見・解決型インターンシップ	1·2·3·4前		4					兼1	活動期間により単位認定
			課題発見・解決型インターンシップ	1·2·3·4前		2						活動期間により甲位認定 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
			課題発見・解決型インターンシップ 課題発見・解決型インターンシップ	1·2·3·4前 1·2·3·4前		3 4					兼1 並1	カリキュラムの整備により 科目を廃止 (29)
	基		キャリア形成に資する活動A	1・2・3・4前		1					兼1	活動期間により単位認定
	盤		キャリア形成に資する活動B	1.2.3.4前		2					兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加(29)
	キャ		キャリア形成に資する活動C	1・2・3・4前		3					兼1	作日を垣加(29)
	リア		キャリア形成に資する活動D キャリア形成に資する活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		4					兼1 兼1	」 活動期間により単位認定
	教		キャリア形成に資する活動	1·2·3·4前		2					兼1	カリキュラムの整備により
	育科	自	キャリア形成に資する活動	1•2•3•4前		3					兼1	科目を追加(28) カリキュラムの整備により
	目	由	キャリア形成に資する活動	1·2·3·4前		4					兼1	科目を廃止 (29)
		科目	社会奉任活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 2						活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
			社会奉任活動	1 * 2 * 3 * 4前		3					兼1	科目を廃止(28)
			社会奉仕活動	1•2•3•4前		4					兼1	
			国際協力活動	1·2·3·4前		1						活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
			国際協力活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2 3					兼1 兼1	1 7 7 4 7 7 A 0 金 備 に よ り 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
			国際協力活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		4					兼1	
I			実務体験活動	1·2·3·4前		1						活動期間により単位認定
			実務体験活動	1·2·3·4前		2					NK1	カリキュラムの整備により 科目を廃止 (28)
			実務体験活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		3 4					兼1 兼1	
I			特別体験活動	1・2・3・4前		1					兼1	活動期間により単位認定
			特別体験活動	1·2·3·4前		2					MCI	カリキュラムの整備により 科 目を廃止(28)
			特別体験活動 株別体験活動	1.2.3.4前		3					兼1 並1	(20)
I			特別体験活動	1·2·3·4前		4					兼1	į J

	当学生	アカデミック・ジャパニーズ 日本語アカデミック・リーディング I 日本語アカデミック・ライティング 日本語アカデミック・リーディング II	1前 1前 1後 1·2·3·4後		1 1 1					カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	語	日本語アカデミック・プレゼンテーション 科学技術のための専門日本語 人文社会系のための専門日本語	1·2·3·4後 1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 1 1				兼1 兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加(28)
		日本事情 地域デザイン学序論 A	1·2·3·4前 1前	2	2				兼1 兼14	
基盤教育科目	入 再 門 導	地域デザイン学序論B	1份	2		5	€ 5	St 33		ルニバス・※演習 担当教員退職のため内容を変更,担当教員の変更(29) 担当 古賀 誉章(准教 授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可 担当 大嶽 陽徳(助教) 平成28年12月 教員審査済 担当 大嶽 陽徳(助教) 平成28年12月 教員審査済 担当教員の職位を変更 (29) 担当 横尾 昇剛(教授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
1		地域デザイン学序論C	1後	2					兼10 兼11	
71	建築都市デザイ	生物多様性論	3後		2				兼1	オムニバス カリキュラム充実のため担 当教員を追加(29)

- (注)・設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更さ れているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

 - ・ 兼任、 兼担の教員が担当する授業科目については、 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合
 - には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。) ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前) についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え 消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科日数

(_ /]								
	設置時	の計画			変更	状況		備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計)拥
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
10	256	0	266	10	317	0	327	
				[0]	[61]	[0]	[61]	

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
 - 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	器楽合奏概論	2		1・2後	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
2	生きるということ	2		1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
3	「ぷろじぇくと」をやってみる	1		1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
4	体験!ぷろじぇくと	2		1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
5	感じる・考える・話す	2		1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
6	アクティブにとらえる現代社会	2		1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
7	社会奉仕活動	1	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
8	国際協力活動	1	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
9	実務体験活動	1	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
10	特別体験活動	1	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
1 1	Overseas Study A	1.2.3.	· 4 1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
1 2	Overseas Study B	1.2.3.	4 1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
1 3	Overseas Study C	1.2.3.	4 1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
1 4	Overseas Study D	1.2.3.	4 1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
1 5	心理学と人権	2		1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
1 6	日本語の表記	2		1・2前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
17	声のトレーニング	2		1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
1 8	微生物の化学	2		1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
1 9	ウイルスの世界と生物の世界	2		1・2前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
2 0	課題発見・解決型インターンシップ	1.2.3.	4 1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
2 1	キャリア形成に資する活動	1.2.3.	4 1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

28年度に廃止となった番号7~10の科目は、現状に見合った活動である「課題発見・解決型インターンシップ」及び「キャリア形成に資する活動」として、29年度に廃止となった番号11~14の科目は「Study Abroad A~D」、番号20・21の科目は「課題発見・解決型インターンシップA~D」及び「キャリア形成に資する活動A~D」として科目を新設したため、教育の質は確保できており、それ以外の科目については、一般教養科目に位置づけられている科目であり履修上の影響はないと考える。

。 なお、学生に対しては、履修案内・シラバス等において、開講科目を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計 = 0.07 設置時の計画の授業科目数の計

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

<地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科>

(1) 授業科目表

						単位数			専任教	数員等	の配置			
科	目区	[分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助		備考
					修	択	由	授	教授	師	教	手		
-	其準プ和目	初朝尊入科目	新人生セミナー 情報処理基礎	1前 1前	2			4	6 5		2 3	-		本ニペス・※演習 担当教員退職のため内容を変更、担当教員退職のため内容を変更、担当教員の変更(29) 担当 古賀 蓍章 (准教授) 平成28年12月 教員審査を利定 可 担当 大嶽 陽徳(助教) 平成28年12月 教員審査を利定 可 担当教員の職位を変更(29) 担当 横尾 昇剛(教授) 平成28年12月 教員審査を 利定 可
基	シー科目	リテラ	旧市へいた土金地	1 1911	4			1						
盤教育科	人文科学	人文総合領	社会言語学概論-日本語の変遷-	1・2前		2							兼1	
目	自然科	数学領	電気電子数学入門	1・2前		2							兼1	※講義
	学系科目	域情報科学	グラフィックス入門	1・2後		2							兼1	
	彩 台 羽 乖	総合系科	ものづくり体験	1・2後		2							兼2	共同
	基盤キャリア教育科目	目キャリア創造科目	人間と社会 より良く生きる	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2								オムニハ゛ス
門教育科	共通専門科目	必修科目	地域でザイン訪問 地域の姿と課題 I 地域コミュニケーション演習 地域の姿と課題 II ワークショップ演習 地域プロジェクト演習	1前 1前 3前 3面	1 1 1 1 2			2 1 1 1	1 2 1 3 2 2 6 5 5		2 2 3		兼3 兼6 兼3	大山
		秋	GIS演習 地域デザイン倫理	2後 3後		1 2			1					オムニバスオムニバス

П			微積分学及演習	1前	3			1			兼3	共同・※講義
			MR	נית ב							AND	カリキュラム充実のため担
			建築構造力学 I	1前	2		1					当教員を変更(29)
			建築構造力学演習 [1前	1		1		1			
			建築図学	1後	2			1				オムニバス
			AL ACTION 1	1前				1				教育的効果を高めるため配
			建築設計基礎	1後	2			1]			当年次を変更(29) 共同
			在未以 日	1 1/2				1	· ·	,		カリキュラム充実のため担
												当教員を追加(29) 担当 大嶽 陽徳(助教)
												平成28年8月 教員審査済
			74 佐 # / 生 上 2 5 11	1.6%				١,				判定可
			建築構造力学Ⅱ	1後	2			1				
			建築構造力学演習Ⅱ	1後	1]		2/- -1	VV =# ★
			線形代数学及演習	2前	3							※講義 カリキュラム充実のため担
				.,								当教員を変更 (29)
			建築計画学I	2前	2			1				
			建築コンバージョン論	2前	2		1					
			環境工学 I	2前	2		1	1				担当教員の職位を変更29) 担当 横尾 昇剛(教授)
												平成28年12月 教員審査済
			建築構法	2前	2			,				判定可
			建築設計製図 I	2前	2			1		,		カリキュラム充実のため担
			是柴政 計聚凶 I	∠月リ	2			4	3			当教員を追加(29)
							I					担当 大嶽 陽徳(助教)
							I					平成28年8月 教員審査済 判定 可
			建築計画学Ⅱ	2後	2		I	1				
			バリアフリー建築論	2後	2		I	1				
			設備工学 I	2後	2		1					
			建築材料 I	2後	2		1					
			建築設計製図Ⅱ	2後	2			3	1		兼1	カリキュラム充実のため担
	建											当教員を追加(29) 担当 大嶽 陽徳(助教)
	築	必										平成28年8月 教員審査済
	都市	修	74 W L. 1.101 - += EA	0.24								判定可
専	デ	科目	建築材料実験	3前	1		1	1				1.01 to 2.1 det = 1.010
門数	ザイ	Ħ	建築設計製図Ⅲ	3前	2			3]			カリキュラム充実のため担 当教員を追加(29)
教育	ン											担当 大嶽 陽徳 (助教)
科目	学科											平成28年8月 教員審査済 判定 可
Н	専		建築法規	3後	2						兼1	11772 1
	門到		建築生産	3後	2						兼1	
	科目		建築地域設計製図	3後	2		4	6	2		兼1	カリキュラム充実のため担
							5	5	3	i		当教員を追加 担当 大嶽 陽徳(助教)
												平成28年8月 教員審査済
												判定 可 担当教員の職位を変更
												担目教員の職位を変更 (29)
												担当 横尾 昇剛(教授)
												平成28年12月 教員審査済 判定 可
			建築環境実験	3通	1		1	1	1			オムニバス・共同
							2					担当教員の職位を変更
												(29) 担当 横尾 昇剛(教授)
							I					平成28年12月 教員審査済
			次类 匹 <i>定</i>	42年	4		4	c	_			判定の可力したまのため知
			卒業研究	4通	4		4 5	6 5	3			カリキュラム充実のため担 当教員を追加
												担当 大嶽 陽徳(助教)
												平成28年8月 教員審査済 判定 可
												担当教員の職位を変更
												(29) 担当 横尾 昇剛(教授)
							I					平成28年12月 教員審査済
							I					判定 可
			卒業設計	4通	4		4 5	6 5	2			カリキュラム充実のため担 当教員を追加
							3	0				担当 大嶽 陽徳(助教)
							I					平成28年8月 教員審査済
							I					判定 可 担当教員の職位を変更
												(29)
							I					担当 横尾 昇剛(教授) 平成28年12月 教員審査済
							I					判定 可
			高齢社会学	1後		2					兼1	
		選択	まちづくり論	1後		2	I				兼1	
		科	建築構造力学Ⅲ	2前		2	1	_				1) 8
		目	社会調査法	2後		2	I	2]		₩. •	オムニハ゛ス・※演習
Ш			建築史I	2後		2					飛Ⅰ	隔年

	1		建筑排送力学N/	0.44	1	0		-1	· ·	1	1	:
			建築構造力学IV	2後		2		1				
			環境工学Ⅱ	2後		2	1	1				担当教員の職位を変更
												(29) 担当 横尾 昇剛(教授)
												平成28年12月 教員審査済
												判定可
			防災マネジメントI	2後		2					兼1	
			まちづくり特講	2後		2						オムニバス・※演習
			学外実習 I	2通		1	1				7114.	担当教員の変更
			子//天日1	2,世		1	1					担当 中島 史郎
												平成29年6月 提出予定
			学外実習Ⅱ	2通		2	1					担当教員の変更
												担当 中島 史郎 平成29年6月 提出予定
			LL A /+->L W	- >6		_						
			社会統計学	3前		2					兼1	コミュニティデザイン学科の母亲専項に対けます。
												の留意事項に対応するため 内容を変更 (28)
			建築計画学Ⅲ	3前		2		1				7.4 亿 及 文 (20)
			都市計画	3前		2		1			姜 1	オムニバス
			建築リサイクル学	3前		2	1	1			NK1	7 2 - 7 7 7
							1				26.4	### Fr-
	7-1-		建築史Ⅱ	3前		2				1	兼1	隔年 カリキュラム充実のため担
	建築											当教員を変更(29)
	都											担当 大嶽 陽徳(助教)
	市											平成28年8月 教員審査済
専	デ											判定可
門	ザ		鉄骨構造	3前		2	1					
教	イ	択	鉄筋コンクリート構造	3前		2		1				
育科	ン学	科目	設備工学Ⅱ	3前		2	1					
目	子科	Ħ	設備設計論	3前		2					兼 1	隔年
-	専		建築材料Ⅱ	3前		2	1				71142	1
	門		建築計画学IV			2	1	1				
	科			3後				1			34.4	13. 8.4
	目		地区計画	3後		2		1			兼1	オムニハ゛ス
			建築デザイン	3後		2		1				
			建築史Ⅲ	3後		2					兼1	隔年
			高齢者防災論	3後		2		1				
			構造設計論	3後		2					兼1	隔年
			土質基礎工学	3後		2					兼1	
			設備工学Ⅲ	3後		2	1					
			地域環境エネルギー計画	3後		2	1	1				担当教員の職位を変更
			地域來現一小// 計画	312			1	+				(29)
												担当 横尾 昇剛 (教授)
												平成28年12月 教員審査済
												判定可
			建築インターンシップ	3通		2	1					担当教員の変更
												担当 中島 史郎 平成29年6月 提出予定
			建築学外実習	3通		1	1					担当教員の変更
				0,00	Ī	*	1					担当 中島 史郎
												平成29年6月 提出予定
			国土計画	4前	Ī	2	l				兼2	オムニバス
			工業日本語基礎I	3前		1					兼1	留学生対象科目
			工業日本語基礎Ⅱ	3後	Ī	1	l				兼1	留学生対象科目
			工業日本語応用	4通	Ī	2						留学生対象科目
	1	1	21-1 1 mm # 7 m				1	1			2014.2	

- (注)・設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更さ れているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、 兼担の教員が担当する授業科目については、 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

(_ /]	<u> </u>							
	設置時	の計画			変更	状況		備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	1
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
34	44	0	78	34	44	0	78	
				Γ01	[0]	[0]	[0]	

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに,[]内に,設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目滅の場合:△1)
 - ・資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし				

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生へ6 知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	_	0	
設置時の計画の授業科目数の計	_	U	

- 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。 (注) •
 - 「未開講科目と廃止科目の計」が「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

2 授業科目の概要

<地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科>

(1) 授業科月表

(1)	·受業科目表			単位数			専任差	女員等(の配置			
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	1	備考
行自囚力	1文末行日の石材	此当千八	L/sr-	40	-4-		教	óæ	±4.			VH √¬
入初	新入生セミナー	1前	修 2	択	由	授 5	授 4	師	教	手		オムニハ、ス・※演習
科期	WINCE 3 ()	2100					-					A. A. A. A. A. A.
目導	Integrated English I A	1前	2								兼6	カリキュラム充実のため担
											兼2	当教員を追加 (28)
	Integrated English I B	1前	1								兼8	1 2 1 - 1 1 1 1 2 1 2 1 2
	Integrated English II A	1後	2									カリキュラム充実のため担 当教員を追加(28)
	Integrated English II B	1後	1								兼8	
	Advanced English I (Intensive Reading)	2前後		1							兼4	
	Advanced English I (Pleasure Reading)	2前後		1							兼2	
	Advanced English I (Academic Writing)	2前後		1							兼2	
	Advanced English I (Essay writing)	2前後		1							兼4	
	Advanced English I (Public Speaking) Advanced English I (Presentation)	2前後 2前後		1							兼2 兼4	
	Advanced English I (Discussion & Debate)	2前後		1 1								カリキュラム充実のため担
	navanced English 1 (Discussion@Debate)	2月11日文		1							兼1	当教員を追加(28)
	Advanced English I (Speech Clinic)	2前後		1								カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (28)
	Advanced English I (Vocabulary Building)	2前		1							兼2	コ秋貞で <i>厄加(20)</i>
	Advanced English I (Communicative Grammar)	2前後		1							兼4	
	Advanced English I (Media English)	2前後		1							兼2	
	Advanced English I (Cinema English)	2前後		1							2.11	カリキュラム充実のため担
	Advanced English I (TOEIC)	2前後		1							兼1 兼5	当教員を追加(28)
	Advanced English I (TOEFL)	2前後		1								カリキュラム充実のため担
	A1 . 1 F. 1: 1 I (PAD)	n ***										当教員を追加(28)
	Advanced English I (EAP) Honors English A	2前後 1・2・3・4前		1							兼4 兼2	
	Honors English B	1・2・3・4制		1 1							兼2	
	Honors English C	1・2・3・4前		1							兼2	
基	Honors English D	1.2.3.4後		1							兼2	
基盤サテラ	Honors English E	1.2.3.4前		1							兼2	
	Honors English F	1・2・3・4後		1							兼2	
科 目 	Honors English G	1・2・3・4前		1							兼2	
科	Honors English H	1・2・3・4後		1							兼2	
目	Honors Camp A	1・2・3・4前		2							兼1	
	Honors Camp B	1・2・3・4前		2							兼1	
	Honors Camp C	1・2・3・4前		2							兼1	
	Honors Camp D	1・2・3・4前		2							兼1	カリン ニナの動性により
	Study Abroad A	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
	Overseas Study A	1·2·3·4前		1							兼1	留学期間により単位認定 カリキュラムの整備により
	Overseas Study A	1•2•3•4前		2								カリヤュノムの登価により 科目を廃止 (29)
	Overseas Study A	1•2•3•4前		3							兼1	
	Overseas Study A	1·2·3·4前		4							兼1	カリン ニノの動供により
	Study Abroad B	1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
	Overseas Study B	1·2·3·4前		1							兼1	の学期間により単位認定
	Overseas Study B	1·2·3·4前		2							兼1	カリキュラムの整備により 科目を廃止(29)
	Overseas Study B	1•2•3•4前		3							兼1	
	Overseas Study B	1•2•3•4前		4							兼1	
	Study Abroad C	1・2・3・4前		1							兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加(29)
	Overseas Study C	1•2•3•4前		1							兼1	の労働間により労働の対応
	Overseas Study C	1•2•3•4前		2							兼1	サイカー カリキュラムの整備により 科目を廃止(29)
	Overseas Study C	1·2·3·4前		3							兼1	
	Overseas Study C	1•2•3•4前		4							兼1	
	Study Abroad D	1・2・3・4前		1							兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
	Overseas Study D	1·2·3·4前		1							兼1	図冷期間17 F N 単位割空
	Overseas Study D	1•2•3•4前		2							兼1	カリキュラムの整備により 科目を廃止(29)
	Overseas Study D	1·2·3·4前		3							兼1	TP 日で所止 (43)
	Overseas Study D	1•2•3•4前		4							兼1	

ı		スポーツと健康	1前	2	1	i	ı	ı	i	1 1	華 0	カリキュラム充実のため担
												当教員を追加 (28)
	IJ	情報処理基礎	1前	2			1	1		2 4		オムニバス・共同 カリキュラム充実のため担
	テ											当教員を追加(29)
	ラ シ											担当 松本 美紀(助教) 平成28年12月 教員審査済
	1											判定 可
	科 目											担当 NGUYEN MINH HAI (助教)
												平成28年12月 教員審査済 判定 可
		とちぎ終章学総論	1後	1							兼1	※講義
		西洋思想	1・2前		2						兼1	
		現代思想	1・2後		2						兼1	
	哲	東洋思想	1・2前		2						兼1	
	学領	論理学 西洋の倫理思想	1·2前 1·2後		2 2						兼1 兼1	•
	域		1・2前		2						兼1	1
		東アジアの宗教と文化	1・2前		2						兼1	•
		仏教における人間形成論	1・2前		2						兼1	
		心理学	1・2前		2						兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加(29)
		認知心理学入門	1.2後		2						兼1	
		行動心理学入門	1・2前		2						兼1	
		実験心理学入門	1・2前		2						兼1	<u>:</u>
		発達と学習の心理学 パーソナリティ心理学概論	1·2後 1·2前		2						兼1 兼1	•
	心理	障害者心理学	1・2前		2						兼1	<u>:</u>
	学	子どもの言語とコミュニケーション入門	1.2後		2						兼1	•
	領域	心理学と人権	1・2前		2						兼1	担当教員が退職したため廃
	-	学校臨床心理学	1・2後		2						兼1	止 (29) カリキュラムの整備により
			1 0///								26.4	科目を追加(28)
		言語習得論 質的心理学研究法入門	1·2後 1·2後		2 2						兼1	カリキュラムの整備により
												科目を追加(29)
		児童生徒の思考と認知	1・2前		2						兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
監		日本文学 (古典)	1.2前後		2						兼2	
女		日本近代文学講読	1・2前		2						兼1	
		日本の小説	1・2前		2						兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
i		日本の古典	1・2後		2						兼1	カリキュラムの整備により
人文	4	中国文学	1・2前		2						兼1	科目を追加(28)
科	学	韓国文学	1.2後		2						兼1	
科学系	領域	ドイツ文学	1・2前		2						兼1	カリキュラムの整備により
科		フランス文学	1・2後		2						兼1	科目を追加(28)
目		比較文学	1・2前		2						兼1	
		ロシア文学	1・2前		2						兼1	•
		英文学入門 米文学入門	1・2後		2 2						兼1	•
			1·2前 1·2前		2						兼1 兼1	•
		現代美学	1・2後		2						兼1	
		芸術学	1・2前		2						兼1	
		芸術と自然	1・2前		2							隔年
	芸	音楽通論 声楽の魅力	1·2後 1·2後		2						兼1 兼1	•
	術領	一条の魅力 器楽合奏概論	1·2後 1·2後		2							カリキュラムの見直しによ
	域域											り科目を廃止 (28)
		管打合奏演習 日本文化A	1·2後 1·2前		2 2						兼1 兼1	:
		日本文化B	1・2後		2						兼1	•
		美術表現基礎	1・2前		2						兼2	オムニバス・共同・※講義
		近現代美術論	1・2後		2							オムニバス・共同
		多言語コミュニケーション学A	1・2前		2						兼1	<u>:</u>
		多言語コミュニケーション学 B 本語の表記	1·2後 1·2前		2 2						兼1 兼1	カリキュラムの見直しによ
												り科目を廃止(29)
	人女	日本語を文法的に考える	1・2後		2						兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加(29)
	文総	論理表現の技術	1・2後		2						兼1	
		Japanese Communication Arts	1・2後		2						兼1	
	域域	ことばから見た人間	1・2後		2							共同
1		社会言語学概論 - 日本語の変遷 - 生涯学習概論	1·2前 1·2前		2 2						兼1 兼1	•
	1	上江プロル門	1.7月月	1		I	I	l	I			•
		成人教育と参加型学習	1・2後		2						兼1	

			_	-	_	-		
		生活美学	1・2前	2			兼1	
人		ものと文化と社会	1.2後	2			兼1	
文	人女	映像分析の実践	1・2前	2			兼1	
科	文総	世界のなかの日本文化	1.2後	2			兼1	
科学系	合	ボディ・ランゲージ	1・2後	2			兼1	
科	領	声のトレーニング	1·2後	2			兼1	カリキュラムの整備により
I	域							科目を追加(28) 担当教員が退職したため廃 止(29)
		日本国憲法	1.2前後	2			兼3	III. (20)
	法	法学入門	1・2前	2			兼1	
	学	国際化と人権	1・2前	2			兼1	
	領域	知的財産権概論	3・4後	2			兼1	※演習
	75%	法学概論	1.2後	2			兼1	
		国際政治史	1・2前	2			兼1	
		戦争と平和をめぐる諸問題	1・2後	2			兼1	
	政	現代政治の理論と実際	1・2後	2			兼1	
	治	現代日本の政治と行政	1・2後	2				カリキュラムの整備により
	学領	Sarva in State in St	1 200				NIC 2	科目を追加 (29)
	域	グローバル・ガバナンス論入門	1・2前	2			兼1	
		政治の世界	1・2前	2			兼1	
		現代日本政治論	1・2後	2			兼1	
		経済学I	1・2前	2			兼1	
		経済分析入門	1・2前	2			兼1	
	経	資本市場の役割と証券投資	1.2後	2			兼1	
	済	資本論を読もう	1・2前	2			兼1	カリキュラムの整備により
	学	L. De Carlo IV. and De Carlo IV.						科目を追加 (28)
	4-1	応用経済学入門	1・2後	2			兼1	
	域	数理経済学入門	1・2前	2			兼1	
		ゲーム理論入門	1・2後	2			兼1	
		農業経営入門	1・2前	2			兼1	
		社会学入門	1.2後	2			兼1	
		応用社会学	1・2後	2			兼1	カリキュラムの整備により
	衦	現代日本の社会	1・2前	2			兼1	科目を追加(28)
	会	マスコミ入門					兼1	
	学		1・2後	2				
社	領域	オセアニア民族誌	1・2後	2			兼1	
会	75%	文化人類学入門	1・2後	2			兼1	
科		環境と国際社会	1・2前	2			兼1	
学系		多文化共生論入門	1・2前	2			兼1	
科	地	人文地理学入門 I	1・2前	2			兼1	
日	理学	人文地理学入門Ⅱ	1・2後	2			兼1	
	一領	農村空間論	1・2後	2			兼1	
	域	地誌学	1・2後	2			兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加(28)
F	歴	歴史学入門	1・2前	2			兼1	作自を担加 (20)
	史	歴史と民族	1・2後	2			兼1	
	学	歴史と文化	1・2後	2			兼1	
	領域	地域の歴史	1・2後	2			兼1	
F		中東の社会と文化	1・2前	2			兼1	
		社会開発入門	1・2前	2			兼1	
		遊びの理論とゲーム開発	1・2後	2			兼1	
		遊び輪と遊び指導	1・2前	2			兼1	
		住まいづくり・まちづくり入門	1・2前	2				※ 講義
		オイコス入門	1・2前	2			兼1	小叶状
		タイコク人門 障害者問題入門						re fr:
			1・2前	2				隔年
	社	数や図形の絵本づくり	1・2後	2				※講義 ※講義
	슺	栃木県の歴史と文化	1・2前	2				※講義
	総	社会福祉入門	1・2後	2			兼1	エリン こ)の動性にし
	合領	環境教育	1・2前	2			#1	カリキュラムの整備によ 科目を追加 (28)
		地域環境社会学	1・2後	2			兼1	カリキュラムの整備によ
	-		- 510	-			71151	科目を追加 (28)
		災害復興学入門	1.2後	2			兼1	
		グローバル化と外国人児童生徒教育	1・2後	2			兼6	オムニバス・共同
		国際協力論入門	1・2前	2			兼1	
l		伝統染織と感性	1.2後	2			兼1	
		支佐按注 7 88	1 03%	2	I		兼1	
		著作権法入門	1・2後	2			×11.4-	:
		教科書に見る歴史と社会	1・2後	2			兼1	

			希望の地域社会論	1.2後		2	1		1		オムニバス 担当教員退職のため科目内 容の変更,担当教員の変更 (29)
											担当 大森 宣暁 (教授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
											担当 長田 哲平(助教) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
	社	社	地域振興と大学の役割	1・2後		2					カリキュラムの整備により
	会科	d 会総·	農業と文明	1・2後		2					科目を追加(28) カリキュラムの整備により
	会科学系	総合									科目を追加(28)
	系科	合領:	世界の農業	1・2前		2					カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	目	域	アフリカ学入門	1・2前		2				兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
			中国事情	1・2後		2				兼1	
			グローバル韓国学	1・2前		2				兼1	
			科学・技術・教育・社会を考える セクソロジー入門	1・2後		2				兼1	火 ;≭,≚
			高齢者福祉入門	1·2後 1·2前		2					※講義 カリキュラムの整備により
				1 200		2					メライユッコの
			国際協力の実際と課題	1.2後		2					カリキュラムの整備により 科目を追加(29)
			現代数学入門電気電子数学入門	1・2後		2				兼1 ±1	※講義
		W-F	Nathematicaによる微積分入門	1·2前 1·2前		2				兼1	公遇我
		数学	Mathematicaによるデータ解析入門	1・2後		2				兼1	
		領	振動の科学	1・2前		2				兼1	
		域	数学の世界	1・2前		2					オムニハ゛ス
											カリキュラムの整備により 科目を追加(28)
			教養物理	1・2前		2					オムニハ゛ス
			物理学入門	1・2前		2				兼1	
		物理	家庭の中の物理	1・2前		2					カリキュラムの整備により
基		学	物理工学最前線 Mathematica入門	1.2前後		2				兼1	科目名称を変更(29)
盤教		領域	放射線科学入門	1・2前		2				兼1	
育		坝	エレクトロニクス科学史	1・2後		2				兼1	
科目			バイオミメティクス入門	1・2後		2				兼1	
Г			地球環境と化学	1・2前		2				兼1	
			環境と生物化学	1・2前		2				兼1	
			不思議な化学	1・2後		2				兼1	
		化	水素とエネルギー リメディアル化学	1·2後 1·2前		2				兼1 兼1	
		学領	物質・材料の機器分析入門	1・2前		2				兼1	
	自	域	微生物の化学	1·2後		2					カリキュラムの整備により
	然科		M = M = 10 1	1 50		_					科目を追加 (28)
	学										担当教員が退職したため廃 止 (29)
	系科		ノーベル化学賞周辺の化学	1・2後		2				兼1	II. (20)
	目		人間生活と植物	1・2後		2				兼1	
			食料生産の生物学	1・2後		2				兼1	
			21世紀を支える熱帯植物	1・2後		2				兼1	
		生	野外における野生動物識別テクニックの基礎 野外における鳥獣識別テクニックの基礎	1・2前		2					カリキュラムの整備により 科目名称を変更(28)
		物	基礎生物学	1・2前		2				兼1	
		学領	ウィルスの世界と生物の世界	1·2前 1·2前		2					カリキュラムの見直しによ
		域									り科目を廃止 (29)
			美味しさを科学するーミシュランガイド宇都宮をつくろうー	1・2後		2					※講義
			人体の中の小宇宙	1・2後		2					カリキュラムの整備により 科目を追加(28)
			昆虫生理生態学	1.2後		2				兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加(29)
			C言語・プログラミング入門	1・2前		2				兼1	4 200
1		/est	プログラミング応用	1・2前		2				兼1	
		情報	グラフィックス入門	1・2後		2				兼1	
		科	インターネットのしくみ	1・2後		2				兼1	
		字領	Webのしくみ pのまわりのICT	1・2後		2				兼1	
		域	身のまわりの I C T ワイヤレス通信のしくみ	1·2後 1·2後		2				兼1 兼1	
			医用画像工学入門	1・2後		2				兼1	
		地	地球環境と生物事件史	1・2前	\vdash	2				兼1	
		学領域	身近な気象学	1.2後		2				兼1	
•	•	. ~	· ·	•				1			- !

			The No. of Mr.				 -			-
			肥満の科学	1・2後	2				兼1	
			健康管理学概論	1・2後	2				兼1	
		健	健康のためなら死んでもいい!?	1・2前	2				兼1	カリキュラムの整備により
		康	11. Y 777 (m.). 144. H	4 024					26.4	科目を追加 (28)
		科	生活習慣と健康	1・2前	2				兼1	カリキュラムの整備により
		学	バレーボールの科学	1・2後	2				兼1	科目を追加 (28)
	占	領城								カリキュラムの整備により
	自然	坝	スポーツトレーニング論	1・2後	2				煮1	カリヤュラムの登開により 科目を追加(28)
	科		精神医学概論	1・2後	2				兼1	カリキュラムの整備により
	学		1311 = 1						2114-	科目を追加 (29)
	系		人間の感覚を測る	1・2前	2				兼1	※講義
	科		生物の多様性とは何か	1・2後	2				兼1	
	目	自	雑草と人のくらし	1・2後	2				兼1	
		然	雑草観察入門	1・2前	2				兼1	※講義
		総へ	雑草と里山のフィールド演習I	1・2前	1					集中
		合領	雑草と里山のフィールド演習 II	1・2後	1					共同・集中
		域	創造ものづくり入門		2					共同
			別にものうく り入口	1・2後	2				飛△	共同 カリキュラムの整備により
										科目を追加 (28)
			ドイツ語基礎 I	1・2前	1				兼1	
			ドイツ語基礎Ⅱ	1・2後	1				兼1	
			ドイツ語基礎Ⅲ	1・2前	1				兼1	
			ドイツ語基礎IV	1・2後	1				兼1	
Ī			ドイツ語応用Ⅰ	1・2前	1	1			兼1	
			ドイツ語応用Ⅱ	1・2後	1				兼1	
Ī			フランス語基礎 I	1・2前	1	1			兼2	
Ĭ,			フランス語基礎Ⅱ	1・2後	1				兼2	
			フランス語基礎Ⅲ	1・2前	1				兼1	
			フランス語基礎IV	1・2後	1				兼1	
			フランス語応用 I	1・2前	1				兼1	
			フランス語応用Ⅱ	1・2後	1				兼1	
			スペイン語基礎 I	1・2前	1				兼1	
			スペイン語基礎Ⅱ	1・2後	1				兼1	
			スペイン語基礎Ⅲ	1・2前	1				兼1	
	老	П	スペイン語基礎IV	1・2後	1				兼1	
基	7									
盤教	5	1	スペイン語応用Ⅰ	1・2前	1				兼1	
教育	3		スペイン語応用Ⅱ	1・2後	1				兼1	
科	前		中国語基礎I	1・2前	1				兼2	
目	矛禾		中国語基礎Ⅱ	1・2後	1				兼2	
	Ė		中国語基礎Ⅲ	1・2前	1				兼1	
			中国語基礎IV	1・2後	1				兼1	
			中国語応用I	1・2前	1				兼1	
			中国語応用Ⅱ	1・2後	1				兼1	
			タイ語基礎 I	1・2前	1				兼1	
			タイ語基礎Ⅱ	1・2後	1				兼1	
			タイ語基礎Ⅲ	1・2前	1				兼1	
			タイ語基礎IV	1・2後	1				兼1	
			タイ語応用 I	1・2前	1				兼1	
			タイ語応用Ⅱ	1・2後	1				兼1	
			朝鮮語基礎Ⅰ						兼2	
				1・2前	1					
			朝鮮語基礎Ⅱ	1・2後	1				兼1	
Ĭ,			朝鮮語基礎Ⅲ	1・2前	1				兼1	
			朝鮮語基礎IV	1・2後	1	1			兼1	
Ĭ,			朝鮮語応用I	1・2前	1				兼1	
			朝鮮語応用Ⅱ	1・2後	1				兼1	
			野外調査論	1・2前	2					共同・※講義
			里山のサステイナビリティを考える	1・2前	2					共同・集中・※講義
Ī			人と自然をつなぐ・人と人をつなぐA	1・2前	1	1				共同・集中
			人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB							•
				1・2前	1					集中・※講義
			実践・宇都宮のまちづくり	1・2前	2				兼1	
			一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と"地域金融機関の役割り"	1・2後	2				兼1	
	糸	4	地域金融機関とともに「地方創生」を考える	1・2後	2				兼1	カリキュラムの整備により
	/r /		危機を見つめる力	1・2前	2				兼1	科目を追加(28)
	Z	Ŕ								*!~~**a #FF
	禾	7	3.11と学問の不確かさ	1・2前	2					オムニバス・共同
	E		食と生命のフィールド実践演習	1・2前	4					共同
						1			朮り	担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28)
Ī			ボランティアという生き方	1・2後	2	1			兼1	カリキュラムの整備により
						1				科目を追加 (29)
Ĭ,			男女共同参画社会を生きる	1・2後	2				兼2	共同・集中・※演習
Ĭ,			ものづくり体験	1・2後	2				兼2	共同
1			宇大を学ぶ	1・2後	2	1			兼1	担当教員が退職したため担
1										当教員の変更 (28)
			栃木の里山に学ぶ(春夏編)	1・2前	1	1	ı		兼1	集中

	ı		栃木の里山に学ぶ(秋冬編)	1.9%		l ı	í	ı	1	í		集中
			切木の主口に子か (M 冬柵) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」	1·2後 1·2前		1 2					兼1	未宁
			ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」	1.2後		2					兼1	
			生きるということ	1・2前		2					兼1	担当教員が退職したため廃
			<u>「ぷろじぇくと」をやってみる</u>	1・2前		1					兼1	止 (28) 担当教員が退職したため廃
			 体験!ぷろじぇくと	1・2前		2					兼 1	止 (28) 担当教員が退職したため廃
											7	止 (28)
			感じる・考える・話す	1・2後		2					兼1	担当教員が退職したため廃 止 (28)
			アクティブにとらえる現代社会	1·2後		2					兼1	担当教員が退職したため廃 止 (28)
			サイエンスコミュニケーション入門〜理系と文系の壁を超えよう	1・2前		2					兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
			地域メディア演習	1.2後		2					兼1	カリキュラムの整備により
			環境マネジメント実践	1・2通		2					兼3	科目を追加 (28) カリキュラムの整備により
	紛		宇大生の宇大生による宇大生のための理想の授業	1・2前		2					並 9	科目を追加(29) 集中
	台系	系	「八工の「八工による「八工のためのを心の反案	1 200		2					AK4	カリキュラムの整備により
	利 目		大学論	1・2前		2					兼1	科目を追加 (29) カリキュラムの整備により
			青年期教育論	1・2後		2					兼 1	科目を追加 (29) カリキュラムの整備により
			とちぎ終章学特講		1							科目を追加 (29)
			とらる於早子付講	1・2後	1						飛4	共同・※講義 カリキュラム充実のため担
												当教員を追加(29)
			終章を支える社会資源	1・2前		2					兼1	集中 カリキュラムの整備により
												科目を追加(29)
			とちぎ終章学演習 I とちぎ終章学演習 II	1·2前 1·2前		2 2						共同・※講義 ※講義
			とちぎ仕事学	1・2前		1						☆神我 カリキュラムの整備により
			ソーシャル・イノベーション	1・2前		2						科目を追加 (29) カリキュラムの整備により
			(社会変革) 概論									科目を追加 (29)
++*			地域編集論〜地域振興と情報発信	1・2前		2					兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
基盤			とちぎ企業人に学ぶ 〜業界・仕事・社会〜	1.2後		2					兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
教育			人間と社会	1.2.3.4前		2					兼1	1111 212/11 (23)
科目			キャリアデザイン	1・2・3・4後		2						共同
-		4	働くことの意味と実際 実践企業人材論	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2 2					兼1 兼1	
		IJ	起業の実際と理論	1 · 2 · 3 · 4後		2					兼1	
		ア創	先輩に学ぶ	1・2・3・4前		2					兼1	
		造科	より良く生きる	1・2・3・4前		2					兼3	オムニハ゛ス
		目	企業のグローバル戦略とキャリア形成	1・2・3・4後		2					兼1	# 4
			グローバル時代の企業経営 実践して学ぶミニ農業生産	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2 2						集中 カリキュラムの整備により
												科目を追加 (29)
			課題発見・解決型インターンシップA 課題発見・解決型インターンシップB	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 2					兼1 兼1	活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
			課題発見・解決型インターンシップC	1.2.3.4前		3					兼1	科目を追加(29)
	基		課題発見・解決型インターンシップD	1.2.3.4前		4					兼1	
	盤キ		課題発見・解決型インターンシップ	1•2•3•4前		1					兼1	活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
	ャリ		課題発見・解決型インターンシップ 課題発見・解決型インターンシップ	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2 3					兼1	利目を追加 (28)
	ア		課題発見・解決型インターンシップ 課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前		4					兼1 兼1	カリキュラムの整備により 科目を廃止 (29)
	教育		キャリア形成に資する活動A	1.2.3.4前		1					兼1	」 活動期間により単位認定
	科		キャリア形成に資する活動B	1.2.3.4前		2					兼1	カリキュラムの整備により 利目を追加 (29)
	目	自	キャリア形成に資する活動C	1.2.3.4前		3					兼1	作品で 垣加(29)
		由	キャリア形成に資する活動D	1・2・3・4前		4					兼1	
		科目	キャリア形成に資する活動 キャリア形成に資する活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 2					兼1 兼1	活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
			キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前		3					兼1	科目を追加(28) カリキュラムの整備により
			キャリア形成に資する活動	1·2·3·4前		4					兼1	科目を廃止(29)
			社会奉任活動	1•2•3•4前		1					兼1	活動期間により単位認定
			社会奉仕活動	1·2·3·4前		2					兼1	カリキュラムの整備により 科目を廃止(28)
			社会奉任活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		3 4					兼1 兼1	
			红云李红活则 国際協力活動	1・2・3・4前		4 1					兼1	】 活動期間により単位認定
			国際協力活動	1 * 2 * 3 * 4前		2					兼1	カリキュラムの整備により
			国際協力活動	1•2•3•4前		3					兼1	科目を廃止(28)
			国際協力活動	1·2·3·4前		4					兼1	[]

	1 . 1		実務体験活動	1・2・3・4前		1	ı	ı	ı	1 1	ı	-	活動期間により単位認定
	基盤		実務体験活動	1・2・3・4前		2						兼1	カリン ニノの動性により
	無キ		実務体験活動	1・2・3・4前		3						兼1	利目を廃止(28)
	ャ	自	実務体験活動	1・2・3・4前									: I
	リア	由科	特別体験活動	1·2·3·4前		4						兼1	2 新 Hu He 12 上 12 以 出 中 31 点
	教	目	特別体験活動	,		1						兼1	ユリン ニノの動性により
	育			1・2・3・4前		2						7.11	不製日 年 第 日. (40)
	科目		特別体験活動	1•2•3•4前		3						兼1	:
	П		特別体験活動	1・2・3・4前		4						兼1	J
			アカデミック・ジャパニーズ	1前		1						兼1	
	昏	7	日本語アカデミック・リーディング I	1前		1						兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加(28)
	当	ź	日本語アカデミック・ライティング	1後		1						兼1	
基	生 日	E	日本語アカデミック・リーディングⅡ	1.2.3.4後		1						兼1	カリキュラムの整備により
基盤教育科	4	Z		4 0 0 1///								24.4	科目を追加(28)
育	記		日本語アカデミック・プレゼンテーション	1.2.3.4後		1						兼1	;
	E		科学技術のための専門日本語	1・2・3・4前		1						兼1	•
目			人文社会系のための専門日本語	1・2・3・4前		1						兼1	1
			日本事情	1・2・3・4前		2						兼1	<u>i</u>
			地域デザイン学序論A	1前	2							兼14	* ねニバス カリキュラム充実のため担
													当教員を変更 (29)
	_	_	地域デザイン学序論B	1後	2							兼13	オムニハ・ス
	専門												担当教員退職のため内容を 変更、担当教員の変更
	淖	隼											(29)
	フ 彩		地域デザイン学序論C	1後	2			5	4		1		がス カルト こり 大田のより 相
	科目								5				カリキュラム充実のため担 当教員を追加(29)
													担当 藤倉 修一(准教
													授) 平成28年12月 教員審査済
													判定 可
			地域デザイン訪問	1通	2			3					オムニバス・共同
												兼7	カリキュラム充実のため担 当教員を追加(29)
			地域の姿と課題 I	1前	1				1			兼3	オムニバス・共同
			地域コミュニケーション演習	1前	1				2			兼10	共同
	共	必修	地域プロジェクト演習	3通	2			5	4		2		共同
	通	科									3		カリキュラム充実のため担
	専	目											当教員を追加(29) 担当 NGUYEN MINH HAI
	門科												(助教)
	目												平成28年12月 教員審査済 判定 可
			地域デザイン倫理	3後	2			4					オムニハ゛ス
		選	G I S演習	2後		1					1	兼2	オムニハ゛ス
		択	地域の姿と課題Ⅱ	3前		1		1	2				オムニハ゛ス
		科目	ワークショップ演習	3前		1						兼6	共同
			社会基盤解析法 I	1前	2			1			1		オムニバス・共同・※講義
													カリキュラム充実のため内
													容を変更,担当教員を追加 (29)
													担当 池田 裕一(教授)
専													平成28年12月 教員審査済 判定 可
門													担当 松本 美紀(助教)
教育													平成28年12月 教員審査済
育科			A. △ 甘 鄭 柳 柘 江 Ⅱ	1後	2				1		1		判定 可 ** ** ** ** ** ** ** ** **
目	社		社会基盤解析法Ⅱ	11友	4				1		1		カリキュラム充実のため内
	会基												容を変更,担当教員を追加
	基盤												(29) 担当 近藤 伸也(准教
	盛デ												授)
	ザ	必											平成28年12月 教員審査済
	イン	修科											判定 可 担当 松本 美紀(准教
	学科	目											授)
	科専												平成28年12月 教員審査済 判定 可
	門門		 応用力学序論	1後	2				1				13/4
	科		構造力学Ⅰ	2前	2			1	1				
	目		水理学Ⅰ	2前	2			1					
			土質力学 I	2前	2			1	1				
			土木計画学	2前	2				-		1		
			コンクリート工学Ⅰ	2前	2			1			1		
			測量学	2前	2			1	1		1		
			公共経済学	2前	2				*			兼1	コミュニティデザイン学科
				2111	-							NK1	の留意事項に対応するため
			从	0///									内容を変更 (28)
			社会調査法	2後	2			1		l l			※演習

			構造力学Ⅱ	2後	2		1	1			カリキュラム整備のため担 当教員を変更 (29) 担当 藤倉 修一 (准教 授)
			水理学Ⅱ 土質力学Ⅱ 鉄筋コンクリート工学 防災マネジメントⅠ 海外プロジェクトⅠ 測量学実習 海外プロジェクト演習	2後 2後 2後 2後 2後 2 3 前	2 2 2 2 2 2 3 1		1 1 1	1 1 1	1 1		平成28年12月 教員審査済 判定 可 共同 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 松本 美紀 (助教) 平成28年12月 教員審査済
		必	社会基盤設計演習	3後	1		1	21 3	1 2		判定 可
		修科目	防災マネジメント演習	3後	1			1	1		判定 可 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 松本 美紀 (助教) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
専門教育科	社会基盤デザイ		社会基盤インターンシップ 土木工学実験	3通 3通	1 2		1	1 2 3	1 2		共同 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 藤倉 修一 (准教 授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可 担当 NGUYEN MINH HAI (助教) 平成28年12月 教員審査済
6 育科目	- ン学科専門科目		卒業研究	4通	8		5	4 5	2 4		刊定 可 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 藤倉 修一 (准教 授) 理成28年12月 教員審査済 判定 可 担当 松本 美紀 (助教) 平成28年12月 教員審査済 判定 可 担当 NGUYEN MINH HAI (助教) 平成28年12月 教員審査済 担当 NGUYEN MINH HAI (助教)
			公共政策入門 社会福祉学概論 地域資源論	1前 1前 1後 1後		2 2				兼1 兼1 兼1	コミュニティデザイン学科 の留意事項に対応するため 配当年次,担当教員を変更 (29)
		選択科目	記載点が調整を表現である。 記載を対している。 記載を対している。 と物多様性論 農村マネジメント 文化マネジメント 地域史 まちづくり特講 地方自治論 観光地理学 構造工学 I	1後 1後 1後 2 2 2 2 2 8 6 8 6 8 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 9 8 9 8 9 8 8 8 8 8 8		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1	1		兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	 ※演習 ※演習 ねニパス・※演習 カリキュラム整備のため担当教員を変更(29) 担当 藤倉 修一(准教
			流域環境学 I 衛生工学 交通計画 都市計画 防災マネジメントⅡ	3前 3前 3前 3前 3前		2 2 2 2 2	1 1 1 1	1		兼1	授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可 れニパス

1 1	I		土木工学通論	3前	2		1		I	兼4	オムニハ゛ス
			公共マネジメント	3前	2					兼1	
			地域生態学	3前	2					兼1	
			NPO論	3前	2					兼1	
			流域環境学Ⅱ	3後	2	1					
			土質基礎工学	3後	2		1				
	社		地質工学	3後	2					兼2	オムニハ゛ス
			地区計画	3後	2			1		兼1	オムニバス
	会基盤デ		コンクリート工学Ⅱ	3後	2	1					
専			海外プロジェクトⅡ	3後	2	1					
門			プロジェクト評価論	3後	2					兼1	
教育	イン	択科	高齢者防災論	3後	2					兼1	
教育科	学	目	地域環境エネルギー計画	3後	2					兼1	
目	科		財政学	3後	2					兼1	集中
	専門		景観解析	3後	2					兼1	集中
	科		環境・資源経済学	3後	2					兼1	
	目		社会統計学	4前	2					兼1	コミュニティデザイン学科 の留意事項に対応するため 内容を変更 (28)
			構造工学Ⅱ	4前	2	1					
			国土計画	4前	2					兼2	オムニバス
			工業日本語基礎 I	3前	1					兼1	留学生対象科目
			工業日本語基礎Ⅱ	3後	1					兼1	留学生対象科目
			工業日本語応用	4通	2					兼1	留学生対象科目

- (注)・設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更さ れているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。 ・ 兼任、 兼担の教員が担当する授業科目については、 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合 には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前) についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え 消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 拇業科日数

(_ / _]	<u>又未行口3</u>							
	設置時	の計画			変更	状況		備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	1
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
41	304	0	345	41	365	0	406	
				[0]	[61]	[0]	[61]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
 - ・資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

番号	授業科目名	単位	数 配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	器楽合奏概論	2		1・2後	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
2	生きるということ	2		1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
3	「ぷろじぇくと」をやってみる	1		1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
4	体験!ぷろじぇくと	2		1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
5	感じる・考える・話す	2		1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
6	アクティブにとらえる現代社会	2		1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
7	社会奉仕活動	1		1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
8	国際協力活動	1		1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
9	実務体験活動	1		1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
10	特別体験活動	1		1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
1 1	Overseas Study A	1.2.3	•4	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
1 2	Overseas Study B	1.2.3	٠4	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
1 3	Overseas Study C	1.2.3	٠4	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
1 4	Overseas Study D	1.2.3	٠4	1-2-3-4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
1 5	心理学と人権	2		1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
1 6	日本語の表記	2		1・2前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
1 7	声のトレーニング	2		1.2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
1 8	微生物の化学	2		1·2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
1 9	ウイルスの世界と生物の世界	2		1・2前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
2 0	課題発見・解決型インターンシップ	1.2.3	٠4	1-2-3-4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
2 1	キャリア形成に資する活動	1.2.3	•4	1-2-3-4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

28年度に廃止となった番号7~10の科目は、現状に見合った活動である「課題発見・解決型インターンシップ」及び「キャリア形成に資する活動」として、29年度に廃止となった番号11~14の科目は「Study Abroad A~D」、番号20・21の科目は「課題発見・解決型インターンシップA~D」及び「キャリア形成に資する活動A~D」として科目を新設したため、教育の質は確保できており、それ以外の科目については、一般教養科目に位置づけられている科目であり履修上の影響はないと考える

なお、学生に対しては、履修案内・シラバス等において、開講科目を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計 = 0.06 設置時の計画の授業科目数の計

- (注) · 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。 · 「未開講科目と廃止科目の計」が「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

<地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科>

(1) 授業科目表

	1) j	受業科目表 			単位数	(1	専任教	数員等	の配置		
科I	目区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	備考
1°T I		1又未行日 ジ 石 仲	配当平队		Les.			教	ATT	del.		VIII A-D
		Integrated English I A	1前	修 2	択	由	授	授	師	教	手	▲ ★6 カリキュラム充実のため担
		Integrated English I A	1 80									兼2 当教員を追加 (28)
		Integrated English I B	1前	1								兼8
		Integrated English IIA	1後	2								兼6 カリキュラム充実のため担
		Introducted English II D	1.5%	1								兼2 当教員を追加 (28)
		Integrated English II B	1後	1	1							兼8 兼4
		Advanced English I (Intensive Reading) Advanced English I (Pleasure Reading)	2前後 2前後		1							兼2
		Advanced English I (Academic Writing)	2前後		1							兼2
		Advanced English I (Academic witting)	2前後		1							兼4
		Advanced English I (Public Speaking)	2前後		1							兼2
		Advanced English I (Presentation)	2前後		1							兼4
		Advanced English I (Discussion&Debate)	2前後		1							兼2 カリキュラム充実のため担
		narancea English 1 (Biseassienæresace)	5113 (5)		-							兼1 当教員を追加 (28)
		Advanced English I (Speech Clinic)	2前後		1							兼4 カリキュラム充実のため担
		Advanced English I (Vocabulary Building)	2前		1							兼3 当教員を追加(28) 兼2
		Advanced English I (Communicative Grammar)	2前後		1							兼4
		Advanced English I (Media English)	2前後		1							兼2
		Advanced English I (Cinema English)	2前後		1							兼2 カリキュラム充実のため担
												兼1 当教員を追加(28)
		Advanced English I (TOEIC)	2前後		1							兼5
		Advanced English I (TOEFL)	2前後		1							兼2 カリキュラム充実のため担 兼1 当教員を追加 (28)
		Advanced English I (EAP)	2前後		1							兼4 = 4 (20)
		Honors English A	1・2・3・4前		1							兼2
		Honors English B	1・2・3・4後		1							兼2
		Honors English C	1・2・3・4前		1							兼2
		Honors English D	1・2・3・4後		1							兼2
		Honors English E	1・2・3・4前		1							兼2
-13-		Honors English F	1・2・3・4後		1							兼2
基盤	テ	Honors English G	1・2・3・4前		1							兼2
教	7	Honors English H	1.2.3.4後		1							兼2
育科	ì	Honors Camp A	1・2・3・4前		2							兼1
目	科	Honors Camp B	1・2・3・4前		2							兼1
		Honors Camp C	1・2・3・4前		2							兼1
		Honors Camp D	1・2・3・4前		2							兼1
		Study Abroad A	1.2.3.4前		2							兼1 カリキュラムの整備により
												科目を追加 (29)
		Overseas Study A	1•2•3•4前		1							兼1 母学期間により単位認定 カリキュラムの整備により
		Overseas Study A	1·2·3·4前		2							和目を廃止 (29)
		Overseas Study A	1·2·3·4前		3							兼1
		Overseas Study A	1·2·3·4前		4							兼1
		Study Abroad B	1・2・3・4前		2							兼1 カリキュラムの整備により
		Overseas Study B	1・2・3・4前		4							科目を追加(29) 兼1 留学期間により単位認定
		Overseas Study B	1·2·3·4前		2							<u> </u>
		Overseas Study B	1•2•3•4前		3							和目を廃止(29) 兼1
		Overseas Study B	1·2·3·4前		4							***
		Study Abroad C	1.2.3.4前		1							兼1 カリキュラムの整備により
												科目を追加 (29)
		Overseas Study C	1•2•3•4前		1							兼1 留学期間により単位認定 兼1 カリキャラムの整備により
		Overseas Study C	1•2•3•4前		2							和日を廃止(29)
		Overseas Study C	1•2•3•4前		3							兼1
		Overseas Study C	1·2·3·4前		4							兼1
		Study Abroad D	1・2・3・4前		1							兼1 カリキュラムの整備により
		Overseas Study D	1•2•3•4前		+							科目を追加(29) 兼1 留学期間により単位認定
		Overseas Study D	1 2 3 4前		2							★1 カリキュラムの整備により
		Overseas Study D	1 2 3 4前		3							利目を廃止 (29) 兼1
		Overseas Study D	1・2・3・4前		4							兼1
		スポーツと健康	1 2 3 1mg 1前	2	-							兼9 カリキュラム充実のため担
		J C VENT	T 13.1	-								兼7 当教員を追加 (28)
		とちぎ終章学総論	1後	1	1	1		1	l	1	1	兼1 ※講義

対象としています。 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	_			1								
# 20												
					1・2後	Ī						
日本の			护	東洋思想	1・2前		2				兼1	
# 1 20				論理学	1・2前		2				兼1	
1-20				西洋の倫理思想	1・2後		2				兼1	
他の			攻	科学思想史	1・2前		2				兼1	
				東アジアの宗教と文化	1・2前		2				兼1	
関係の研究人目 1-2後 2				仏教における人間形成論	1・2前		2				兼1	
勝かし近々人内 1-2歳 2				心理学	1・2前		2				兼1	
				初知心理学》問	1.9谷		9					科目を追加 (29)
本語の理案大門												
機能と学のの心理学 の												
ペーンチャワテム保管報論 1-2歳 2 機												
「国際などの選及 1-2歳 2 2 2 2 2 2 2 2 2												
## 子ともの言葉とようで、ション人門 1-2級 2												
1												
### 1 - 1 - 2 後 2			領									坦火数昌が退酔したため 廃
計画を開加 (28) 計画を指加 (28) 計画を通加 (28)			域	TOTE I C AME	1°400		+				/IK 1	
書面報名語				学校臨床心理学	1.2後		2				兼1	カリキュラムの整備により
1-2歳 1-2歳 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3				⇒ # T T T H = 4.	1 . 0.5%		0				 ★1	科目を追加(28)
大豆 全												カリキュラルの動曲により
日本文字 (古典)				負的心理子研究法人門	1・21安		2				#1	
日本文字 (古典)				児童生徒の思考と認知	1・2前	I	2		1		兼1	カリキュラムの整備により
日本近代学傳像				日本文学 (士曲)	1.9前後		9		-	\vdash	無り	科目を追加(29)
日本の小説 日本の古典 1・2前 2				1 ,								
日本の古典 1-2後 2												カリナーコレの軟件により
日本の古典				日本の小説	1.7月1						**1	
中国文字 1-2前 2				日本の古典	1・2後		2				兼1	カリキュラムの整備により
本語				中国本兴	1 0=						** 1	科目を追加(28)
京 イン文字 1・2前 2			文									
Table												カリナ ニノの動体により
五				トイツメ字	1・2月1		2				#1	
日	基	人		フランス文学	1.2後		2				兼1	11 11 2 22 7/1 (30)
日	盤	科		比較文学	1・2前		2				兼1	
日	教育	学		ロシア文学	1・2前		2				兼1	
日		系和		英文学入門	1.2後		2				兼1	
現代美字	目			米文学入門	1・2前		2				兼1	
芸術学 芸術と自然 音楽通論 神楽の魅力 1・2前 1・2後 2 2 2 3 3 音子の魅力 2 3 2 3 2 3 3 4 1 2 3 3 3 3 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3				ヨーロッパ地域文化論	1・2前		2				兼1	
世帯にも含物				現代美学	1.2後		2				兼1	
音楽通論 1・2後 2				芸術学	1・2前		2				兼1	
本				芸術と自然	1・2前		2				兼1	隔年
## 1				音楽通論	1.2後		2				兼1	
領域 第本合奏報酬				声楽の魅力	1.2後		2				兼1	
# 管打合奏演習				器楽合奏概論	1・2後		2				兼1	カリキュラムの見直しによ
日本文化A 日本文化B 日本文化B 美術表現基礎 近現代美術論 1・2権 2 2 2 3				Mr. los A. et visita							24.4	り科目を廃止 (28)
日本文化B												
# 2												
近現代美術論												1) 11 [2] \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
多言語コミュニケーション学A 1・2前 2 多言語コミュニケーション学B 1・2後 2 日本語の表記 1・2前 2 日本語を文法的に考える 1・2後 2 論理表現の技術 1・2後 2 Japanese Communication Arts 1・2後 2 ことばから見た人間 1・2後 2 株1 東2 兼1 総成人教育と参加型学習 1・2後 2 協教育の裏側に光を当てる 1・2前 2 生活美学 1・2前 2 ものと文化と社会 1・2後 2 映像分析の実践 1・2前 2 世界のなかの日本文化 1・2後 2 本のトレーニング 1・2後 2 本のトレーニング 1・2後 2 担当教員が追職したため廃 1・2を												
多言語コミュニケーション学B 日本語を実施的に考える 1・2後 1・2前 2 2 第1 財本語を実施的に考える 1・2後 2 2 第1 論理表現の技術 Japanese Communication Arts 1・2後 1・2後 2 2 第1 人 ことばから見た人間 文主選学習概論 総成人教育と参加型学習 台育教育の裏側に光を当てる 生活美学 ものと文化と社会 映像分析の実践 世界のなかの日本文化 ボディ・ランゲージ 声のトレーニング 1・2後 1・2前 2 2 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第			<u> </u>			!			1	\vdash	7.07	
日本語を文法的に考える 1・2億 出土語を文法的に考える 1・2後 論理表現の技術 Japanese Communication Arts 1・2後 人工とばから見た人間 1・2後 生涯学習概論 1・2前 成人教育と参加型学習 1・2前 教育の裏側に光を当てる 1・2前 生活美学 1・2前 ものと文化と社会 1・2前 映像分析の実践 1・2前 世界のなかの日本文化 1・2後 ボディ・ランゲージ 1・2後 連のトレーニング 1・2後 1・2後 2 1・2後 2 1・2後 2 1・2後 2 カリキュラムの整備により 科目を追加(28) 担当教員が退職したため廃				I								
1・2後 1・2後 2 兼1 かリキュラムの整備により カリキュラムの整備により カリキュラムの整備により カリキュラムの整備により カリキュラムの整備により 兼1 1・2後 2 兼1 兼1 兼1 兼2 共同 上産学習概論				I								**** ** *******
日本語を文法的に考える 1・2後 2 論理表現の技術 1・2後 2 人立とばから見た人間 1・2後 2 生涯学習概論 1・2前 2 成人教育と参加型学習 1・2前 2 教育の裏側に光を当てる 1・2前 2 生活美学 1・2前 2 ものと文化と社会 1・2前 2 映像分析の実践 1・2前 2 世界のなかの日本文化 1・2後 2 ボディ・ランゲージ 1・2後 2 声のトレーニング 1・2後 2 オリキュラムの整備により 料目を追加(28)				日本語の表記	1・2月月		2				#1	
論理表現の技術 Japanese Communication Arts 1・2後 1・2後 2 1・2前 2 2 2 2 3 4 3 6 6 6 6 6 7 7 7 8 8 7 8 7 8 7 8 7 8 8 7 8 7				日本語を文法的に考える	1.2後		2				兼1	
Japanese Communication Arts 1・2後 2							_					
人 ことばから見た人間 1・2後 2 文 生涯学習概論 1・2前 2 成人教育と参加型学習 1・2前 2 教育の裏側に光を当てる 1・2前 2 基式美学 1・2前 2 ものと文化と社会 1・2後 2 映像分析の実践 1・2前 2 世界のなかの日本文化 1・2後 2 ボディ・ランゲージ 1・2後 2 声のトレーニング 1・2後 2 オートーニング 1・2後 2 お1 カリキュラムの整備により 料目を追加 (28) 担当教員が退職したため廃												
イ文 生涯学習概論 1・2前 2 成人教育と参加型学習 1・2後 2 教育の裏側に光を当てる 1・2前 2 域生活美学 1・2前 2 ものと文化と社会 1・2後 2 映像分析の実践 1・2前 2 世界のなかの日本文化 1・2後 2 ボディ・ランゲージ 1・2後 2 声のトレーニング 1・2後 2 オートレーニング 1・2後 2 担当教員が退職したため廃				I ⁻ -								# =
総合額												共同
合												
領 教育の裏側に光を当てる 1・2前 2			合									
ものと文化と社会 1・2後 2 映像分析の実践 1・2前 2 世界のなかの日本文化 1・2後 2 ボディ・ランゲージ 1・2後 2 声のトレーニング 1・2後 2 1・2後 2 担当教員が退職したため廃			領									
映像分析の実践 1・2前 世界のなかの日本文化 1・2後 ボディ・ランゲージ 1・2後 声のトレーニング 1・2後 1・2後 2 1・2を 2			攻									
世界のなかの日本文化												
ボディ・ランゲージ 1・2後 2 声のトレーニング 1・2後 2 1・2後 2 1・2後 2 1・2後 2												
声のトレーニング 1・2後 2 兼1 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) 担当教員が退職したため廃												
科目を追加 (28) 担当教員が退職したため廃												
担当教員が退職したため廃				声のトレーニング	1・2後		2				兼1	
												担当教員が退職したため廃
					I							

1-2前 2 2 次日 次日 次日 次日 次日 次日							, ,		:
日本									
1			1・2前	2					
大学 1-2歳 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	子 領	国際化と人権	1.2前	2				兼1	
国際政治		知的財産権概論	3・4後	2				兼1	※演習
1 公産 1 公産 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3		法学概論	1.2後	2				兼1	
1 公産 1 公産 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3		国際政治史	1・2前	2				兼1	
日本									
1- 2巻 2 2 2 2 2 2 2 2 2									
1-20m 2 2 2 2 2 2 2 2 2	74								
2	学	現代日本の政治と行政	1・2後	2				兼1	カリキュラムの整備により
放出の世界	領	グローバル・ガバナンフ診り田	1.0益	9					科日を追加 (29)
現代日本政治論 1-2歳 2 第1 第1	坝								
経済学月 1-2前 2									
経済		現代日本政治論	1.2後	2				兼1	
展示 (1-2億) (2-2) (2-2		経済学I	1.2前	2				兼1	
章 音楽 本語を終もう		経済分析入門	1・2前	2				兼1	
章 音本語を載らう	107	資本市場の役割と証券投資	1.2後	2				兼1	
下の 1-2後 2 次 次 次 次 次 次 次 次 次	産			2					カリキュラムの整備に上り
能応用経済学入門 1-2億 2 兼1		東本圃で加 0 /	1 200	2				NK1	
放 数理経済学入門		応用経済学入門	1.2後	2				兼1	
グール電路入門 農業経営人門 1-2前 2 無1 社会学入門 切用社会学 1-2前 2 無1 現日 日本の社会 会介マスミ入門 可能 成果と国際社会 会介でスミ人門 1-2歳 2 無1 現代日本の社会 会介マスミ人門 同能 成果と国際社会 多文化人類等入門 1-2歳 2 無1 地域 校上国際社会 多文化大学協入門 1-2歳 2 無1 地域 全別学人門 日学育協会 会社会 会社会 会社会 会社会 会社会 会社会 是社会 会社会 是社会 会社会 是社会 会社会 是社会 会社会 是社会 会社会 是工程 表社の 会社会 会社会 会社会 会社会 会社会 会社会 会社会 会社会 会社会 会	1-4-	数理経済学入門	1・2前	2				兼1	
機業経営人門 1-2前 2									
世会学入門 1-2後 2									
正用社会学						$\perp \perp$			
世 現代日本の社会 マスコミ人門									
世界代日本の社会		応用社会学	1.2後	2				兼1	カリキュラムの整備により
会 マスコミス門	÷L	祖仏ロオの社会	1 024					34- ·	科目を追加 (28)
中央									
個 オセアニア民族誌	学	マスコミ人門		2					
大江大野山		オセアニア民族誌	1.2後	2				兼1	
多文化共生論入門	域	文化人類学入門	1.2後	2				兼1	
多文化共生論入門		環境と国際社会	1・2前	2				兼1	
地 人文地理学入門 I									
出版						 			
1・2後 2									
1・2後 2 兼1		人文地理学入門Ⅱ	1.2後	2				兼1	
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	会写	農村空間論	1.2後	2				兼1	
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	科域	地誌学	1.2後	2				兼1	カリキュラムの整備により
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	字一	77 L W 4 PP	>/-						科目を追加(28)
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	和 歴	歴史学入門	1・2前	2					
領価 歴史 文化 1・2後 2 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	日文	歴史と民族	1.2後	2				兼1	
域地域の歴史	字領	歴史と文化	1.2後	2				兼1	
中東の社会と文化 社会開発入門 遊びの理論とゲーム開発		地域の歴史	1.2後	2				兼1	
社会開発入門 近びの理論とゲーム開発 1・2後 2 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼				2					1
# 1 - 2後									
遊び輪と遊び指導 住まいづくり・まちづくり入門 オイコス入門 障害者問題入門 数や図形の絵本づくり 栃木県の歴史と文化 社会福祉入門 環境教育 1・2簡 2 1・2簡 2 1・2簡 2 1・2簡 2 1・2簡 2 1・2簡 2 1・2音 3 1・2音									
#1									
オイコス入門 1・2前 2		遊び輪と遊び指導	1・2前	2				兼1	
障害者問題入門 数や図形の絵本づくり		住まいづくり・まちづくり入門	1.2前	2				兼1	※講義
中国		オイコス入門	1.2前	2				兼1	
数や図形の絵本づくり									:
栃木県の歴史と文化 1・2前 1・2後 2									
社会福祉入門 1・2後 2 環境教育 1・2前 2 地域環境社会学 1・2後 2 災害復興学入門 1・2後 2 グローバル化と外国人児童生徒教育 1・2後 2 国際協力論入門 1・2後 2 国際協力論入門 1・2後 2 著作権法入門 1・2後 2 教科書に見る歴史と社会 1・2後 2 人と自然の共生を考える 1・2後 2 希望の地域社会論 1・2後 2 1・2後 2 1・2後 2 1・2後 2 1・2後 2 1・2 1・2 1・2 1 1・2 1・2 1 1・2 1・2 1 1・2 1 1 1・2 1・2 1 1・2									:
環境教育 1・2前 地域環境社会学 1・2後 社会 2 災害復興学入門 1・2後 総合 百国際協力論入門 1・2後 質国際協力論入門 1・2後 本行 2 著作権法入門 1・2後 教科書に見る歴史と社会 1・2後 人と自然の共生を考える 1・2後 希望の地域社会論 1・2後 1・2後 2 1・2後 1 1・2後 2 1・2後 1 1・2後 2 1・2後 2 1・2後 1 1・2後 1 1・2後 1 1・2を 1 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※講義</td></td<>									※講義
地域環境社会学 1・2後 2 2 2 3 3 3 4 4 5 4 4 5 4 4 5 4 5 4 5 5		社会福祉入門	1.2後	2				兼1	
地域環境社会学 1・2後 2 社会 災害復興学入門 1・2後 2 がローバル化と外国人児童生徒教育 1・2後 2 国際協力論入門 1・2後 2 域 伝統染織と感性 1・2後 2 著作権法入門 教科書に見る歴史と社会 1・2後 2 人と自然の共生を考える 1・2通 2 希望の地域社会論 1・2後 2 1 1・2後 2 1 1・2通 2 1 大森 空変更, 担当 (29) 担当教員退職の容の変更, 担当 (29) 担当 大森 宣		環境教育	1・2前	2				兼1	カリキュラムの整備により
社会 災害復興学入門 総合 合面 国際協力論入門 域 1・2後 1・2前 1・2前 2 1・2前 3 4 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 7 7 8 7 8 7 8 7									科目を追加(28)
会 災害復興学入門 1・2後 2 総 グローバル化と外国人児童生徒教育 1・2後 2 国際協力論入門 1・2前 2 域 伝統染織と感性 1・2後 2 著作権法入門 1・2後 2 教科書に見る歴史と社会 1・2後 2 人と自然の共生を考える 1・2通 2 希望の地域社会論 1・2後 2 1・2後 2 1 1・2を 2 1 1・2		地域環境社会学	1.2後	2				兼1	カリキュラムの整備により
総		《《字復傳於1明	1.044					34 ·	科日を追加 (28)
合領国際協力論入門 1・2前 2 域 伝統染織と感性 1・2後 2 著作権法入門 教科書に見る歴史と社会 1・2後 2 人と自然の共生を考える 1・2通 2 希望の地域社会論 1・2後 2 1・2通 1・2後 2 1・2通 1・2後 2 1・2通 1・2後 2 1・2通 1・2後 2 1 1・2後 2 1 2 1 1 兼1 集中 株1 2 担当教員退職の容の変更,担当 (29) 大森 宣	600								
領国際協力論入門 1・2前 2 域 伝統染織と感性 1・2後 2 著作権法入門 1・2後 2 教科書に見る歴史と社会 1・2後 2 人と自然の共生を考える 1・2通 2 希望の地域社会論 1・2後 2 1・2後 1 1 第3 北ムーパス 担当教員退職の容の変更, 担当 (29) 担当 大森 宣	合								オムニハ・ス・共同
著作権法入門 1・2後 2 教科書に見る歴史と社会 1・2後 2 人と自然の共生を考える 1・2通 2 希望の地域社会論 1・2後 2 1・2後 2 1 1・2後 1 1 第1 集中 兼1 集中 排1 東3 北上か。ス 担当教員退職の容の変更、担当 (29) 担当 大森 宣	領	国際協力論入門	1・2前	2				兼1	
教科書に見る歴史と社会 人と自然の共生を考える 希望の地域社会論 1・2後 2 第1 兼1 集中 お本かる 担当教員退職の容の変更,担当 (29) 12 1 1 兼3 およかる 担当教員退職の容の変更,担当 (29) 担当 大森 宣	域	伝統染織と感性	1.2後	2				兼1	
教科書に見る歴史と社会 人と自然の共生を考える 1・2通 1・2通 2 第1 兼1 兼1 集中 希望の地域社会論 1・2後 2 1 1 兼3 払ニパス 担当教員退職の容の変更,担当 (29) 担当 大森 宣		著作権法入門	1・2後	2				兼1	
人と自然の共生を考える 1・2通 2 希望の地域社会論 1・2後 2 1 2後 1 1 2後 1 1 2後 1 1 2後 1 1 2 2 1 1 2 3 1 1 2 3 1 1 2 3 1 2 3 1 2 4 1 1 3 1 2 4 1 1 4 1 第3 計二 2 5 1 1 5 1 2 6 1 2 7 1 3 7 1 4 7 1 4 8 1 4 8 1 4 8 1 4 9 1 4 9 1 4 1 1 4 1 1 4 1 1 4 1 1 4 1 1 4 1 1 4 2 1 4 1 1 5 2 1 6 2 1 7 2 1 8 1 1 8 2 1 9 2 1 1 1 1									
希望の地域社会論 1・2後 2 1 1 第3 ポープス 担当教員退職の容の変更,担当 (29) 大森 宣									焦 由
担当教員退職の容の変更, 担当 (29) (29) 大森 宣									•
容の変更, 担当 (29) 担当 大森 宣		希望の地域社会論	1・2後	2	1		1	兼3	
(29) 担当 大森 宣									担当教員退職のため科目内 次の変更 担当教員の変更
									容の変更,担当教員の変更 (29)
									担当 大森 宣暁(教授)
									平成28年12月 教員審查済
									判定 可
									担当 長田 哲平(助教)
									平成28年12月 教員審査済
地域特別は大学の犯割 1.0% 0 第1 まりは、またの		単体に関し十分の20世	1.0%					34- ·	<u>-</u>
		地域仮典と人子の役割	1・2俊	2				#1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)

1	l	農業と文明	1・2後	2	2	1 1	1	1	兼1	カリキュラムの整備により
		世界の農業	1・2前	2	2				兼1	科目を追加 (28) カリキュラムの整備により
÷1.		アフリカ学入門	1・2前	2	,					科目を追加 (28) カリキュラムの整備により
社会	社会									科目を追加 (28)
会科学系	会総	中国事情 グローバル韓国学	1·2後 1·2前	2					兼1 兼1	
系科	合領	科学・技術・教育・社会を考える	1・2後	2					兼1	
目	域	セクソロジー入門	1.2後	2	2				兼1	※講義
		高齢者福祉入門	1・2前	2	2				兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
		国際協力の実際と課題	1.2後	2	2				兼2	カリキュラムの整備により
		現代数学入門	1・2後		2				兼1	科目を追加(29)
	Not	Mathematicaによる微積分入門	1・2前	2	2				兼1	
	数学	Mathematicaによるデータ解析入門	1.2後	2					兼1	
	領域	振動の科学 数学の世界	1・2前	2					兼1 兼4	オムニハ゛ス
		数子の世外	1・2前	4	2					カリキュラムの整備により
		教養物理	1・2前	2	2	1			兼3	科目を追加(28) オムニバス
		物理学入門	1・2前	2	2				兼1	
	物理	家庭の中の物理 物理工学最前線	1・2前	2	2				兼1	カリキュラムの整備により 科目名称を変更(29)
	学領	Mathematica入門	1.2前後	2	2				兼1	有自有标图及文 (20)
	域	放射線科学入門	1・2前	2	-				兼1	
		エレクトロニクス科学史	1・2後	2					兼1	
		バイオミメティクス入門 地球環境と化学	1·2後 1·2前	2					兼1 兼1	
		環境と生物化学	1・2前	2					兼1	
		不思議な化学	1.2後	2	2				兼1	
	化	水素とエネルギー	1.2後	2					兼1	
	学領	リメディアル化学	1・2前	2					兼1	
	域	物質・材料の機器分析入門	1・2前 1・2後	2 9					兼1 兼1	カリキュラムの整備により
		MT-194-5 [C.]	1 200						NK1	科目を追加 (28)
										担当教員が退職したため廃 止 (29)
基般		ノーベル化学賞周辺の化学	1・2後	2					兼1	
盤教		人間生活と植物 食料生産の生物学	1·2後 1·2後	2					兼1 兼1	
育科		21世紀を支える熱帯植物	1・2後	2					兼1	
目		野外における野生動物識別テクニックの基礎	1・2前	2	2				兼1	カリキュラムの整備により
自	生物	野外における鳥獣識別テクニックの基礎	1.0*						* 1	科目名称を変更(28)
然科	学領	基礎生物学 ウイルスの世界と生物の世界	1·2前 1·2前	2					兼1 兼1	カリキュラムの見直しによ
科学系	域									り科目を廃止 (29)
科		美味しさを科学するーミシュランガイド宇都宮をつくろうー 人体の中の小宇宙	1·2後 1·2後	2						※講義 カリキュラムの整備により
目										科目を追加 (28)
		昆虫生理生態学	1・2後	2	2				兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
		C言語・プログラミング入門	1・2前	2					兼1	
	情報	プログラミング応用 インターネットのしくみ	1·2前 1·2後	2					兼1 兼1	
	科学	Webのしくみ	1.2後	2					兼1	
	領	身のまわりのICT	1・2後	2	2				兼1	
	域	ワイヤレス通信のしくみ	1・2後	2					兼1	
		医用画像工学入門	1・2前	2					兼1	
- 1	地	地球環接した物事化中	1.9前						ポエ	
	地学領	地球環境と生物事件史 身近な気象学	1·2前 1·2後	2					兼1	•
	学	地球環境と生物事件史 身近な気象学 肥満の科学	1·2前 1·2後 1·2後		2				兼1 兼1	
	学領	身近な気象学	1・2後	2	2					
	学領域	身近な気象学 肥満の科学	1·2後 1·2後	2	2 2 2				兼1 兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	学領域健康科	身近な気象学 肥満の科学 健康管理学概論	1·2後 1·2後 1·2後	2	2 2 2 2 2				兼1 兼1 兼1	科目を追加 (28) カリキュラムの整備により
	学領域 健康科学領	身近な気象学 肥満の科学 健康管理学概論 健康のためなら死んでもいい!? 生活習慣と健康 バレーボールの科学	1·2後 1·2後 1·2後 1·2前	2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				兼1 兼1 兼1	科目を追加 (28)
	学領域 健康科学領	身近な気象学 肥満の科学 健康管理学概論 健康のためなら死んでもいい!? 生活習慣と健康	1·2後 1·2後 1·2前 1·2前	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				兼1 兼1 兼1 兼1	科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により
	学領域 健康科学領	身近な気象学 肥満の科学 健康管理学概論 健康のためなら死んでもいい!? 生活習慣と健康 バレーボールの科学	1·2後 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により
	学領域 健康科学領	身近な気象学 肥満の科学 健康管理学概論 健康のためなら死んでもいい!? 生活習慣と健康 バレーボールの科学 スポーツトレーニング論	1·2後 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	学領域健康科学領域	身近な気象学 肥満の科学 健康管理学概論 健康のためなら死んでもいい!? 生活習慣と健康 バレーボールの科学 スポーツトレーニング論 精神医学概論 人間の感覚を測る 生物の多様性とは何か	1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
	学領域健康科学領域	身近な気象学 肥満の科学 健康管理学概論 健康のためなら死んでもいい!? 生活習慣と健康 バレーボールの科学 スポーツトレーニング論 精神医学概論 人間の感覚を測る 生物の多様性とは何か 雑草と人のくらし	1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により <mark>科目を追加 (29)</mark> ※講義
	学領域 健康科学領域 自然総	身近な気象学 肥満の科学 健康管理学概論 健康のためなら死んでもいい!? 生活習慣と健康 バレーボールの科学 スポーツトレーニング論 精神医学概論 人間の感覚を測る 生物の多様性とは何か 雑草と人のくらし 雑草観察入門	1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により <mark>科目を追加 (29)</mark> ※講義
	学領域 健康科学領域 自然総合領	身近な気象学 肥満の科学 健康管理学概論 健康のためなら死んでもいい!? 生活習慣と健康 バレーボールの科学 スポーツトレーニング論 精神医学概論 人間の感覚を測る 生物の多様性とは何か 雑草と人のくらし 雑草観察入門 雑草と里山のフィールド演習Ⅰ	1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) ※講義 ※講義
	学領域 健康科学領域 自然総合	身近な気象学 肥満の科学 健康管理学概論 健康のためなら死んでもいい!? 生活習慣と健康 バレーボールの科学 スポーツトレーニング論 精神医学概論 人間の感覚を測る 生物の多様性とは何か 雑草と人のくらし 雑草観察入門	1·2後 1·2後 1·26 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·26 1·26 1·27	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により <mark>科目を追加 (29)</mark> ※講義

	_								
1		ドイツ語基礎 I	1・2前	1		1		兼1	
		ドイツ語基礎Ⅱ	1・2後	1				兼1	
		ドイツ語基礎Ⅲ	1・2前	1				兼1	
		ドイツ語基礎Ⅳ	1・2後					兼1	
		ドイツ語応用Ⅰ	1・2前]				兼1	
		ドイツ語応用Ⅱ	1・2後]				兼1	
		フランス語基礎 I	1・2前	1	L			兼2	
		フランス語基礎Ⅱ	1・2後	1	L			兼2	
		フランス語基礎Ⅲ	1・2前	1				兼1	
		フランス語基礎IV	1・2後					兼1	
		フランス語応用 I	1・2前					兼1	
		フランス語応用Ⅱ	1・2後]				兼1	
		スペイン語基礎 I	1・2前]				兼1	
		スペイン語基礎Ⅱ	1・2後	1	L			兼1	
		スペイン語基礎Ⅲ	1・2前	1				兼1	
	初	スペイン語基礎IV	1・2後	1				兼1	
	習	スペイン語応用 I	1・2前	1				兼1	
	外	スペイン語応用Ⅱ	1・2後					兼1	
	玉								
	語系	中国語基礎I	1・2前	1				兼2	
	科	中国語基礎Ⅱ	1・2後]				兼2	
	目	中国語基礎Ⅲ	1・2前	1	L			兼1	
		中国語基礎IV	1・2後	1				兼1	
		中国語応用I	1・2前	1				兼1	
		中国語応用Ⅱ	1・2後	1				兼1	
		タイ語基礎I	1・2前					兼1	
		タイ語基礎Ⅱ	1・2後	1				兼1	
		タイ語基礎Ⅲ	1・2前]]				兼1	
		タイ語基礎IV	1・2後	1	L			兼1	
		タイ語応用 I	1・2前	1				兼1	
		タイ語応用Ⅱ	1・2後	1				兼1	
		朝鮮語基礎 I	1・2前	1				兼2	
		朝鮮語基礎Ⅱ	1・2後					兼1	
		朝鮮語基礎Ⅲ	1・2前	1				兼1	
		朝鮮語基礎IV	1・2後]				兼1	
基		朝鮮語応用I	1・2前	1	L			兼1	
盤		朝鮮語応用Ⅱ	1・2後	1	L			兼1	
教		野外調査論	1・2前	2	2			兼3	共同・※講義
育		里山のサステイナビリティを考える	1・2前	2	2			兼3	共同・集中・※講義
科目		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐA	1・2前	_					•
н								±±-′/	共同, 售由
]					共同・集中
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB	1・2前	1	L			兼1	共同・集中 集中・※講義
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり	1·2前 1·2前	1 2	2			兼1 兼1	1
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と	1・2前	1	2			兼1	1
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り"	1·2前 1·2前 1·2後	2	2 2			兼1 兼1 兼1	集中・※講義
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と	1·2前 1·2前	1 2	2 2			兼1 兼1 兼1	集中・※講義 カリキュラムの整備により
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後	2 2	2 2 2			兼1 兼1 兼1	集中・※講義
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前	2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼1	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加(28)
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前	2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼8	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) なニペス・共同 共同
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼8	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 4			兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼8 兼5	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) なたが、ス・共同 共国 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前	2 2 2 4	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼1 兼8 兼6 兼6	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) なニペス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後	1 1 2 2 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 4 4 4 4			兼1 兼1 兼1 兼1 兼8 兼6 兼6	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) なニペス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前	2 2 2 4	2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 4 4 4 4			兼1 兼1 兼1 兼1 兼8 兼6 兼6	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) ***********************************
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼1 兼8 兼6 兼1 兼2 兼1	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) れエバス・共同 共国 教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員の変更 (28)
	総総	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編)	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2前	1 1 2 2 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼1 兼8 兼6 兼 1 兼2 兼1 兼1	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) れエバス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員の変更 (28)
	合	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編)	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼1 兼8 兼6 兼 1 兼2 兼1 兼1	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) れエバス・共同 共国 教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員の変更 (28)
	合系	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編)	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2前	1 1 2 2 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼1 兼8 兼6 兼 1 兼2 兼1 兼1	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) れエバス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員の変更 (28)
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編)	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼1 兼8 兼6 兼 1 兼2 兼1 兼1	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) れエバス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員の変更 (28)
	合系	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(森 久編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·26 1·26 1·26 1·26	2 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1				兼1 兼1 兼1 兼1 兼8 兼6 兼 1 兼2 兼1 兼1 兼1 兼1	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) れエバス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員の変更 (28)
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2前	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼8 兼5 兼6 兼 1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) ない、ス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員が退職したため担 当教員の変更 (28) 集中 集中 担当教員が退職したため廃
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼8 兼5 兼6 兼 1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) なたがな・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員の変更 (28) 集中 集中 担当教員が退職したため廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる	1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼 *** *** *** *** *** ** ** ** ** ** ** *	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) ねエバス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員が退職したため担 当教員の変更 (28) 集中 集中 担当教員が退職したため廃 止 (28)
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2前	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼 *** *** *** *** *** ** ** ** ** ** ** *	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) ホニペス・共同 共同 数員退職のため担当教員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員の変更 (28) 集中 集中 担当教員の変更 (28) 集中 担当教員が退職したため廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃 止 (28)
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験!ぶろじぇくと	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2前 1·2卷 1·2前 1·2前	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼8 兼6 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) 林二パス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により オ目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員が退職したため担 当教員の変更 (28) 集中 集中 担当教員が退職したため廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃 止 (28)
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「変わりかく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと」をやってみる	1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2前 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			#1 #1 # # # # # # # # # # # # # # # # #	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) 払エバス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員が退職したため担 当教員の変更 (28) 集中 集中 担当教員が退職したため廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃 止 (28)
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験!ぶろじぇくと	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2前 1·2卷 1·2前 1·2前	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			#1 #1 # # # # # # # # # # # # # # # # #	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) ホニペス・共同 共同 製
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験!ぶろじぇくと 感じる・考える・話す アクティブにとらえる現代社会	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2		1			兼1 兼1 兼1 兼8 兼6 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) 林二パス・共同 共同 担当教員退職のため担当教 員数の変更 (28) オリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員が退職したため担当教員の変更 (28) 集中 集中 担当教員が退職したため廃止 (28) 担当教員が退職したため廃止 (28) 担当教員が退職したため廃止 (28) 担当教員が退職したため廃止 (28)
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「変わりかく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと」をやってみる	1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2前 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1			兼1 兼1 兼1 兼8 兼6 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) ホニース・共同 共同 担当教員政更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員が退職したため廃 止 (28) カリキュラムの整備により
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと」をやってみる	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·2前 1·2前 1·2前 1·2前 1·2前 1·2前 1·2前 1·2前	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			#1 #1 #1 #8 #5 #6 #1 #2 #1 #1 ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) 払ニペス・共同 共同 負退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員の変更 (28) 集中 集中 担当教員が退職したため超 当集中 集中 担当教員が退職したため廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃 担当教員が退職したため廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃 上 (28) 担当教員が退職したため廃 上 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験!ぶろじぇくと 感じる・考える・話す アクティブにとらえる現代社会	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2		1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			#1 #1 #1 #8 #5 #6 #1 #2 #1 #1 ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) ホニース・共同 共同 担当教員政更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員が退職したため廃 止 (28) カリキュラムの整備により
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと」をやってみる	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·2前 1·2前 1·2前 1·2前 1·2前 1·2前 1·2前 1·2前	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1			兼1 兼1 兼2 兼4 兼2 兼 兼1 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) 払エベス・共同 共同教員退職のため担当教員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員の変更 (28) 集中 集中 担当教員が退職したためを廃止 (28) 担当教員が退職したため廃止 (28) 担当教員が退職したため廃止 (28) 担当教員が退職したため廃止 (28) 担当教員が退職したため廃止 (28) 担当教員が退職したため廃止 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により カリキュラムの整備により
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 字大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(称冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ぶランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじえくと 感じる・考える・話す アクティブにとらえる現代社会 サイエンスコミュニケーション入門〜理系と文系の壁を超えよう 地域メディア演習 環境マネジメント実践	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼8 ************************************	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) ホニペス・共同 共同 負退職のため担当教 員数の変更 (28) 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員の変更 (28) 集中・※演習 担当教員の変更 (28) 集中 集中 担当教員が退職したため廃 止 (28) 力リキュラムの整備により 科目を追うムの整備により 科目を追加 (28) カリキを追うムの整備により 科目を追加 (29)
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと 感じる・考える・話す アクティブにとらえる現代社会 サイエンスコミュニケーション入門〜理系と文系の壁を超えよう 地域メディア演習	1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·2後 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼8 ************************************	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) 本ニ・ス・共同 共同教員更 (28) 本リキュラムの整備により 利目を追加 (29) 共同・集 (28) 担当教員の変更 (28) 集中 担当教員の変更 (28) 集中 担当教員が退職したため廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃 止 (28) 力リキュラムの整備により 利目を追加 (28) カリキュラムの整備により 利目を追っラムの整備により 利目を追っのといる。
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 字大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(称冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ぶランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじえくと 感じる・考える・話す アクティブにとらえる現代社会 サイエンスコミュニケーション入門〜理系と文系の壁を超えよう 地域メディア演習 環境マネジメント実践	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼8 ************************************	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) 林二パス・共同 共同制要の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 という。 という。 という。 という。 という。 という。 という。 という。
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 字大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(称冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ぶランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじえくと 感じる・考える・話す アクティブにとらえる現代社会 サイエンスコミュニケーション入門〜理系と文系の壁を超えよう 地域メディア演習 環境マネジメント実践	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·2前 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼 1 兼 8 兼 8 ※ * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) 本ニ・ス・共同 共同教員更 (28) 本リキュラムの整備により 利目を追加 (29) 共同・集 (28) 担当教員の変更 (28) 集中 担当教員の変更 (28) 集中 担当教員が退職したため廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃 止 (28) 力リキュラムの整備により 利目を追加 (28) カリキュラムの整備により 利目を追っラムの整備により 利目を追っのといる。
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと 感じる・考える・話す アクティブにとらえる現代社会 サイエンスコミュニケーション入門〜理系と文系の壁を超えよう 地域メディア演習 環境マネジメント実践 宇大生の宇大生による宇大生のための理想の授業	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26		1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1 兼1 兼 1 兼 8 兼 8 ※ * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) 払エベス・共同 共同教員退職のため担当教 員数の変更 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 共同・集中・※演習 担当教員の変更 (28) 集中 集中 担当教員が退職したためめ廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃廃 止 (28) 担当教員が退職したため廃廃止 (28) 担当教員が退職したため廃廃止 (28) 担当教員が退職したため廃廃止 (28) 担当教員が退職したため廃廃止 (28) 担当教員が退職したため廃廃止 (28) カリキュラムの整備により カリキュラムの整備により カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 集中中 カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
	合系科	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB 実践・宇都宮のまちづくり 一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済の仕組み"と "地域金融機関の役割り" 地域金融機関とともに「地方創生」を考える 危機を見つめる力 3.11と学問の不確かさ 食と生命のフィールド実践演習 ボランティアという生き方 男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ 栃木の里山に学ぶ(春夏編) 栃木の里山に学ぶ(秋冬編) ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」 生きるということ 「ぶろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと」をやってみる 体験!ぷろじぇくと 感じる・考える・話す アクティブにとらえる現代社会 サイエンスコミュニケーション入門〜理系と文系の壁を超えよう 地域メディア演習 環境マネジメント実践 宇大生の宇大生による宇大生のための理想の授業	1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2前 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26 1·26		1			兼1 兼1 兼1 兼2 兼1 兼2 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	集中・※講義 カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) ねニペス・共同 共国当教員及変更 (28) 科目を追加 (29) 共国・集中・※演習 担当教員の変更 (28) 担当教員の変更 (28) 集中 担当教員の変更 (28) 集中 担当教員の変更 (28) 集中 担当教員の変更 (28) 集中 担当教員が退職したためめ廃止 (28) 担当教員が退職したため廃廃止 (28) 担当教員が退職したため廃廃廃廃廃止 (28) 担当教員が退職したため廃廃廃廃廃廃廃廃止 (28) 担当教員が退職したため廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃廃

1 1		とちぎ終章学特講	1.2後	1	ĺ	1	I		l]	兼2	共同・※講義
													カリキュラム充実のため担 当教員を追加(29)
		終章を支える社会資源	1・2前		2							兼1	集中
	総												カリキュラムの整備により 科目を追加(29)
	合	とちぎ終章学演習Ⅰ	1・2前		2								共同・※講義
	系 科	とちぎ終章学演習Ⅱ とちぎ仕事学	1·2前 1·2後		2								※講義 カリキュラムの整備により
	目	ソーシャル・イノベーション	1・2前		2							兼1	科目を追加 (29) カリキュラムの整備により
		(社会変革) 概論 地域編集論〜地域振興と情報発信	1・2前		2								科目を追加 (29) カリキュラムの整備により
		とちぎ企業人に学ぶ	1・2後		2								スティュラムの豊偏により 科目を追加 (29) カリキュラムの整備により
I ∟	1	〜業界・仕事・社会〜 キャリアデザイン	1・2・3・4後										科目を追加 (29)
	キ	働くことの意味と実際	1・2・3・4後		2 2							兼2 兼1	共同
	ャ	実践企業人材論	1・2・3・4前		2							兼1	
	リア	起業の実際と理論 先輩に学ぶ	1·2·3·4後 1·2·3·4前		2 2							兼1 兼1	
	創造	企業のグローバル戦略とキャリア形成	1・2・3・4削		2							兼1	
	科目	グローバル時代の企業経営	1・2・3・4前		2								集中
		実践して学ぶミニ農業生産	1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により 科目を追加(29)
		課題発見・解決型インターンシップA	1・2・3・4前		1							兼1	活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
		課題発見・解決型インターンシップ B 課題発見・解決型インターンシップ C	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2 3							兼1 兼1	利目を追加 (29)
		課題発見・解決型インターンシップD	1・2・3・4前		4							兼1	
		課題発見・解決型インターンシップ 課題発見・解決型インターンシップ	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1							兼1	活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
		課題発見・解決型インターンシップ 課題発見・解決型インターンシップ	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2 3							兼1 兼1	科目を追加(28) カリキュラムの整備により
		課題発見・解決型インターンシップ	1•2•3•4前		4								科目を廃止 (29)
基盤		キャリア形成に資する活動A キャリア形成に資する活動B	1・2・3・4前		1 2							兼1 兼1	活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
キャ		キャリア形成に資する活動C	1・2・3・4前		3							兼1	科目を追加(29)
リア		キャリア形成に資する活動D	1・2・3・4前		4							兼1	
基教		キャリア形成に資する活動 キャリア形成に資する活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 2							兼1 兼1	活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
育科日	-6-	キャリア形成に資する活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		3								科目を追加(28) カリキュラムの整備により
育科	自由	キャリア形成に資する活動	1•2•3•4前		4							兼1	科目を廃止(29)
目	科目	社会奉仕活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 2							兼1 兼1	
		社会奉任活動	1 * 2 * 3 * 4前		3							兼1	科目を廃止 (28)
		社会奉仕活動	1•2•3•4前		4							兼1	
		国際協力活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 2								活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
		国際協力活動	1·2·3·4前		3							兼1	科目を廃止 (28)
		国際協力活動	1·2·3·4前		4							兼1	9 40 H0 BB) - 1 10 W (4 - 27 - 4-
		実務体験活動 実務体験活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 2								活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
		実務体験活動	1•2•3•4前		3							兼1	科目を廃止 (28)
		実務体験活動	1・2・3・4前		4							兼1	9 41 Halle) - 1 10 W H-27 da
		特別体験活動特別体験活動	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 2							兼1 兼1	活動期間により単位認定 カリキュラムの整備により
		特別体験活動	1•2•3•4前		3							兼1	科目を廃止 (28)
I <u>L</u>		特別体験活動 アカデミック・ジャパニーズ	1*2*3*4前		4							兼1	J
			1前 1前		1							兼1 兼1	カリキュラムの整備により
	留 学	日本語アカデミック・ライティング	1後		1							兼1	科目を追加(28)
	生日	日本語アカデミック・リーディングⅡ	1.2.3.4後		1								カリキュラムの整備により
	本 語	日本語アカデミック・プレゼンテーション	1.2.3.4後		1							兼1	科目を追加(28)
	和 目	科学技術のための専門日本語	1・2・3・4前		1							兼1	
		人文社会系のための専門日本語 日本事情	1·2·3·4前 1·2·3·4前		1 2							兼1 兼1	
		地域デザイン学序論A	1前	2									オムニハ・ス
		MILE STATE OF THE											カリキュラム充実のため担 当教員を変更(29)
	専	地域デザイン学序論 B	1後	2								兼13	オムニバス 担当教員退職のため内容を
	· 門 導												変更,担当教員を変更 (29)
	入科	地域デザイン学序論C	1後	2			5	4 5		1			************************************
	目												当教員を追加 (29) 担当 藤倉 修一 (准教
													授)
													平成28年12月 教員審査済 判定 可

	社会基	必修科目	公共経済学	2前	2						コミュニティデザイン学科 の留意事項に対応するため 内容を変更(28)
専門教	盤デザィ		社会福祉学概論	1前 1後		2					コミュニティデザイン学科 の留意事項に対応するため 配当年次,担当教員を変更 (29)
育	_		生物多様性論	1後		2				兼1	
科目	学科	八科	農村マネジメント	2前		2					※演習
П	専	目	文化マネジメント	2後		2					※演習
	門		地域史	2後		2				兼1	
	科		地方自治論	3前		2				兼1	
	目		環境・資源経済学	3後		2				兼1	

- (注)・設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更さ れているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前) についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え 消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	設置時	の計画				状況		備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計)佣行
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
11	262	0	273	11	323	0	334	
				[0]	[61]	[0]	[61]	

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
 - ・資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	該当なし						
2							
3							

- 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - 教職大学院の場合は,「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	器楽合奏概論	2		1・2後	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
2	生きるということ	2		1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(28)
3	「ぷろじぇくと」をやってみる	1		1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(28)
4	体験!ぷろじぇくと	2		1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(28)
5	感じる・考える・話す	2		1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(28)
6	アクティブにとらえる現代社会	2		1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止 (28)
7	社会奉仕活動	1		1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
8	国際協力活動	1		1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
9	実務体験活動	1		1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
10	特別体験活動	1		1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
1 1	Overseas Study A	1.2.3.	4	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
1 2	Overseas Study B	1.2.3.	4	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
1 3	Overseas Study C	1.2.3.	4	1.2.3.4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
1 4	Overseas Study D	1.2.3.	4	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
1 5	心理学と人権	2		1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(29)
1 6	日本語の表記	2		1・2前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
17	声のトレーニング	2		1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止(29)
18	微生物の化学	2		1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止 (29)
1 9	ウイルスの世界と生物の世界	2		1・2前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
2 0	課題発見・解決型インターンシップ	1.2.3.	4	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)
2 1	キャリア形成に資する活動	1.2.3.	4	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止 (29)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周 知方法」を記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

28年度に廃止となった番号7~10の科目は、現状に見合った活動である「課題発見・解決型インターンシップ」及び「キャリア形成に資する活動」として、29年度に廃止となった番号11~14の科目は「Study Abroad A~D」、番号20・21の科目は「課題発見・解決型インターンシップA~D」及び「キャリア形成に資する活動A~D」として科目を新設したため、教育の質は 確保できており、それ以外の科目については、一般教養科目に位置づけられている科目であり履修上の影響はないと考える。 なお、学生に対しては、履修案内・シラバス等において、開講科目を周知している。

- (注) 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周 知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計 0.07 設置時の計画の授業科目数の計

- 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。 「未開講科目と廃止科目の計」が「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

2 授業科目の概要

<地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科>

(1) 授業科目表

		/ 1	受業科目表			単位数	[専任者	対員等の	の配置			
科	目区	分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助		備考
			228112 - 20		修	択	由	授	教 授	師	教	手		•••
	入科	TVJ	新入生セミナー	1前	2	<i>y</i> \		5	4			,		オムニバス・※演習
	目													
	リララシー 科目	ランド	情報処理基礎	1前	2			1	1		2 4			オムニバス・共同 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 松本 美紀 (助教) 平成28年12月 教員審査済 判定 可 也当 NGUYEN MINH HAI (助教) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
基船	人文科学	文 域総合	社会言語学概論-日本語の変遷-	1・2前		2							兼1	
教育科	自然		電気電子数学入門	1•2前		2							兼1	※講義
目	科学系科目	域情報科学	グラフィックス入門	1・2後		2							兼1	
-	総 合 系	7 4	ものづくり体験	1.2後		2							兼2	共同
•	基盤キャ		人間と社会	1・2・3・4前		2							兼1	
	・リア教育科	造 科	より良く生きる	1・2・3・4前		2							兼3	オムニハ・ス
	Ħ	目	地域デザイン訪問	1通	2			3					兼6	オムニバス・共同
			地域の姿と課題 I	1前	1				1					カリキュラム充実のため担 当教員を追加(29) オムニバス・共同
			地域コミュニケーション演習	1前	1				2				兼10	
	共通専門科目	必	地域プロジェクト演習	3通	2			5	4		3			共同 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 租当 NGUYEN MINH HAI (助教) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
			地域デザイン倫理	3後	2			4						オムニハ゛ス
		選	GIS演習	2後		1					1		兼2	オムニハ゛ス
専			地域の姿と課題Ⅱ	3前		1		1	2					オムニハ゛ス
門教		目	ワークショップ演習	3前		1								共同
育科目	社会基盤デザイン学科専門科目	必	社会基盤解析法Ⅱ	1前	2			1	1		1			水か、ス・共同・充業 カリキュテート カリキュテート (29) 担当 池田 谷教授) 平成28年12月 利定 可 ・ 一、大学 ・ 一、一 ・ 一、一、一 ・ 一、一 ・ 一 一 一 ・ 一 一 一 ・ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

		応用力学序論	1後	2	I		1	l	ĺ	Ī	1
		構造力学 I	2前	2		1					
		水理学 I	2前	2		1					
		土質力学 I	2前	2			1				
		土木計画学	2前	2					1		
		コンクリート工学Ⅰ	2前	2		1					
		測量学	2前	2			1				
		社会調査法	2後	2		1					※演習
		構造力学Ⅱ	2後	2		1	1				カリキュラム整備のため担
											当教員を変更(29) 担当 藤倉 修一
											平成28年12月 教員審査済 判定 可
		水理学Ⅱ	2後	2		1					
		土質力学Ⅱ	2後	2			1				
		鉄筋コンクリート工学	2後	2			1				
		防災マネジメント I	2後	2			1				
		海外プロジェクトI	2後	2		1					
		測量学実習	2通	3					1		
		海外プロジェクト演習	3前	1		1			1		共同 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 松本 美紀 (助教) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
社会基盤デ	必修科目	社会基盤設計演習	3後	1		4	2 3		1 2		ガル リ オムニバス・共同 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 藤倉 修一 (准教 授) 平成28年12月 教員審査済
門教育科目		性パーランプノントが取	0.30	i							判定 可 担当 NGUYEN MINH HAI (助教) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
科目		防災マネジメント演習	3後	1			1		1		カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 松本 美紀 (助教) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
		社会基盤インターンシップ	3通	1			1				
		土木工学実験	3通	2		1	3		1 2		共同 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 藤倉 修一 (准教 授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可 担当 NGUYEN MINH HAI (助教) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
		卒業研究	4通	8		5	4 5		2 4		カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 藤倉 修一 (准教 授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可 担当 松本 美紀 (助教) 平成28年12月 教員審査済 判定 可 担当 NGUYEN MINH HAI (助教) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
		公共政策入門	1前		2					兼1	
		地域資源論	1後		2					兼1	
	選択	まちづくり論	1後		2					兼1	
	科目	高齢社会学	1後		2					兼1	
		まちづくり特講	2後		2					兼7	オムニバス・※演習
	1	観光地理学	3前		2					兼1	

		構造工学I	3前	1	2	1	1		ı	カリキュラム整備のため担
		1件但工于 1	281		2	+	1			当教員を変更 (29)
										担当 藤倉 修一(准教 授)
										平成28年12月 教員審査済 判定 可
										判定 円
		流域環境学 I	3前		2	1				
		衛生工学	3前		2	1				オムニハ゛ス
					2					
		交通計画	3前			1				
		都市計画	3前		2	1			兼1	オムニハ゛ス
		防災マネジメントⅡ	3前		2		1			
		土木工学通論	3前		2		1		兼4	オムニハ゛ス
		公共マネジメント	3前		2				兼1	
ł	生	地域生態学	3前		2				兼1	
車	会基盤デース	NPO論	3前		2				兼1	
門	デ ザ イ 関 択	流域環境学Ⅱ	3後		2	1				
専門教育科	ザイン学科選択科目	土質基礎工学	3後		2		1			
目 1	科 事 明	地質工学	3後		2				兼2	オムニハ゛ス
1	pi 目	地区計画	3後		2			1	兼1	オムニハ゛ス
		コンクリート工学Ⅱ	3後		2	1				
		海外プロジェクトⅡ	3後		2	1				
		プロジェクト評価論	3後		2				兼1	
		高齢者防災論	3後		2				兼1	
		地域環境エネルギー計画	3後		2				兼1	
		財政学	3後		2				兼1	集中
		景観解析	3後		2				兼1	集中
		社会統計学	4前		2				兼1	コミュニティデザイン学科
										の留意事項に対応するため 内容を変更 (28)
		構造工学Ⅱ	4前		2	1				
		国土計画	4前		2				兼2	オムニハ゛ス
		工業日本語基礎I	3前		1				兼1	留学生対象科目
		工業日本語基礎Ⅱ	3後		1				兼1	留学生対象科目
		工業日本語応用	4通		2				兼1	留学生対象科目

- (注)・設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更さ れているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で,専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては,「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には,「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前) についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え 消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科日数

<u>(</u> (<u> </u>	<u> </u>							
	設置時	の計画			変更	状況		備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計)用行
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
30	42	0	72	30	42	0	72	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を

記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし			
(:4)	선사되다 + 田井고나호	ramana.	TL 70 「半井。 /

- 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生へ6 知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	_	0	
設置時の計画の授業科目数の計	_	U	

- 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。 (注) •
 - 「未開講科目と廃止科目の計」が「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分						内							容					備考
(1)		区	分	,		専		用		共	用			:用する !校等の				計	-		
	ħ	交 舎	· 敷 b	也			21	17, 267㎡				m²		12.17.07	4713	m²			217,	267m	
校		運動	場用地	<u>b</u>			12	25, 768m²				m ²				mÎ			125,	768m	- 大学全体 パ その他につき、過小
地		/ \	Ē	t			34	43, 035 m²				m²				m²			343,	035m	- 計上(2,820㎡増加) プログラリ払い(1,057
等		そ	の他	<u>ե</u>				76, 487㎡ 78, 250㎡				mÎ				mÎ				487 m 250 m	
-		合	Ē	t				19, 522㎡ 21, 285㎡				m²				m²				522 m 285 m	
						専		用		共	用			用する 校等の			計 114 764m				
(2) 校			舎					14, 764㎡ 13, 770㎡				0m²			(0m ^{114, 764} r 113, 770n			114, 113,	 大学全体 誤記による修正(29)	
						((113,	120m²)	(0m ^f)	(0m²	nÎ)		(11	13, 12	20m²)	
				講	義	室		演習	室室	1	実験	実習:	室	情報処	処理学習施設		ž	吾学学	学習旅	色設	
(3) 教	至	2	等			7.5			7	4 室		28	8 4 室			153	室			7室	大学全体 誤記による修正(29)
						8 5	室			• —		_ `	3 T	(補助	職員	8人	(補具	力職員	į	0人)
(4) 専	任教員	研究	室					新設学部	等の名	名称					室		娄	X			
				<u> </u>			ᅿ	地域デザィ	イン科	学部	学部		1		4	1				室	
	≠c ≘£	学音	収生	2	_	書		学術	雑誌	г				視聴覚	資料	機柄	城・器具	Į	標	本	学部単位での特定不
(5)		2子6		〔う	ち外国			〔うちタ	十国書		電子ジー										能なため、大学全体 の数
						642, 6	∰ 305			種	〔うちタ	水国?	書〕		点		J	点		点	i <u> </u>
					-[14	8, 532 640, 3	2]_	10, 574 12, 249			6, 841 5, 863				5, 263 5, 282		15, 52	29		(
	地域デサ	ザイン	/科学部			7, 521		12, 210	(0, 2	10)	0,000	ξυ,	200)		0, 202						
図書						3, 532〕) 7, 521〕)		(10, 574 (12, 249			(6, 841 (5, 863				(5, 263) (5, 282)	(1	5, 529)		(0))	
• 設				(040, 0				(12, 249	(3, 21	((01	(0, 603	ξθ,	230))		0, 202)						28年度購入及び不要本の除却等にて増減(29)
備					-[14	642, 6 8, 532 640, 3	2)_	10, 574 12, 249			6, 841 5, 863				5, 263 5, 282		15, 52	29		(
		計				7, 521		12, 249	ξ3, 2	נסו	5, 603	Ĺΰ,	200)		5, 202						
						3 , 532]) 7, 521])		(10, 574 (12, 249			(6, 841 (5, 863				(5, 263) (5, 282)	(1	5, 529)		(0))	
					面						閲覧層				収	é.h		Δ۲.	₩	数	大学全体
(6) 図	書	i	館		ഥ			積 8, 518			見 見 1	坐 冼	5 3 X	743	ЧΧ	納	可	能		蚁 31, 721	総合メディア基盤センター専有部分を控
					面			8, 040 積)m [*]			休育	を合いな		ポーツ旅	記 の	柳亜		00	71, 721	除 (29)
								18	計	t道館(870m²)	m H	1 40 %/		陸上競						
(7) 体	音	ī	館						H	球場 2					サッカ			一場	1 面		_ 大学全体
,	13		20					3, 366	m² —		- <u>-</u> ⊐-⊦9i	面			プール				<u> </u>		
									F							,	,				_
			Þ	<u>.</u> ζ	分		開	設年度	完月		区		分	開設前	有年度	開	設年度		完成	年度	
(8)	の		教員 1	人当り	研究	費等		千円		千日	円 図書	講り	入費		千円		千日	7		千円	1
経費の 積り及)兄	IJ-	共 同	研 3	そ 費	等		千円		千F	円 設備	請購え	入費		千円		千日	၂		千円	1
維持方の概	法一		人当	第	1 年次	Į.	Î	第2年次		第 3	年次		第4年	次	第	5 年》	欠	第	6年	次	
UNI CO		り 納付				千円		Ŧ	円		千円			千円			千円			千円	ı
	学	生紀	讷付金																		

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、そ 理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	宇	都	宮	大 学										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定	学員	編入学 定 員	収定	容員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設年 度	月	斤 右	E	地	
	年		人	年次		人		倍						
				人										
地域デザイン科学部				3年次					平28		県宇		市	
コミュニティデザイン学科	4		50	0		200	学士(コミュニティデザイン学)	1. 08		陽東	₹7−1	-2		
建築都市デザイン学科	4		50	3		206	学士 (工学)	1.04						
社会基盤デザイン学科	4		40	3		166	学士(工学)	1.06						
国際学部				3年次			学士(国際学)		平6	栃オ	県宇	都宮	市	
国際学科	4		90	10		380		1. 12		峰田	7350			平成29年度より学生募集開始
国際社会学科	4	_		_	_			_						平成29年度より学生募集停止
国際文化学科	4	_		_	_			_						平成29年度より学生募集停止
教育学部							学士(教育学)		昭24	栃オ	県宇	都宮	市	
学校教育教員養成課程	4		170			680		1. 02		峰田	7350			
総合人間形成課程	4		_			-		_						平成28年度より学生募集停止
工学部				3年次			学士(工学)		昭39	栃オ	県宇	都宮	市	
機械システム工学科	4		79]	316			1. 03		陽東	₹7−1	-2		
電気電子工学科	4		79		316			1.04						
応用化学科	4		83	26	332	52		1.03						
情報工学科	4		74		296			1.04						
建設学科	4		_			_		_						平成28年度より学生募集停止
農学部				3年次			学士(農学)		昭24	栃オ	県宇	都宮	市	
生物資源科学科	4		63	7	252]		1. 02		峰田	Ţ350			平成25年度より学生募集開始
応用生命化学科	4		32		128			1.02						平成25年度より学生募集開始
農業環境工学科	4		32	18	128	36		1.06						
農業経済学科	4		36		144			1.06						
森林科学科	4		32		128			1. 07						
生物生産科学科	4		_			_		_						平成25年度より学生募集停止

大学の名称	宇	都	宮	大 学	大	学	·····································							備考
 既設学部等の名称	修業 年限	入		編入学 定 員	収定	容品	学位又 は称号	平均定員 超過率	開設年度	Ē.	<u></u>	在	地	
	年底	定	<u>員</u>	<u>定 員</u> 年次	疋	<u>員</u> 人	はかち	倍	- ^~					
	'		•	人		•								
 国際学研究科									平11	栃オ	木県⁻	宇都	宮市	
博士課程前期							修士(国際学)			峰田	T350)		
国際社会研究専攻	2		10			20		0.60						
国際文化研究専攻	2		10			20		0. 75						
国際交流研究専攻	2		10			20		1. 40						
博士後期課程							博士(国際学)							
国際学研究専攻	3		3			9		1. 22						
									昭59	栃オ	木県写	宇都	宮市	
修士課程							修士(教育学)			峰田	T350)		
学校教育専攻	2		25			50		0.86						
特別支援教育専攻	2		_			_		_						平成27年度より学生募集停止
カリキュラム開発専攻	2		_			_		_						平成27年度より学生募集停止
教科教育専攻	2		_			_		_						平成27年度より学生募集停止
専門職学位課程							教職修士(専門職)							
教育実践高度化専攻	2		15			30		1. 13						平成27年度より学生募集開始
工学研究科									昭48	栃オ	木県⁵	宇都	宮市	
博士前期課程							修士(工学)			陽耳	東7-	1-	2	
機械知能工学専攻	2		37			74		1.19						
電気電子システム工学専攻	2		37			74		1. 15						
物質環境化学専攻	2		42			84		1.07						
地球環境デザイン学専攻	2		33			66		1. 04						
情報システム科学専攻	2		38			76		1. 23						
先端光工学専攻	2		25			50		1. 34						平成27年度より学生募集開始
学際先端システム学専攻	2		_			_		_						平成27年度より学生募集停止
博士後期課程							博士(工学)							
システム創成工学専攻	3		30			90		0. 51						
情報システム科学専攻	3		_			_		_						平成20年度より学生募集停止
農学研究科									昭41	栃オ	木県⁵	宇都	宮市	
修士課程							修士(農学)			峰田	T350)		
生物生産科学専攻	2		41			82		1.03						
農業環境工学専攻	2		12			24		0. 70						
農業経済学専攻	2		8			16		0. 31						
森林科学専攻	2		10			20		0. 65						

- | 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C 対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 ・A C 対象学部等についても必ず記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り指で、を記入してください。・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科>

(1) 担当教員表

		<u>教貝表</u> 設置	時 の 計	- 画			変	更 状	況	
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職位	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職位	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
專	教授	塚本 純	平成28年4月	地域プロジェクト演習 地域社会総論※ 経済学概論 経済学概論 経済な策論 コミュニティデザイン演習(経済 安葉研究準備演習 卒業研究準備演習 ウェレクション 地域デザイン学序論A※					経済政策論 コミュニティデザイン演習(経済 政策分野) 卒業研究準備演習 卒業研究 単位を主要研究 単位を主要研究 単位を主要研究 単位を主要研究 単位を主要研究 単位を主要研究 単位を主要の表示を主要を表示 を表示を主要を表示を主要を表示を主要を表示を主要を表示を主要を表示を主要を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を主要を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	留意事項に対応するため配 当年次及び内容を変更 (28) 担当 塚本 純 (教授) 平成28年2月 教員審査済 判定 可 報意事項に対応するため科 目を追加 (28) 担当 塚本 純 (教授) 平成28年2月 教員審査済 判定 可 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 塚本 純 (教授) 平成28年2月 教員審査済
専	教授	中島 望	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域プロジェクト演習 地域社会論※ 文化マネジメント演習 コミュニティデザイン演習 コミュニティデザイン演習 コミュニティデザイン演習 ローション 中本薬研究 リフレクション 生活美学 地域デザイン学序論 A ※					地域デザイン訪問※ 地域プロジェクト演習 地域対会総論※ 文化マネジメント演習 コミュニティデザイン演習 マネジメント分野う を楽研究準備演習 卒業研究 リフレクション 生活美学 地域デザイン学序 論A※ 新入生セミナー	判定 可 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 中島 望 (教授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
專	教授	中村 祐司	平成28年4月	地域の姿と課題I ※ 地域の姿と課題I ※ 地域の姿と課題I ※ 地域プロジェル ※ 選習 地域社会総論等 ※ 生まちづく 動物 ※ ※ 地域社会総論等 ※ ※ 本の ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※					地域の姿と課題 I ※ 地域の姿と課題 I ※ 地域の姿と課題 I ※ 耐地域 対立	カリキュラム充実のため担 当数員を追加 (29) 担当 中村 祐司 (数授) 平成28年12月 数員審査済 判定 可
専	教授	原田 淳	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域でフロジェスト 地域では一点では 地域を発験が表 まちづくり特講が、 農村マネジメントが野り 卒業研究準備演習 卒業研究準備演習 卒業研究準 前報処理基礎 農業経覚、大学・ 地域デザイン学序論A※					地域コミュニケーション演習 地域プロジ総論※ またづくり特講※ 農村セネジメント 農村レス・シース・カーラー 東村を東京・アザイン演習(農村 マネジメント分野) 卒業研究準備演 ウース・ジャース・ファー 情報処理基礎門 康楽経賞入門 地域デザイン学序論 A ※ 新入生セミナー	カリキュラム充実のため担 当数員を追加 (29) 担当 原田 淳 (教授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
専	教授	髙橋 俊守	平成28年4月	GIS演習※ 地域プロジェクト演習 地域プロジェクト演習 地域社会総論※ まちづくり特講 地域性態学 コミュニティデザイン演習(地域 生態学分野) 空楽研究 リクション 新入生セミナー 地域デザイン学序論 A※						

専	教授	大森 玲子	平成28年4月	地域プロジェム 地域社会総論深 まちづくり特講 食食で 自食変源活用実習サイン演習(食生 活学分野) 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクショナー 地域デザイン学序論A※				
専	准教授	阪田 和哉	平成28年4月	地域デザインおり (公共 と			公共経済学 公共マネジメント プロジュクト評価論 コマネデザイン演習 (公共 マネジメント分野) マネジメント分野) 辛卒の完準備演習 辛卒リカルクション 地域デザイン学序論 A ※ 統計学基礎※ 新入生セミナー	留意事項に対応するため内容を変更(28) 担後) 平成28年8月 和裁(准教 担後) 平成28年8月 教員審査済 別定 可 留意事項に対応するため内容を変更(28) 担当 阪田 和裁(准教 授) 平成28年2月 教員審査済 間意事項に対応するため内容を変更(28) 担当 下 教員審査済 関係 和裁(推教 程度) 下 和表(推教 程度) 下 和裁(推教 程度) 下 和表(推教 程度) 下 和表(推教 程度) 下 和表(在述 程度) 下 和述(在述 程度) 下 和表(在述 程度) 下 和述(在述 程度) 下 和述(证 程度) 和述(证 程度) 和述(证 程度) 和述(证 程度) 和述(证 程度) 和证 程度) 和述(证 程度) 和述(证 程度) 和证 程度) 和述(证 程度) 和述(证 程度) 和证 程度) 和述(证 程度) 和证 程度) 和证 程度) 和述(证 程度) 和证 程度) 和证 程度) 和述(证 程度) 和 程度) 和证 程度) 和证 程度) 和证 程度) 和述(证 程度) 和证 程度) 和证 程度) 和证 程度) 和证 程度) 和证 程度) 和证 程度) 和证
専	准教授	石井 大一朗	平成28年4月	地域コミュニケケション演習 ワークション演習 リークションで演習 地域プロジェルで 対した。 地域が会総論 まちづくり特請 まちづくり特請 注社会調査 まとので 主会調査 エトアの一 のアデザイン演習 (まち で来研究準備演習 リフレクショ学 ド論A ※			地域コミュニケアション演習 フーターション演習 アータション 高 アーターション 海 アーターション	カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 石井 大一朗 (准教 授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
専	准教授	三田 紀路佳	平成28年4月	地域の姿と課題 I ※ 地域プロジェクト 地域プロジェクト 海習 地域大会総論※ 公共政策為門 政治過程論 コ京分野) か国語子が野神子 が国語で表演 が関語で表演 が関語で表演 が関語で表演 が関語である。 がである。 がでる。 がである。 がでる。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がでる。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がでる。 ・ がでな。 がでる。 がでる。 がでる。 がでる。 がでる。 がでる。 がでる。 がでる。 がでる。			新入生セミナー	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 担当 三田 妃路佳 (准教 授) 平成28年12月 教員審査済 利定 可 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 1当教員を追加 (29) 投) 平成28年12月 教員審査済 利定 可 利定 可 知度等金済

専	准教授	若圏 雄志郎	平成28年4月	ワークショックを演習 地域プロジョックト 演習 地域プロジェニンクト 演習 地域社会総論※ ソーシャルスキル域 寶習 社会調査と出意論 多文化理解論 ラミュニティ ザイン 演習 (社会 李楽研究 側 漢習 マ楽研究 リカラの裏側と社会 神域デザイン学序論 A ※					ワークショップ(カランター) フークショップ(大学) では、アンダンの (大学) では、	カリキュラム充実のため担 当数員を追加 (29) 差数員を追加 (29) 投) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
専	准教授	中川 敦	平成28年4月	地域コミュニケブション演習ワークションででは ワークションで入りでは 地域プロションで入りでは 地域プロションで入りでは 地域プロションで入りで 地域プロションを 地域プロションを 海船社会総 海船社会会学 四ミュニティイン 社会学分野) 社会学分野の 神演習 卒業研究 リフレシシー シン ともぎ終章学特講 地域デザイン 地域アイン にない にない にない にない にない にない にない にない					新入生セミナー	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) 担当 中川 教 (准教授) 平成28年5月 教員審査済 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 中川 教 (准教授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
専	准教授	白石 智子	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域プロジェクト演習 地域社会論※ ソーシャルスキル演習 地域実践心理学 ストレスマネジメント コミュニティデザイン演習(心理 学分野) 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション パーソナリティ心理学概論 地域デザイン学序論 A ※					地域コミュニケーション演習 地域プロジェクト 連域社会総論※ ソーシャルスキル演習 地域実践心理学 ストレスマネジメント コミュニティデザイン演習 (心理 学分野) 卒業研究 リフレクション パーソナリティ心理学概論 地域デオイン学序論 A※ 新入生セミナー	カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 白石 (菅村) 智子 (准教授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
専	講師	鈴木 富之	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域デロジェクト 地域社会総論※ まちづくり特請※ 社会調査室Ⅱ 観光地理学 国ミュニテョイ・デザイン演習(観光 地理学学ニテ野) (観光・地理学 電子・デザイン演習(観光 中で業研究準 順次で東京・デザイン演習 リフレセミナー 地域デザイン学序論A※					地域デザイン訪問※ 地域デブロジ誌論※ はまらづくり特請※ 社会調査室Ⅱ 観光地理学 国コミュニテラテリ 演習 ・地域社会機能論 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) 担当 鈴木 富之 (講師) 平成28年8月 教員審査済 判定 可
兼担	教授	三橋 伸夫	平成28年10月	希望の地域社会論※	専	講師助教	呉 世雄	平成28年10月	福祉学分野) 地域プロジェクト演習 とちご終章学特議 社会調査実習 II ※ 卒業研究準備演習 リフレクション 新入生セミナー 希望の地域社会論※	カリキュラム充実のため科目を追加 (29) 担当 呉 世雄 (講師) 平成28年12月 教員審査済 判定 可 カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 呉 世雄 (講師) 平成28年12月 教員審査済 判定 可 平成29年3月 三橋伸夫教授退職のため担
N/15	2018	(高)	, MASO T 10/7	地域デザイン学序論B※	Mikita	-5/1-EA		1 MASO T 1/1	地域デザイン学序論B※	当教員の変更

兼担	教授	中島 章典	平成28年10月	地域デザイン倫理※						
兼担	教授	郡 公子	平成28年10月	地域デザイン学序論C※ 地域デザイン学序論B※						
兼担	教授	安藤 益夫	平成29年4月	地域社会学					地域社会学 世界の農業	カリキュラムの整備により
兼担	教授	田巻 松雄	平成28年10月	現代日本社会論 社会学入門 グローバル化と外国人児童生徒教育※						科目を追加(28)
兼担	教授	山岡 暁	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域デザイン学序論C※ 地域の姿と課題Ⅱ※						
兼担	教授	藤原 浩巳	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域デザイン倫理※ 地域デザイン学序論 C ※						
兼担	教授	池田 裕一	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域デザイン倫理※ 流域環境学 I 地域デザイン学序論 C ※						
				地域ケッイン子庁舗し公					社会福祉入門 災害復興学入門	
兼担	教授	長谷川 万由美	平成28年4月	社会福祉学概論 地域福祉論【隔年】 社会福祉入門 災害復興学入門 3.11と学問の不確かさ※	専	講師	呉 世雄	平成28年10月	3.11と学問の不確かさ※ ボランティアという生き方 社会福祉学概論	カリキュラムの整備により科目 を追加(29) 留意事項に対応するため科 目区分を必修に変更、配当 年次を変更、担当教員を変 更(29) 担当、呉 世雄
					兼担	講師	永島 徹	平成28年4月	地域福祉論	平成28年12月 教員審査済 判定 可 留意事項に対応するため毎 年開講へ変更,担当教員の
兼担	教授	増田 浩志	平成28年10月	地域デザイン学序論B※						変更 (29)
兼担	教授	中島 史郎	平成28年10月	地域の姿と課題Ⅱ※ 地域コミュニケーション演習 地域デザイン学序論B※						
兼担	教授	杉山 央	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域コミュニケーション演習 地域デザイン学序論B※						
兼担	教授	大森 宣暁	平成28年10月	地域デザインギデ細B※ 地域デザイン倫理※ 都市計画※ 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論C※					地域デザイン倫理※ 都市計画※ 希望の地域社会論※	平成29年3月 三橋伸夫教授退職のため担 当教員の変更,カリキュラ ム充実のため内容を変更 (29)
兼担	准教授	佐々木 英和	平成28年4月	生涯学習概論					地域デザイン学序論C※	
兼担	准教授	清木 隆文	平成28年4月	社会教育計画Ⅱ 地域コミュニケーション演習						
兼担	准教授	古賀 誉章	平成28年10月	地域デザイン学序論C※ ワークショップ演習 高齢者防災論 地域デザイン学序論B※					ワークショップ演習 高齢者防災論 地域デザイン学序論B※	平成29年3月 三橋伸夫教授退職のため担 当教員の変更、カリキュラ ム充実のため内容を変更 (29)
兼担	准教授	丸岡 正知	平成28年10月	地域デザイン学序論C※						
兼担	准教授	加藤 弘二	平成28年4月	ミクロ経済学 環境・資源経済学 数理経済学入門						
兼担	准教授	西尾 孝佳	平成28年4月	生物多様性論 人と自然の共生を考える 生物の多様性とは何か 雑草観察入門 野外調査論 雑草と里山のフィールド演習Ⅱ						
兼担	准教授	小原 一馬	平成28年10月	社会調査法 社会学概論 遊びの理論とゲーム開発 グローバル化と外国人児童生徒教 育※						
兼担	准教授	横尾 昇剛	平成28年10月	ワークショップ演習 地域デザイン学序論B※	兼担	教授	横尾 昇剛	平成29年4月	ワークショップ演習 地域デザイン学序論 B ※ 環境マネジメント実践	担当教員の職位を変更 (29) カリキュラムの整備により科目
兼担	准教授	安森 亮雄	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域ゴミュニケーション演習 ワークション演習 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論B※					地域デザイン訪問※ 地域コミュニケーション演習 ワークショップ演習 希望の地域社会論※	を追加(29) 平成29年3月 三橋伸夫教授退職のため担当教員の変更、カリキュラム充実のため内容を変更 (29)
34.I-	VII. 401. 1-	髙山 慶子	The books of	地域史				1	地域デザイン学序論 B ※	
兼担	准教授准教授	中野 達也	平成28年10月	歴史と文化 地域の姿と課題Ⅰ※ 地域の姿と課題Ⅱ※						
水坦	1出叙[交		平成28年4月	教養物理※ 地域デザイン学序論 B ※					G I S演習※ 都市計画※	
兼担	准教授	佐藤 栄治	平成28年10月	GIS演習※ 都市計画※ 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論B※					希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論B※	平成29年3月 三橋伸夫教授退職のため担 当教員の変元 カリキュラ ム充実のため内容を変更 (29)
兼担	准教授	近藤 伸也	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 防災マネジメント I 地域デザイン学序論 C ※ 地域の姿と課題 II ※						
兼担	准教授	海野 寿康	平成28年4月	地域の姿と課題Ⅰ※ 地域の姿と課題Ⅱ※ 地域デザイン学序論C※						
兼担	准教授	藤本 郷史	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域ゴミュニケーション演習 地域デザイン訪問※ 地域デザイン学序論B※			歩 ム ル			411×_=>) ******
		黒川 亨子		日本国憲法	兼担	准教授	藤倉 修一	平成28年4月	地域デザイン学序論C	カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29)
兼担	講師	ポ/リ ブブ	平成28年4月	古本国憲法 法学概論						

兼担	助教	長田 哲平	平成28年10月	G I S演習※ 地区計画 希望の地域社会論※					GIS演習※ 地区計画 希望の地域社会論※	平成29年3月 三橋伸夫教授退職のため担 当教員の変更,カリキュラ ム充実のため内容を変更 (29)
兼担	助教	糸井川 高穂	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域デザイン学序論 B ※	兼担	助教	糸井川 高穂	平成28年4月	地域コミュニケーション演習地域デザイン学序論 B ※環境マネジメント実践	カリキュラムの整備により科目 を追加(29)
兼担	助教	飯村 耕介	平成28年10月	地域デザイン学序論C※						E 12711 (23)
兼担	助教	中島 昌一	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域デザイン学序論B※						
				7. 2. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 1 Min — 74.	兼担	助教	NGUYEN MINH HAI	平成28年4月	地域プロジェクト演習	カリキュラム充実のため担 当教員を追加(29)
					兼担	助教	大嶽 陽徳	平成28年4月	地域デザイン訪問 地域プロジェクト演習	カリキュラム充実のため担 当教員を追加(29)
兼任	講師	吉村 均	平成30年4月	倫理学概論						
兼任	講師	渡部 勇	平成29年10月	統計学基礎					統計学基礎※	留意事項に対応するため内容を変更,担当教員の追加(28)
兼任	講師	石川 裕一郎	平成28年4月	憲法 日本国憲法						
兼任	講師	高山 範理	平成30年10月	景観解析						
									地域福祉の実際	カリキュラムの見直しによ り科目を廃止 (29)
兼任	講師	永島 徹	平成28年4月	地域福祉の実際 地域デザイン学序論 A ※	専	講師	呉 世雄	平成28年10月	地域デザイン学序論A※	カリキュラムの充実のため 担当教員を変更 (29) 担当 呉 世雄 平成28年12月 教員審査済 判定 可
兼任	講師	上田 孝典	平成30年4月	社会教育計画 I						
兼任	講師	杉田 明子	平成29年10月	民法						
兼任	講師	岡田 順太	平成30年10月	都市計画法						
兼任	講師	高橋 信行	平成30年4月	行政法						
兼任	講師	坂本 直樹	平成30年10月	財政学						

- (注)・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

 - 放直計回音の様式気の方にての2の1/15年して下級しているという。
 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 年齢は、「<u>設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢</u>を、「<u>変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢</u>をできまってなどとい。 を記入してください。

 - を記入してください。
 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10	5
名	名

(注) ・大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

		設置時の記	計画		現在	E(報告書	提出時)	の状況		現在(報告書提出問	寺)の完成	(年度時の	計画
教 授	准教授	講師	助教	計	教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)
6	6	1	0	13	6	6	2	0	14	6	6	2	0	14
(6)	(6)	(1)	(0)	(13)						[0]	[0]	[1]	[0]	[1]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

		年齢構成	
	定年規定の定め る定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上記(A)) の教員のうち、 定年を延長して 採用している教 員数	完成年度時(上記 (B))の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
	65	0	0
ı	歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入
 - し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況		就日	辞退	(未就	任)の理由		
			-1												
1			該当なし												
2															
			合計	(A)					後	经任補充状況	の集計	(B))		
京	犹任:	を辞	退した教員数	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	計数 (a)		②の合計	数 (b))	③の合計	十数(c)
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		0		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		U	Λ	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -2専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合,赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当于	7定科目	後任補充	状況			辞任	等の	理由		
1			該当なし												
2															
			合計	(C)				後任補充状況の集計(D)							
	辞	任し	た 教員数	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	数(a)		②の合計	十数(b)		③の合計	十数(c	;)
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		^		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0	X	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)-①・(3)-② の合計

	合計(A) + (C)	後任補充状況の集計(B)+(D)									
辞任等した教員	員数	担当科目数の合語	計 (a) +	(p) + (c)	①の合計	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c)						
		必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0	科目	
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0	科目	
0	人	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0	科目	

(注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について,教員数、担当科目数の合計,後任補充の状況を記入ください。

該当なし		

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してくだ

5 教員組織の状況

<地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科>

(1) 担当教員表

(1)		教員表 設置	時の計	- 画			変	更 状	況	
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職位	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職位	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	三橋 伸夫 (高)	平成28年4月	新入生セミナー※ 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論B※	専	助教	大嶽 陽徳	平成28年4月	新入生セミナー※ 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論B※	平成29年3月 三橋伸夫教授退職のため担 当教員の変更、カリキュラ ム充実のため内容を変更 (29) 担当 大嶽 陽徳(助教) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
専	教授	郡 公子	平成28年4月	地域プロジェクト演習 設備工学 I 基築地域設計製図 建築乗城衰敗終 卒卒業政習 I 受外実習 I 設備エシリーンシップ 建築ダウ外実習 動機エシタマラップ 建築ダク外実習 形入生セミナー条 地域デザイン学序論 B ※						
専	教授	中島 史郎	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域プロジェクト 演習 建築第コンバージョン論 建築地域設計製図 卒業研究 卒業設計 建築リサイクル学 新入生セミナー※ 情報処理基礎 地域デザイン学序論 B ※						
専	教授	増田 浩志	平成28年4月	地域プロジェクト演習 地域の姿と課題Ⅱ※ 建築構造力学Ⅰ 建築無地域設計製図 卒業設計 建築構造力学Ⅲ 鉄骨構造 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論B※						
申	教授	杉山 央	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域フミュニケーション演習 地域プロミュニケーと演習 建築材料I 建築材料某験 建築解料実験 建築新研究 卒業設計 建築材料I 連発・技科I 地域デロジー※ 地域デザイン学序論B 地域デザイン学序論B 地域デザイン学序論B						
専	准教授	古賀 誉章	平成28年4月	社会調査法※ 地域プシェクト演習 リアクショフ 建築計画学I 建築設計画学I 建築設計製図I 建築設計製図I 建築設計製図II 建築級財製図II 建築が成設計製図 手を主要が完 本業設計 新介生セミナー※ 地域デザイン学序論 B※ 地域デザイン学序論					社会調査法※ クト流習ロジェック ト流習 ロジェッフ ト流習 日本	平成29年3月 - 二橋伸夫教授退職のため担 当教員の変更、カリキュラ ム充実のため内容を変更 (29) 担当 古賀 誉章 (准教 授) 型成28年12月 教員審査済 判定 可
専	准教授	横尾 昇剛	平成28年4月	地域プロジェクト演習 ワークショップ演習 環境工学 I 建築地域設計製図 建築環境 卒業設計 環境工学 II 地域環境エネルギー計画 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論 B ※	専	教授	横尾 昇剛	平成29年4月	卒業設計	担当教員の職位を変更 (29) 担当 横尾 昇剛(教授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可 担当 横尾 昇剛(教授) 平成29年6月 教員審査提出 予定

専	准教授	安森 亮維	平成28年4月	地域デザイン計開※ 地域コニケトン演習 地域コロジェクト演習 建築設計基礎図 建築設計基礎図 建築設計製図 I 建築級計製図 I 建築級地域別 建築系地域計 型 建築級地域 対 を卒業設計 建築デザイン 一 ※ 新空収・ 一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					地域でザイン訪問※ 地域マニッケーション演習 地域プロジェクト演習 ワー築設計製図 I 建築設計製図 I 建築設計製図 I 建築設計製図 I 建築設計製図 I 建築設計製図 I 建築設計製図 F を主義で発 が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	平成29年3月 三橋伸夫教授退職のため担 当教員の変更、カリキュラ 入充実のため内容を変更 担当 安森 売嬢(准教 授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
専	准教授	中野 達也	平成28年4月	地域の姿と課題 I ※ 地域プロジェク財 地域の姿と課題 II ※ 建築機造列図 I 建築地域設計製図 建築地域設計製図 全業研究 卒業設計 建築競造力学IV 鉄筋コンクリート構造 教養物理※ 地域デザイン学序論 B ※						
專	准教授	佐藤 栄治	平成28年4月	社会調査法※ 地域ブロジボックト演習 G I S演習 B 建築設計画学図 I 建築設計画学図 II 建築設計興空図 I 建築設計側学図 II 建築設計側型 B B B B B B B B B B B B B B B B B B B					社会調査法※ 地域プロジックト演習 G I S 演習※ 建築報酬 B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成29年3月 三橋伸夫教授退職のため担 当教員の変更、カリキュラ ム素のため内容を変更 (29) 担当 佐藤 栄治 (稚教 授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
専	准教授	藤本 郷史	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域コミュニケーション演習 地域コミュニケーション演習 建築図学※ 建築解技法験 建築特材実験 健築地域設計製図 卒業研究 卒業研究 本等が大生セミナー※ 地域デザイン学序論 B※					地域デザイン訪問※ 地域コミュニケーション演習 地域コミンエクト演習 建築図学※ 建築解析法 建築新科実験 建築郷地域設計製図 卒業研究 卒業設計 地域デザイン学序論 B※	教育的効果を高めるため配 当年次を変更 (29)
审	助教	糸井川 高穂	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 社会調査法※ 地域プロジェクト演習 建築段学※ 建築設計製図 I 建築設計製図 I 建築環境 事務の 本業設計 地域実験※ 卒業設計 地域デザイン学序論 B※					地域コミュニケーション演習 社会調査法※ 地域プロジェクト演習 建築電子製図 建築乗り製図 建築乗り製図 建築業研究 卒業とセナー・※ 地域デザイン学序論B※ 環境マネシメント実践	カリキュラムの整備により 科目を追加 (29) 担当 糸井川 高穂 (助教 授) 平成29年6月 提出予定
専	助教	中島 昌一	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域プロジェクト演習 建築構造力学演習 I 建築構造力学演習 I 建築設計製図 I 建築設計製図 平業研究 卒業研究 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論 B ※						
		中島 章典		地域デザイン倫理※	専	助教	大嶽 陽徳	平成28年4月	地域デザイン訪問 地域プロジェクト演習 建築設計基礎 建築設計製図 I 建築設計製図 I 建築設計製図 I 建築設計製図 I 建築設計製図 I 建築被計製図 I 定案等数計製図 I 定案等数計製図 I 定案等数 I を表現れ	カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) 担当 大嫌 陽徳 助教) 平成28年8月 教員審査済 判定 可
兼担	教授	下商 早典	平成28年10月	地域デザイン学序論 C ※						
兼担	教授	田巻 松雄	平成28年10月	社会学入門 グローバル化と外国人児童生徒教 育※						
兼担	教授	塚本 純	平成28年4月	経済分析入門 地域デザイン学序論 A ※						
兼担	教授	山岡 暁	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域デザイン学序論 C ※ 地域の姿と課題 Ⅱ ※						
兼担	教授	藤原 浩巳	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域デザイン倫理※						
			<u> </u>	地域デザイン学序論 C ※	I	1	L	<u> </u>	L	1

		中島 望		地域デザイン訪問※						
兼担	教授	下四 主	平成28年4月	生活美学 地域デザイン学序論 A ※						
兼担	教授	中村 祐司	平成28年4月	地域の姿と課題 I ※ 地域の姿と課題 II ※ まちづくり特講※ 現代政治の理論と実際 地域デザイン学序論 A ※						
兼担	教授	池田 裕一	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域デザイン倫理※ 地域デザイン学序論 C ※						
兼担	教授	長谷川 万由美	平成28年4月	社会福祉入門 災害復興学入門 3.11と学問の不確かさ※	兼担	教授	長谷川 万由美	平成28年4月	社会福祉入門 災害復興学入門 3.11と学問の不確かさ※ ボランティアという生き方	カリキュラムの整備により科目 を追加(29)
兼担	教授	矢嶋 徹	平成28年4月	微積分学及演習						
兼担	教授	原田 淳	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 まちづくり特講※ 農業経営入門 地域デザイン学序論A※						
兼担	教授	髙橋 俊守	平成28年4月	GIS演習※ 地域デザイン学序論A※						
兼担	教授	大森 宣暁	平成28年10月	地域デザイン倫理※ 都市計画※ 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論C※					地域デザイン倫理※ 都市計画※ 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論C※	平成29年3月 三橋伸夫教授退職のため担 当教員の変更,カリキュラ ム充実のため内容を変更 (29)
兼担	教授	大森 玲子	平成28年4月	まちづくり特講※ 地域デザイン学序論A※						
					兼担	教授	安藤 益夫	平成28年4月	世界の農業	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
兼担	准教授	佐々木 英和	平成28年4月	生涯学習概論						
兼担	准教授	清木 隆文	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域デザイン学序論C※						
兼担	准教授	丸岡 正知	平成28年10月	地域デザイン学序論C※						
兼担	准教授	加藤 弘二	平成28年4月	数理経済学入門						
兼担	准教授	西尾 孝佳	平成28年4月	生物多様性論 人と自然の共生を考える 生物の多様性とは何か 雑草線察入門 野外調査論 雑草と里山のフィールド演習 II						
兼担	准教授	小原 一馬	平成28年10月	遊びの理論とゲーム開発 グローバル化と外国人児童生徒教 参※						
兼担	准教授	阪田 和哉	平成28年4月	育※ 地域デザイン訪問※ まちづくり特講※ 社会統計学 に用経済学入門					地域デザイン訪問※ まちづくり特講※ 社会統計学 応用経済学入門 地域デザイン学序論A※	コミュニティデザイン学科 の留意事項に対応するため 内容の変更 (28)
兼担	准教授	石井 大一朗	平成28年4月	地域デザイン学序論A※ まちづくり論 まちづくり特講※ 地域コミュニケーション演習 ワークショップ演習 地域デザイン学序論A※					地域/ リイン・ナア 頭 A 公	
兼担	准教授	三田 妃路佳	平成28年4月	地域の姿と課題 I ※ 地域デザイン学序論 A ※	兼担	准教授	三田 妃路佳	平成28年4月	地域の姿と課題 I ※ 地域デザイン学序論 A ※ 現代日本の政治と行政	カリキュラムの整備により科目 を追加(29)
兼担	准教授	髙山 慶子	平成28年10月	歴史と文化						(-1)
兼担	准教授	若園 雄志郎	平成28年4月	ワークショップ演習 教育の裏側に光を当てる ものと文化と社会 地域デザイン学序論A※						
兼担	准教授	中川 敦	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 ワークショップ演習 高齢社会学 とちぎ終章学総論 とちぎ終章学や詩 地域デザイン学序論A※					地域コミュニケーション演習 ワークションブ演習 高齢社会学 とちざ終章学終論 とちざ終章学特講 地域デザイン学序論A※ 応用社会学	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
兼担	准教授	近藤 伸也	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 防災マネジメント I 地域デザイン学序論C※ 地域の姿と課題Ⅱ※						
兼担	准教授	白石 智子	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 パーソナリティ心理学概論 地域デザイン学序論A※						
兼担	准教授	海野 寿康	平成28年4月	地域の姿と課題Ⅰ※ 地域の姿と課題Ⅱ※ 地域デザイン学序論C※						
					兼担	准教授	藤倉 修一	平成28年4月	地域デザイン学序論C	カリキュラム充実のため担当教員を追加(29)
		H [1]		口上同体从	兼担	助教	NGUYEN MINH HAI	平成28年4月	地域プロジェクト演習	カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29)
兼担	講師	黒川 亨子	平成28年4月	日本国憲法法学概論					III-LE WATER AT METER AT	
兼担	講師	鈴木 富之	平成28年4月	地域デザイン訪問※ まちづくり特講※ 地域デザイン学序論A※					地域デザイン訪問※ まちづくり特講※ 地域デザイン学序論A※ 地誌学	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
					兼担	講師	呉 世雄	平成28年10月	とちざ終章学特講 地域プロジェクト演習 高齢者福祉入門 地域ケアマネジメント論 コミュニティデザイン演習(社会 福祉学分野) G I S演習※	カリキュラム充実のため担 当教員を追加 (29) カリキュラムの整備により科目 を追加(29)
兼担	助教	長田 哲平	平成28年10月	G I S演習※ 地区計画※ 希望の地域社会論※					G 1 3 原自 ※ 地区計画 ※ 希望の地域社会論 ※	平成29年3月 三橋伸夫教授退職のため担 当教員の変更,カリキュラ ム充実のため内容を変更 (29)
兼担	助教	飯村 耕介	平成28年10月	地域デザイン学序論C※						

				1						1
兼任	講師	冨田 満	平成30年10月	建築法規						
兼任	講師	細澤 治	平成30年10月	構造設計論						
兼任	講師	竹部 友久	平成30年4月	設備設計論【隔年】						
兼任	講師	川上 征雄	平成31年4月	国土計画※						
兼任	講師	印南 洋之	平成31年4月	国土計画※						
兼任	講師	秋山 学	平成30年10月	建築生産						
兼任	講師	更田 邦彦	平成30年10月	建築地域設計製図						
兼任	講師	若松 均	平成29年10月	建築設計製図Ⅱ						
兼任	講師	海老原 亨	平成28年4月	微積分学及演習						
									建築史I【隔年】	
兼任	講師	渡邉 美樹	平成29年10月	建築史Ⅰ【隔年】 建築史Ⅱ【隔年】	専	助教	大嶽 陽徳	平成28年4月	建築史Ⅱ【隔年】	カリキュラム整備のため担当教 員を変更(29) 担当 大嶽 陽徳(助教) 平成28年8月 教員審査済 判定 可
兼任	講師	山﨑 鯛介	平成30年10月	建築史Ⅲ【隔年】					-	
兼任	講師	實松 俊明	平成30年10月	土質基礎工学						
兼任	講師	石川 裕一郎	平成28年4月	日本国憲法						
兼任	講師	津田 求	平成28年4月	微積分学及演習	兼任	講師	中村 敦	平成28年4月	微積分学及演習	カリキュラム充実のため担当教 員の変更(29)
兼任	講師	永島 徹	平成28年4月	地域デザイン学序論A※	兼担	講師	呉 世雄	平成28年10月	地域デザイン学序論A※	カリキュラムの見直しによ り担当教員を変更(29)
兼任	講師	齋藤(小池) 雅子	平成29年4月	線形代数学及演習	兼任	講師	海老原 亨	平成28年4月	線形代数学及演習	カリキュラム充実のため担当教 員の変更(29)
水生				₩/P/1 数子及便省	兼任	講師	中村 敦	平成28年4月	線形代数学及演習	カリキュラム充実のため担当教 員の変更(29)

- (注)・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

 - 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は, 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

 - 書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注)・大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

	設置時の計画 現在(報告書提出時)の状況								現在(報告書提出時)の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講師	助教	計	教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)
4	6	0	2	12						5	5	0	3	13
(5)	(6)	(0)	(2)	(13)	5	5	0	3	13	[0]	[0]	[0]	[1]	[1]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。 ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。 ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合: Δ 1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齡構成	
定年規定の定め る定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上記(A)) の教員のうち、 定年を延長して 採用している教 員数	完成年度時(上記 (B))の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当于	予定科目	後任補充	状況	就任辞退(未就任)の理由						
1			該当なし												
·			m 1.4.0												
2															
	1														
			合計	(A)					後	经任補充状況	の集計	(B))		
5	就任	を辞	退した教員数	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	数(a)	②の合計数 (b))	③の合計	十数(c)
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		0		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	0 人 自由 0 科目		科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目			
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合,赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当于	予定科目	後任補充	状況	辞任等の理由							
1	1 該当なし															
2																
			合計	(C)					後	经任補充状 況	の集計(D))				
	辞任	£ί	た教員数	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	数(a)		②の合計	十数 (b)	③の合計	十数(c)		
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0	科目		
			科目	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0	科目					
		J	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0	科目		
				計	0	科目	計	0	科目	計	0 科目	計	0	科目		

- (注)・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)-①・(3)-② の合計

		合計(A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)								
	辞任等した教員	数	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a)	②の合計	十数 (b)	③の合計数 (c)				
ı			必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科1			
ı			選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科1			
	0	人	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科			
ı			計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科			

(注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について,教員数、担当科目数の合計,後任補充の状況を記入ください。

該当なし		
12 - 0 - 0		

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してくだ

5 教員組織の状況

<地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科>

(1) 担当教員表

(1)	123		<u>員表</u> 設置時の計画				変	更 状	況	
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職位	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職位	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	中島 章典	平成28年4月	地域デザイン倫理※ 地域デザイン倫理※ 地域プロジェクト演習 構造力学 I 社会基盤設計演習※ 土木工学実験 卒業研究 構造工学 I 構造工学 I 構造工学 I 構造工学 I 地域デザイン学序論C※	専	准教授	藤倉 修一	平成28年4月	地域デザイン倫理※ 地域プロジェクト演習 構造力学 I 土木工学実験 卒業研究 構造工学 I 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論C※	カリキュラム整備のため担 当教員を変更 (29) 担当 藤春 修一
専	教授	山岡 暁	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域アリジェクト演習 地域の変と課題 II ※ 海外プロジェクト I 海外プロジェクト演習 卒等研究 海外プロジェクト II 制地域デザイン学序論C ※					社会基盤設計演習※	平成28年12月 教員審查済 判定 可
専	教授	藤原 浩巳	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域デザイン倫理※ 地域アロシート演習 コンクリートエ学 I 幸楽研究 コンクリート工学 II 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論C※						
専	教授	池田 裕一	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域デザイン倫理ト 地域デリチイン倫理ト 連域でロション 社会基盤解析法 I 木理学 I 本薬域環境学 I 端域環境学 I 衛子生セミナー※ 情報処理基礎※ 関係のサイン学序論 C ※					地域デザイン訪問※ 地域デザイン倫理・ 地域デロシー 海型・ 社会基盤解析法 I ※ 本理学 I 本理学 I 本理学 E 主義環境学 I 流域環境学 I 簡素処理生素確等 新入生セミナー※ 情報処理基礎で、 一等 新工生で、デーー※ 情報処理・ 一等 を 一等 を 一等 を 一等 一等 一等 一等 一等 一等 一等 一等 一等 一等 一等 一等 一等	カリキュラム充実のため内容を 変更、担当教員を追加(29) 担当 池田 裕一(教授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
專	教授	大森 宜暁	平成28年4月	社会調査法 地域デザイン倫理※ 地域プロジェクト演習 卒業時完 電子調子 新介生セミナー※ 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論 C ※					社会調査法 地域デザイン倫理※ 地域プロジェクト演習 卒業部計画 都市計画※ 新工会会会 新工会会会 新工会会会 新工会会会 新工会会会 新工会会会 新工会会会 新工会会会 新工会会会 新工会会会 新工会会会 新工会会会 新工会会会 新工会会会 新工会 新工	平成29年3月 三橋伸夫教授退職のため担当 教員の変更,カリキュラム充実 のため内容を変更(29) 担当 大森 宣練(教授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
専	准教授	清木 隆文	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域プロジェクト演習 地域プロジェクト演習 店用力等下稿 社会基礎允 上本工学通論※ 新人生セミナー※ 地域デザイン学序論C※						
専	准教授	丸岡 正知	平成28年4月	地域プロジェクト演習 測量学 社会基礎設計演習※ 土木工学実験 辛業研究 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論C※						
専	准教授	近藤 伸也	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域フロジェク暦 II ※ 社会基盤解析法 II 防災マネジメント I 防災マネジメント j 育災マネジメント II 新八生セミナー※ 情報処理基礎※ 地域デザイン学序論 C ※					地域マミュニケーション演習 地域プロジェクト演習 地域の姿と課題Ⅱ※ 社会基盤解析法Ⅱ※ 情報の変素を発表している。 防災マネジメント 防災マネジメント 防防災マネジメント 所防災マネジメント 情報処理基礎 地域デザインー※ 情報処理・ 情報処理・ 地域デザイン・ 特別を発音ので、	カリキュラム充実のため内容を変更、担当教員を追加(29) 担当 近藤 伸也(准教授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
専	准教授	海野 寿康	平成28年4月	地域の姿と課題 I ※ 地域の姿と課題 II ※ 地域のマシェクト演習 土質力学 II 社会基盤設計演習 ※ 土木工学実験 卒業研究 土質基電工学 地域デザイン学序論 C ※					7000 / クリマ ナケケ 師し 次	
					専	准教授	藤倉 修一	平成28年4月	地域デザイン学序論C 土木工学実験 卒業研究	カリキュラム充実のため担当教 員を追加(29) 担当 藤倉 修一(准教授) 平成28年12月 教員審査済 判定 可

専	助教	長田 哲平	平成28年4月	G I S 演習※ 地域プロジェクト演習 土木計画学 別量学実習 卒業研究 地区計画※ 情報処理基礎※ 希望の地域社会論※					G I S演習※ 地域プロデ 地域プロデ 出土計画等習 辛業研究 地質製型建基研究 地質製型建基研 が 衛望の地域社会論※	平成29年3月 三橋伸夫教授退職のため担当 教員の変更、カリキュラム充実 のため内容を変更(29) 担当 長田 哲平(助教) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
専	助教	飯村 耕介	平成28年4月	地域プロジェクト演習 社会基盤設計演習※ 士木工学実験 卒業研究 情報処理基礎※ 地域デザイン学序論C※						
					専	助教	松本 美紀	平成28年4月	情報処理基礎 海外プロジェクト演習 防災マネジメント演習 卒業研究	カリキュラム充実のため担当教 員を追加(29) 担当 松本 美紀(助教) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
									社会基盤解析法 I ※ 社会基盤解析法 II ※	カリキュラム充実のため内容を 変更,担当教員を追加(29) 預当 松本 美紀(助教) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
					専	助教	NGUYEN MINH HAI	平成28年4月	情報処理基礎 地域プロジェクト演習 社会基盤設計演習※ 土木工学実験 卒業研究	カリキュラム充実のため担当教 員を追加(29) 担当 NGUYEN MINH HAI(助 教) 平成28年12月 教員審査済 判定 可
兼担	教授	三橋 伸夫 (高)	平成28年10月	希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論B※	兼担	助教	大嶽 陽徳	平成28年4月	希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論 B ※	平成29年3月 三橋伸夫教授退職のため担 当教員の変更(29)
兼担	教授	郡公子	平成28年10月	地域デザイン学序論B※						
兼担	教授	田巻 松雄	平成28年10月	社会学入門 グローバル化と外国人児童生徒教育 ※						
兼担	教授	塚本 純	平成28年4月	経済分析入門 地域デザイン学序論 A ※ 地域デザイン訪問※						
兼担	教授	中島望	平成28年4月	生活美学 地域デザイン学序論 A ※ 地域の姿と課題 I ※						
兼担	教授	中村 祐司	平成28年4月	地域の安と味短1 ※ 地域の安と味短1 ※ 地方自治論 まちづくり特講※ 現代政治の理論と実際 地域デザイン学序論 A ※						
兼担	教授	増田 浩志	平成28年10月	地域デザイン学序論 B ※ 地域の姿と課題 Ⅱ ※						
				社会福祉入門					社会福祉入門 災害復興学入門 3.11と学問の不確かさ※	
兼担	教授	長谷川 万由美	平成28年4月	災害復興学入門 3.11と学問の不確かさ※ 社会福祉学概論					ボランティアという生き方	カリキュラムの整備により科目を 追加(29) コミュニティデザイン学科
		中島 史郎		地域コミュニケーション演習	兼担	講師	呉 世雄	平成28年10月	社会福祉学概論	の留意事項に対応するため 配当年次,担当教員を変更 (29)
兼担	教授	中尚 実功	平成28年4月	地域デザイン学序論 B ※ 地域コミュニケーション演習						
兼担	教授	原田 淳	平成28年4月	農村マネジメント まちづくり特講※ 農業経営入門 地域デザイン学序論A※						
兼担	教授	杉山 央	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域コミュニケーション演習 地域デザイン学序論B※						
兼担	教授	髙橋 俊守	平成28年4月	GIS演習※ まちづくり特講※ 地域全態学 地域資源論						
兼担	教授	大森 玲子	平成28年4月	地域デザイン学序論A※ まちづくり特講※ 地域デザイン学序論A※						
		H >= ++ ++-T			兼担	教授	安藤 益夫	平成28年4月	世界の農業	カリキュラムの整備により科目を 追加(28)
兼担	准教授	佐々木 英和	平成28年4月	生涯学習概論					ワークショップ演習	
兼担	准教授	古賀 誉章	平成28年10月	ワークショップ演習 高齢者防災論 地域デザイン学序論 B ※					高齢者防災論 地域デザイン学序論B※	平成29年3月 三橋伸夫教授退職のため担当 教員の変更、カリキュラム充実 のため内容を変更(29)
兼担	准教授	加藤 弘二	平成28年4月	環境・資源経済学 数理経済学入門						
兼担	准教授	小原 一馬	平成28年10月	遊びの理論とゲーム開発 グローバル化と外国人児童生徒教育 ※						
兼担	准教授	西尾 孝佳	平成28年4月	生物多様性論 人と自然の共生を考える 生物の多様性とは何か 雑草観察入門 野外調査論 雑草と里山のフィールド演習Ⅱ						
兼担	准教授	横尾 昇剛	平成28年10月	ワークショップ演習 地域環境エネルギー計画 地域デザイン学序論 B ※	兼担	教授	横尾 昇剛	平成29年4月	ワークショップ演習 地域環境エネルギー計画 地域デザイン学序論B※ 環境マネジメント実践	担当教員の職位を変更(29) カリキュラムの整備により科目を 追加(29)

	或デザイン訪問※ 共経済学 コミュニティデザイン学科
土土 スノ 5 株3株ソ	の留意事項に対応するため 内容を変更 (28)
	5づくり特講※ 会統計学 コミュニティデザイン学科 の留意事項に対応するため 内容を変更 (28)
プロジェクト評価論 プロ 応用経済学入門	共マネジメント コジェケド評価論 用経済学入門 破デザイン学序論A※
まちづくり論 NPO論	
兼担	
地域	ェック
地域アサイン訪問※ ワー	ークショップ演習 望の地域社会論※ 平成29年3月 三橋伸夫教授退職のため担当 教員の変更、カリキュラム充実
	のため内容を変更(29) 域デザイン学序論 B ※
兼担 准教授 高山 慶子 平成28年10月 歴史と文化 地域史	abb - Vol. 1 am Hr. s. W.
***** 大巻が 三田 妃路佳 正式200万4日 地域の姿と課題 I ※ **** 大巻が 三田 妃路佳 正式200万4日 地域	域の姿と課題 I ※ 域デザイン学序論 A ※
	代日本の政治と行政 カリキュラムの整備により科目を 追加(29)

都市	IS演習※ 市計画※
	区計画※ 望の地域社会論※ 平成29年3月
新望の地域社会論※ 地域デザイン学序論B※	三橋伸夫教授退職のため担当 教員の変更,カリキュラム充実 のため内容を変更(29)
	域デザイン学序論 B※
地域の姿と課題 I ※ 地域の姿と課題 I ※ 地域の姿と課題 II ※ 地域の姿と課題 II ※ 数表物理 ※ 地域デザイン学序論 B ※	
ワークショップ演習 ワー	載コミュニケーション演習 −クショップ演習
兼担 准教授 中川 教 平成28年4月 とちぎ終章学総論 とち	齢社会学 ・ぎ終章学総論
地域デザイン学序論A※ 地域	>ぎ終章学特講
地域コミュニケーション演習	用社会学 科目を追加 (28)
#12	
兼担 准教授 藤本 郷史 平成28年4月 地域デザイン訪問※ 地域デザイン学序論 B ※	
兼担 講師 黒川 亨子 平成28年4月 日本国憲法 法学帳論	
観光地理学 観光地理学 観光地理学 観光地理学 観光地理学 はいっぱい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はい	載デザイン訪問※ 光地理学
兼担 講師 平成28年4月 地域デザイン学序論A※ 地域	づくり特講※
とも地域	ちぎ終章学特講 カリキュラム充実のため担 域プロジェクト演習 当教員を追加 (29)
本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語	齢者福祉入門 域ケアマネジメント論 カリキュラムの整備により科目を
コミ社会	ミュニティデザイン演習(社会福 追加(29) 学分野)
##A B ##A 糸井川 高穂 V は2044 A 地域コミュニケーション演習 ##A B ##A 糸井川 高穂 V は2044 A 地域	載コミュニケーション演習 域デザイン学序論B※
地域アサイン子外離B次	・ カリキュラムの整備により科目を
兼担 助教 中島 昌一 平成28年4月 地域デザイン学序論 B ※ 地域デザイン学序論 B ※ ・大装 陽徳 東京 日本	域デザイン訪問 カリキュラム充実のため担
川上な様	歌デッイン助同 カッキュラム元美のため担 咳プロジェクト演習 当教員を追加 (29)
ボロ 詩印	
来忙 蔣即	
兼任 講師 中中 中之 平成31年4月 国土計画※ 兼任 講師 小林 座志 平成30年10月 地質工学※	
*** **	
*** **	
兼任 講師 阿久津 富弘 平成30年4月 土木工学通論※	
兼任 講師 柴崎 宏一郎 平成30年4月 土木工学通論※	
兼任 講師 石川 裕一郎 平成28年4月 日本国憲法	
兼任 講師 高山 範理 平成31年10月 景観解析	
兼任 講師 高山 範理 平成31年10月 景観解析	カリキュラムの見直しにより担当教員を変更 (29)

(注)・設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

書き等のみを記入してください。

- ・後任未定」と記入してください。
 ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢 を記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における	うち、完成年度時に
設置基準上の必要専	おける設置基準上の
任教員数	必要教授数
8	4

(注)・大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

		設置時の	計画		現在	現在(報告書提出時)の完成年度時の計画								
教 授	准教授	講師	助教	計	教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)
5	4	0	2	11						5	5	0	4	14
(5)	(4)	(0)	(2)	(11)	5	5	0	4	14	[0]	[1]	[0]	[2]	[3]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。 ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。 ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合: Δ 1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齡構成	
定年規定の定め る定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上記(A)) の教員のうち、 定年を延長して 採用している教 員数	完成年度時(上記 (B))の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況		就日	は の理由				
	1			該当なし												
	'			成当なし												
	_															
1	2															
-																
				合計	(A)					後	任補充状況	の集計	(B))		
	京	ぜん	き辞	退した教員数	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	数 (a)		②の合計	b数(b))	③の合言	†数(c)
					必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			^		選択	0	科目	選択 0 🕫		科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合,赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当于	7定科目	後任補充	状況			辞任	等の	理由		
1			該当なし												
2	2														
			合計	(C)					後	经任補充状況	の集計	(D)		
	辞	任し	た 教員数	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	数(a)	②の合計数				③の合計	十数(c	;)
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	0 人			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		U	X	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)-①・(3)-② の合計

	合計(A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)							
辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)					①の合計数 (a) ②の合計数			十数 (b)	(b) ③の合計数 (c)		
		必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
0	.	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

=1			
該当なし	L		

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してくだ

5 教員組織の状況

<共通>

(1) 担当教員表

設置時の計画										
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職位	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 別	職位	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼担	- (学長)	石田 朋靖	平成28年4月	先輩に学ぶ						
兼担	(副学長)	池田 宰	平成28年4月	環境と生物化学						
兼担	(副学	藤井 佐知子	平成28年10月	男女共同参画社会を生きる					男女共同参画社会を生きる 終章を支える社会資源	カリキュラムの整備により科目 を追加(29)
兼担	教授	佐々木 史郎 (高)	平成28年4月	人文地理学入門 I 人文地理学入門 I 野外調査論						E.E.M (20)
兼担	教授	(高) (高)	平成28年4月	心理学と人権					心理学と人権	平成29年3月 橘川眞彦教授退職のため廃 止 (29)
兼担	教授	渡邉 直樹	平成28年4月	ドイツ語基礎Ⅲ ドイツ語基礎Ⅳ ドイツ語応用 I ドイツ語応用 II					ドイツ語基礎Ⅲ ドイツ語基礎Ⅳ ドイツ語応用 I ドイツ許応用 I ドイツ文学	カリキュラムの整備により科目を追加(28)
兼担	教授	市川 裕見子	平成29年4月	Advanced English I (Intensive Reading)						
兼担	教授	渡辺浩行	平成29年4月	Advanced English I (Presentation)						
兼担	教授	上田高嘉	平成28年4月	基礎生物学						
兼担	教授	茅野 理子	平成28年10月	ボディ・ランゲージ						
兼担	教授	伊藤 直次	平成28年10月	水素とエネルギー						
兼担	教授	木村 隆夫	平成28年4月	地球環境と化学						
兼担	教授	杉山 均 (高)	平成28年4月	教養物理※						
兼担	教授	末慶 啓子 (高)	平成28年4月	人間と社会 キャリアデザイン 社会奉仕活動 国際協力活動 実務体験活動 特別体験活動					人間と社会 キャリアデザイン 社会奉任活動 実務体験活動 実務体験活動 特別体験活動 課題発見・解決型インターンシップ 未ャリア形成に資する活動 課題発見・解決型インターンシップ B 課題発見・解決型インターンシップ C 課題発見・解決型インターンシップ C 課題発見・解決型インターンシップ C	カリキュラムの整備により 科目を廃止 (28) カリキュラムの整備により 科目を廃止 (28) カリキュラムの整備により 科目を廃止 (28) カリキュラムの整備により 科目を廃止 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を追加 (28) カリキュラムの整備により 科目を応止 (29) カリキュラムの整備により 科目を廃止 (29)
兼担	教授	江川 美知子	平成28年4月	Overseas Study A Overseas Study B Overseas Study C Overseas Study D					Oversees Study A Oversees Study B Oversees Study C Oversees Study D Study Abroad A Study Abroad B Study Abroad C Study Abroad D	カリキュラムの整備により 科目を廃止 (29) カリキュラムの整備により 科目を追加 (29)
兼担	教授	幡山 秀明 (高)	平成29年4月	Advanced English I (Intensive Reading)					bruay horous D	
兼担	教授	今井 直	平成28年4月	国際化と人権						
兼担	教授	堀田 直巳	平成28年4月	物理学入門						
兼担	教授	松居 誠一郎	平成28年4月	里山のサステイナビリティを考える					里山のサステイナビリティを考える 環境教育 環境マネジメント実践	カリキュラムの整備により科目 を追加(28) カリキュラムの整備により科目 を追加(29)
兼担	教授	東海林 健二	平成28年10月	グラフィックス入門						
兼担	教授	居城 幸夫	平成28年4月	食と生命のフィールド実践演習					食と生命のフィールド実践演習	蜂屋大八准教授退職のため担 当教員数の変更(28)
兼担	教授	池本 喜代正	平成28年4月	障害者問題入門【隔年】						
兼担	教授	柄木田 康之	平成28年4月	オセアニア民族誌 文化人類学入門 野外調査論						
兼担	教授	陣内 雄次	平成28年4月	住まいづくり・まちづくり入門						

兼担	教授	江川 千佳司	平成28年10月	不思議な化学]	l	1		I	1
兼担	教授	相田 吉昭	平成28年4月	地球環境と生物事件史						
	和1文		平成28年4月	地球県児と生物事件史 雑草と人のくらし					雑草と人のくらし	
兼担	教授	小笠原 勝	平成28年4月	雑草と里山のフィールド演習 I 雑草と里山のフィールド演習 II					雑草と里山のフィールド演習 I 雑草と里山のフィールド演習 II 地域振興と大学の役割	カリキュラムの整備により科目 を追加(28)
兼担	教授	重田 康博	平成28年4月	国際協力論入門						
兼担	教授	佐々木 一隆	平成29年4月	Advanced English I (Communicative Grammar)						
兼担	教授	小宮 秀明	平成28年10月	肥満の科学						
兼担	教授	松本 敏	平成28年4月	仏教における人間形成論						
兼担	教授	山田 洋一	平成28年4月	リメディアル化学						
		和田 義春								
兼担	教授	大栗 行昭	平成28年10月	食料生産の生物学						
兼担	教授	赤塚 朋子	平成28年4月	栃木県の歴史と文化						
兼担	教授	飯塚 和也	平成28年4月	オイコス入門						
兼担	教授		平成28年4月	3.11と学問の不確かさ※						
兼担	教授	大久保 達弘	平成28年4月	3.11と学問の不確かさ※						
兼担	教授	永井 明	平成28年10月	Webのしくみ						
兼担	教授	梶原 良成	平成28年10月	近現代美術論※						
兼担	教授	守安 敏久	平成28年4月	日本近代文学講読						
兼担	教授	磯谷 玲	平成28年4月	経済学I						
兼担	教授	丁貴連	平成28年4月	韓国文学 比較文学 朝鮮語基礎Ⅲ 朝鮮語基礎Ⅳ						
兼担	教授	倪 永茂	平成28年4月	C言語・プログラミング入門						
兼担	教授	下田 淳	平成28年4月	歴史学入門 歴史と民族						
兼担	教授	湯上 登	平成28年4月	歴史と氏族物理工学最前線					家庭の中の物理	カリキュラムの整備により
兼担	教授	横田 隆史	平成28年4月	プログラミング応用						科目名称を変更 (29)
兼担	教授	長尾 慶和	平成28年4月	食と生命のフィールド実践演習					食と生命のフィールド実践演習	蜂屋大八准教授退職のため担
		横田 信三							及ご王叩りノイニルド 天成領自	当教員数の変更(28)
兼担	教授	吉田 一彦	平成28年10月	ノーベル化学賞周辺の化学 多言語コミュニケーション学A						
兼担	教授		平成28年4月	多言語コミュニケーション学B 現代日本の社会						
兼担	教授教授	MALEE KAEWMANOTHAM 日野 圭子	平成28年4月 平成28年10月	タイ語基礎III タイ語基礎IV 数や図形の絵本づくり						
兼担	教授	齋藤 高弘	平成28年10月	美味しさを科学する-ミシュランガ						
		中村 真	平成28年10月	イド宇都宮をつくろうー						
兼担	教授	湯澤 伸夫		認知心理学入門 Advanced English I(Speech						
兼担	教授		平成29年4月	Clinic) ことばから見た人間						
兼担	教授	天沼 実	平成28年10月	Advanced English I (Communicative Grammar)						
兼担	教授	小原 伸一	平成28年10月	声楽の魅力						
兼担	教授	松井 貴子	平成28年4月	日本文化A 日本文化B						
兼担	教授	伊藤 聡志	平成28年4月	医用画像工学入門						
兼担	教授	入江 晃亘	平成28年10月	エレクトロニクス科学史						
兼担	教授	古神 義則	平成28年10月	ワイヤレス通信のしくみ						
		飯郷 雅之		3.11と学問の不確かさ※					3.11と学問の不確かさ※	
兼担	教授	以749 1比《	平成28年4月					<u></u>	サイエンスコミュニケーション入門〜理 系と文系の壁を超えよう	カリキュラムの整備により科目 を追加(28)
兼担	教授	黒後 洋	平成28年10月	バレーボールの科学						
兼担	教授	松島 さくら子	平成28年4月	美術表現基礎※						
兼担	教授	山根 健治	平成28年10月	人間生活と植物						
兼担	教授	山本 美穂	平成28年4月	3.11と学問の不確かさ※						
兼担	教授	松金 公正	平成28年4月	東アジアの宗教と文化 中国語基礎 I 中国語基礎II 中国語基礎II 中国語基礎IV 中国語応用 I 中国語応用 I						
兼担	教授	尾崎 功一	平成28年4月	3.11と学問の不確かさ※						
					兼担	教授	石野 健二 (高)	平成28年10月	声のトレーニング	カリキュラムの整備により科目 を追加(28) 平成29年3月 石野健二教授退職のため廃止 (29)
					兼担	教授	上田 俊策	平成28年10月	微生物の化学	カリキュラムの整備により科目 を追加(28) 平成29年3月 上田俊策教授退職のため廃止 (29)
					兼担	教授	杉田 昭栄	平成28年10月	人体の中の小宇宙	カリキュラムの整備により科目 を追加(28)
					兼担	教授	(高) 戸田 富士夫 (高)	平成28年10月	創造ものづくり入門	カリキュラムの整備により科目 を追加(28)
					兼担	教授	北川 義久	平成28年10月	数学の世界※	カリキュラムの整備により科目 を追加(28)
					兼担	教授	秋山 満	平成28年4月	資本論を読もう	カリキュラムの整備により科目
]	.,,,,,,,,				<u> </u>	を追加(28)

			Ī		兼担	教授	酒井 一博	平成28年10月	数学の世界※	カリキュラムの整備により科目
					兼担	教授	加藤 謙一	平成28年10月	スポーツトレーニング論	を追加(28) カリキュラムの整備により科目
					兼担	教授	齋藤 潔	平成28年10月	農業と文明	を追加(28) カリキュラムの整備により科目
					兼担	教授	鈴木 啓子	平成28年4月	日本の小説	を追加(28) カリキュラムの整備により科目
					兼担	教授	松原 真理	平成28年10月	創造ものづくり入門	を追加(28) カリキュラムの整備により科目
							吉澤 史昭	平成28年4月		を追加(28) カリキュラムの整備により科目
				Advanced English I (EAP)	兼担	教授		平成28年4月	健康のためなら死んでもいい!?	を追加(28)
兼担	准教授	BENNER BYRON GRANT (高) 野本 義弘	平成28年4月	Honors English A Honors English B Honors English C Honors English C Honors English D Honors English B Honors English G Honors English F Honors English G Honors Camp A Honors Camp D Honors Camp D						
兼担	准教授	野平 義弘	平成30年10月	知的財産権概論					ALLA OF A REPRESENT	校尺上川海井原門跡のとは村
兼担	准教授	高橋 行継	平成28年4月	食と生命のフィールド実践演習					食と生命のフィールド実践演習	蜂屋大八准教授退職のため担 当教員数の変更(28)
兼担	准教授	戚傑	平成28年10月	身近な気象学 Japanese Communication Arts グローバル化と外国人児童生徒教育					身近な気象学	
				※ ワークショップで学ぶ「変わりゆく」						
兼担	准教授	湯本 浩之	平成28年4月	現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティ アと市民活動」						
兼担	准教授	永井 真由美	平成28年10月	健康管理学概論						
兼担	准教授	福井 糧	平成28年10月	21世紀を支える熱帯植物					21世紀を支える熱帯植物 実践して学ぶミニ農業生産	カリキュラム整備のため科目を 追加(29)
兼担	准教授	上原 伸夫	平成28年4月	より良く生きる※						
兼担	准教授	柏嵜 勝	平成28年4月	食と生命のフィールド実践演習					食と生命のフィールド実践演習	蜂屋大八准教授退職のため担 当教員数の変更(28)
兼担	准教授	木下 大輔	平成28年10月	音楽通論						
兼担	准教授	佐々木 和也	平成28年10月	伝統染織と感性						
兼担	准教授	柏倉 隆之	平成28年4月	教養物理※						
兼担	准教授	松村 啓子	平成28年4月	農村空間論 里山のサステイナビリティを考える						
兼担	准教授	大庭 亨	平成28年4月	より良く生きる※						
兼担	准教授	鎌田 美千子	平成28年4月	言語習得論 アカデミック・ジャパニーズ 日本語アカデミック・ライティング 日本語アカデミック・プレゼンテー ション グローバル化と外国人児童生徒教育 ※						
兼担	准教授	米山 正文	平成28年4月	米文学入門 Advanced English I (Intensive Reading)						
兼担	准教授	阪本 公美子	平成28年4月	社会開発入門					社会開発入門 アフリカ学入門	カリキュラムの整備により科目 を追加(28)
兼担	准教授	上原 秀一	平成28年4月	3.11と学問の不確かさ※						
兼担	准教授	Andrew Neal Reimann	平成29年4月	Advanced English I (Speech Clinic)						
兼担	准教授	松本 太輝	平成28年4月	物質・材料の機器分析入門						
林1旦	「比4以1又		十成26年4月	Advanced English I						
兼担	准教授	谷 光生	平成28年4月	(Communicative Grammar) 科学技術のための専門日本語 人文社会系のための専門日本語						
兼担	准教授	丸山 剛史	平成28年4月	遊び論と遊び指導 グローバル化と外国人児童生徒教育 ※ 科学・技術・教育・社会を考える						
兼担	准教授	渡邊 信一	平成28年4月	人間の感覚を測る ものづくり体験						
兼担	准教授	松尾 昌樹	平成28年4月	中東の社会と文化						
兼担	准教授	髙橋 若菜	平成28年4月	環境と国際社会						
兼担	准教授	東剛人	平成28年4月	電気電子数学入門						
兼担	准教授	児玉 剛史	平成28年10月	ゲーム理論入門						
兼担	准教授	高山 道代	平成28年4月	日本文学(古典) 日本語の表記					日本文学(古典) 日本語の表記 日本語を文法的に考える	カリキュラムの整備により科目を廃止(29) カリキュラムの整備により科目 を追加(29)
兼担	准教授	森田 香緒里	平成28年10月	論理表現の技術						
兼担	准教授	田口 卓臣	平成28年4月	フランス語応用 I フランス語応用 II						
兼担	准教授	石川 隆行	平成28年10月	発達と学習の心理学						
兼担	准教授	熊田 禎介	平成28年10月	教科書に見る歴史と社会						
兼担	准教授	髙島 章悟	平成28年10月	器楽合奏概論					器楽合奏概論	カリキュラムの整備により科目 を廃止(28)
	压狄恔		十八八.26年10月	管打合奏演習					管打合奏演習	とが北(20)
兼担	准教授	本田 悟郎	平成28年10月	近現代美術論※	-					
兼担	准教授	東口武史	平成28年4月	振動の科学 放射線科学入門	-					This was a distance a second
兼担	准教授	岩永 将司	平成28年4月	ウイルスの世界と生物の世界					ウイルスの世界と生物の世界	カリキュラムの整備により科目 を廃止(29)

37:100	W 40 10	山田 有希子	77 h to - 17		l	1 1		Ī	İ	l I
兼担	准教授	佐々木 明子	平成28年4月	西洋思想 Integrated English I A						
兼担	准教授	清水 奈名子	平成28年4月	Integrated English II A 戦争と平和をめぐる諸問題						
兼担	准教授	艮 香織	平成28年4月	製すと十句をめてる頭の超 3.11と学問の不確かさ※ セクソロジー入門						
兼担	准教授		平成28年10月	男女共同参画社会を生きる						
兼担	准教授	新井 恵美	平成28年10月	著作権法入門						
兼担	准教授	株田 昌彦	平成28年4月	美術表現基礎※						
兼担	准教授	岡澤 慎一	平成28年4月	障害者心理学 子どもの言語とコミュニケーション						
兼担	准教授	谷島 尚宏	平成28年10月	入門 現代数学入門						
水坦	「田安八又		十成20年10月	先八奴子八门	- 1/- -l-r1	744 ±44 ±45	三橋 秀生	亚-2007-10日	₩.₩.ホ.Ш.用.W	カリキュラムの整備により科目
					兼担	准教授	川原 誠司	平成28年10月	数学の世界※	を追加(28) カリキュラムの整備により科目
					兼担	准教授	牧野 智彦	平成28年10月	学校臨床心理学	を追加(28) カリキュラムの整備により科目
					兼担	准教授	澤田 匡人	平成28年10月	数学の世界※	を追加(28) カリキュラムの整備により科目
					兼担	准教授		平成29年4月	心理学	を追加(29) カリキュラムの整備により科目
					兼担	准教授	司城 紀代美	平成29年4月	質的心理学研究法入門	を追加(29)
					兼担	准教授	福村 一成	平成29年4月	国際協力の実際と課題	カリキュラムの整備により科目 を追加(29)
					兼担	准教授	園田 昌司	平成29年4月	昆虫生理生態学	カリキュラムの整備により科目 を追加(29)
					兼担	准教授	原口 正	平成29年4月	精神医学概論	カリキュラムの整備により科目 を追加(29)
兼担	講師	MORRISON BARBARA	平成28年4月	Advanced English I (Speech Clinic)						
		Sueyoshi Ana		日本事情 スペイン語応用 I						
兼担	講師	山野 有紀	平成28年4月	スペイン語応用 II Advanced English I						
兼担	講師		平成29年4月	(Communicative Grammar)					グローバル・ガバナンス論入門	
兼担	講師	栗原 俊輔	平成28年4月	グローバル・ガバナンス論入門					クローバル・ガバナンス論人門 国際協力の実際と課題	カリキュラムの整備により科目
兼担	講師	小寺 祐二	平成28年4月	野外における鳥獣識別テクニックの					野外における野生動物識別テクニッ	を追加(29) カリキュラムの整備により科目
兼担	講師	立花 有希	平成28年4月	基礎 多文化共生論入門					クの基礎	名称を変更(28)
水1旦	Phi tuh	1 m + -	十八人20十年月	ロシア文学						
兼担	講師	大野 斉子	平成28年4月	フランス語基礎Ⅲ フランス語基礎Ⅳ						
兼担	講師	堀尾 佳以	平成28年4月	社会言語学概論-日本語の変遷-						
		出羽 尚		ヨーロッパ地域文化論 芸術と自然						
兼担	講師	H431 113	平成28年4月	Advanced English I (Intensive Reading)						
兼担	講師	松村 史紀	平成28年4月	国際政治史						
							久保 元芳		生活習慣と健康	カリキュラムの整備により科目 を追加(28)
					兼担	講師	久休 尤方	平成28年4月	スポーツと健康(卓球)	カリキュラム充実のため担当教
					兼担	講師	閻 美芳	平成28年10月	地域環境社会学	員を追加(28) カリキュラムの整備により科目
					兼担	講師	澤﨑 文	平成28年10月	日本の古典	を追加(28) カリキュラムの整備により科目
兼担	助教	原紳	平成28年10月	+ o al / in these	JK1⊑	PH-Inh		十八人20十10万	1400	を追加(28)
		三原 義樹		ものづくり体験						
兼担	助教	中林 正隆	平成28年10月	インターネットのしくみ						
兼担	助教	福森理加								蜂屋大八准教授退職のため担
兼担	助教	蜂須賀 美帆	平成28年4月	食と生命のフィールド実践演習 Integrated English I A					食と生命のフィールド実践演習	当教員数の変更(28)
兼担	助教	年/6月 天师	平成28年4月	Integrated English II A			阿部 容子		Integrated English I A	カリキュラム充実のため担当教
					兼担	助教		平成28年4月	Integrated English II A	員を追加(28)
					兼担	助教	川田 牧人	平成29年4月	Advanced English I (Cinema English)	カリキュラム充実のため担当教員を追加(28)
					兼担	助教	青野 香央里	平成28年4月	Integrated English I A Integrated English II A	カリキュラム充実のため担当教 員を追加(28)
					兼担	助教	柿谷 命	平成28年4月	Integrated English I A Integrated English II A	カリキュラム充実のため担当教 員を追加(28)
					兼担	助教	佐藤 研仁	平成28年4月	Integrated English I A Integrated English II A	カリキュラム充実のため担当教 員を追加(28)
					兼担	助教	宮代 こずゑ	平成29年4月	児童生徒の思考と認知	カリキュラムの整備により科目 を追加(29)
					兼任	教授	西須 紀昭	平成29年4月	とちぎ企業人に学ぶ~業界・仕事・社会~	カリキュラムの整備により科目 を追加(29)
兼任	講師	松岡 猛	平成28年4月	危機を見つめる力						
兼任	講師	西田 治子	平成28年4月	より良く生きる※						
兼任	講師	佐藤 禎宏	平成28年4月	Mathematicaによる微積分入門 Mathematica入門						
水正	րի 11-11-10			Mathematicaによるデータ解析入門						
兼任	講師	池田 勇介	平成28年10月	身のまわりのICT						
兼任	講師	村上修	平成28年4月	スポーツと健康 (サッカー)						
兼任	講師	泉田 スジンダ	平成28年4月	タイ語基礎 I タイ語基礎 II タイ語応用 I タイ語応用 II						
兼任	講師	石川 栄壽	平成28年4月	スポーツと健康 (サッカー)						
兼任	講師	小林 とし子	平成28年4月	日本文学 (古典)						
兼任	講師	池澤 實芳	平成28年4月	中国文学						
兼任	講師	景 慧	平成28年4月	中国語基礎 I						
兼任	講師	Peter Forrest Smith	平成28年4月	中国語基礎 II Integrated English IB Integrated English IIB Advanced English I (TOEIC)						
	講師	小川 亮彦		Advanced English I (EAP) フランス語基礎 I						
兼任		14 7 H 9 UBS	平成28年4月	フランス語基礎 II	1	1			İ	I

兼任	講師	中村 裕一郎	平成28年4月	グローバル時代の企業経営	1			I	I	1
水ഥ	D44-th/h		T/X207-1/1	スペイン語基礎Ⅰ	 	$\vdash\vdash\vdash$		 		_
兼任	講師	飯田 敏彦	平成28年4月	スペイン語基礎Ⅱ スペイン語基礎Ⅲ スペイン語基礎Ⅳ						
兼任	講師	小野 訓啓	平成28年10月	一地方銀行の歴史に学ぶ"金融経済 の仕組み"と"地域金融機関の役						
*/r	講師	渡辺 孝雄	W = 100 45 4 H	割"	 	$\vdash \vdash \vdash$				
兼任		Markus Franke	平成28年4月	実践企業人材論	<u> </u>	$\vdash \vdash \vdash$				
兼任	講師		平成28年10月	ドイツ語基礎Ⅱ	<u> </u>	igsquare				
兼任	講師	佐藤 敬一	平成28年4月	人と人をつなぐ・人と自然をつなぐ B	<u> </u>					
兼任	講師	花園 賢一郎	平成28年4月	スポーツと健康(フライングディス ク)	i		ļ			
兼任	講師	小川 和彦	平成28年4月	ドイツ語基礎 I						
兼任	講師	若林 正浩	平成28年4月	人と人をつなぐ・人と自然をつなぐ	l	\vdash				
	講師	須賀 晴美		A Advanced English I (Pleasure	 	$\vdash \vdash \vdash$				
兼任		酒井 典久	平成29年4月	Reading)	<u> </u>	\vdash	<u> </u>			
兼任	講師		平成28年4月	実践・宇都宮のまちづくり	<u> </u>					
兼任	講師	田口 紀男	平成28年4月	とちぎ終章学演習 I	<u> </u>					
兼任	護師	Garland Fatsque Rollins Jr.	平成28年4月	Integrated English IB Integrated English IB Advanced English I (EAP) Advanced English I (Media English) Advanced English I (Essay Writing) Advanced English I (TOEIC) Advanced English I (Vocabulary Building) Advanced English I (Foender English I (Fresentation)						
兼任	講師	平林 正樹	平成28年4月	働くことの意味と実際 企業のグローバル戦略とキャリア形						
水工	րդերդ	++	T/从40年4月	成	<u> </u>	Ш	ļ			
兼任	准教授	若林 秀樹	平成28年10月	グローバル化と外国人児童生徒教育 ※	<u></u>					
兼任	護師	Michael Stowe	平成28年4月	Integrated English IB Integrated English II Advanced English I (Public Speaking) Advanced English I (Presentation) Advanced English I (Vocabulary Building) Advanced English I (Essay Writing) Advanced English I (TOEIC)						
兼任	講師	守永 直幹	平成28年4月	フランス文学 フランス語基礎 I フランス語基礎 II						
兼任	講師	野上 和雄	平成28年10月	資本市場の役割と証券投資						
兼任	講師	齋藤 幸江	平成28年10月	キャリアデザイン	l					
		上野 剛志			 	$\vdash \vdash$				+
兼任	講師	平井 雅世	平成28年4月	とちぎ終章学演習 I 栃木の里山に学ぶ (春夏編)	<u> </u>	igwdown	ļ			
兼任	講師		平成28年4月	栃木の里山に学ぶ(秋冬編)	<u> </u>	igsquare				
兼任	講師	大野 直美	平成28年10月	英文学入門	<u> </u>					
兼任	講師	谷(赤堀)雅人	平成28年4月	里山のサステイナビオリティを考え る	i		ļ			
兼任	講師	佐藤 淳一	平成28年10月	ことばから見た人間						
兼任	講師	Jack Allen Stowers	平成28年4月	Integrated English IB Integrated English IIB Advanced English I (TOEFL) Advanced English I (Public Speaking)						
兼任	講師	吉野 聡	平成28年4月	スポーツと健康 (バレーボール)			_ 			
兼任	講師	原田 葉子	平成28年4月	現代美学		\Box				1
兼任	講師	綿貫(千手)由実子	平成28年4月	芸術学 日本国憲法		\vdash		 		
		平野 哲也		法学入門 地域の豚中	 	$\vdash \vdash$		 		+
兼任	講師		平成28年10月	地域の歴史 朝鮮語基礎 I	<u> </u>	\vdash		 	<u> </u>	
兼任	講師	筒井 真樹子 名古屋 光彦	平成28年4月	朝鮮語応用 I 朝鮮語応用 II	ļ					
兼任	講師	-p 口/#\$ /U/沙	平成28年4月	スポーツと健康 (ソフトボール)	<u> </u>	Ш			<u> </u>	亚出99年9月
兼任	准教授	蜂屋 大八	平成28年4月	宇大を学ぶ 生きるということ 体験! ぷろじぇくと 感じる・考える・話す アクティブにとらえる現代社会 食と生命のフィールド実践演習 「ぷろじぇくと」をやってみる	兼任	助教	桑島 英理住	平成28年10月	宇大を学ぶ 生きるということ 体験!ぶろじょくと 感じる・考える・話・ナ アクティブにとらえる現代社会 食と生命のフィールド実践演習 「ぶろじょくと」をやってみる	平成28年2月 学屋大八准教授退職のため担 当教員の変更(28) 平成28年2月 蜂屋大八准教授退職のため 廃止(28) 平成28年2月 蜂屋大八准教授退職のため担 当教員数の変更(28) 平成28年2月 蜂屋大八准教授退職のため担 当教員数の変更(28) 平成28年2月 蜂屋大八准教授退職のため担
兼任	准教授	Donal Rory Sean Banwell	平成28年4月	Integrated English I B Integrated English II B Advanced English I (EAP) Advanced English I (Essay Writing) Advanced English I (TOEIC) Honors English A Honors English B Honors English C Honors English C Honors English E Honors English E Honors English E Honors English B Honors English B Honors English B Honors English B Honors English B Honors English B Honors English B Honors English B Honors English B Honors English B						廃止 (28)
\vdash	1		'		44.10	准教授	蓑田 理香	平成29年4月	とちぎ仕事学	カリキュラム整備のため科目を

					兼任	准教授	砂田 薫	平成29年4月	とちぎ企業人に学ぶ~業界・仕事・社会	カリキュラム整備のため科目を 追加(29)
兼任	講師	Andrew Henderson	平成28年4月	Integrated English IB Integrated English IB Advanced English I (Academic Writing) Advanced English I (Presentation) Advanced English I (Essay Writing)						And a second of
兼任	講師	松本 昌宏	平成28年4月	とちぎ終章学演習Ⅱ						
兼任	助教	金 英花	平成28年4月	中国事情 グローバル韓国学						
兼任	講師	遠藤 正敬	平成28年4月	政治の世界 現代日本政治論						
兼任	講師	髙田 美保	平成28年4月	とちぎ終章学演習 I						
兼任	講師	杉本 隆久	平成28年10月	現代思想 西洋の倫理思想						
兼任	助教	長谷川 詩織	平成28年4月	映像分析の実践 世界のなかの日本文化						
兼任	講師	水野 雄司	平成28年4月	東洋思想						
兼任	講師	西田(鳥海) 善行	平成28年10月	マスコミ入門						
兼任	講師	Stephen John Dooley	平成28年4月	Integrated English IB Integrated English IIB Advanced English I (Academic Writing) Advanced English I (Media English)						
兼任	講師	小山 悠	平成28年4月	論理学 科学思想史						
兼任	講師	福富隆史	平成28年10月	起業の実際と理論						
兼任	助教	桑島 英理佳	平成28年10月	成人教育と参加型学習					成人教育と参加型学習 宇大を学ぶ 宇大生の宇大生による宇大生のための 理想の授業	蜂屋大八准教授退職のため担 当教員の変更(28) カリキュラム整備のため科目を 追加(29)
					兼任	助教	竹井 佐織	平成29年4月	宇大生の宇大生による宇大生のための 理想の授業 大学論 青年期教育論	カリキュラム整備のため科目を 追加(29)
兼任	講師	Keith Rodger	平成28年4月	Integrated English IB Integrated English IIB Advanced English I (TOEIC) Advanced English I (Discussion&Debate)						
兼任	講師	真壁 大輝	平成29年4月	Advanced English I (Cinema English) Advanced English I (Pleasure Reading)						
兼任	講師	崔 寶允	平成28年4月	朝鮮語基礎 I 朝鮮語基礎 II						
兼任	講師	日向野 真知子	平成28年4月	人と人をつなぐ・人と自然をつなぐ A						
兼任	講師	村上 達也	平成28年4月	行動心理学入門 実験心理学入門						
兼任	講師	石井 幹人	平成28年4月	スポーツと健康(テニス)						
兼任	講師	小倉 圭	平成28年4月	スポーツと健康 (ソフトボール)						
					兼任	講師	石井 怜子	平成28年10月	日本語アカデミック・リーディング I 日本語アカデミック・リーディング II	カリキュラムの整備により科目 を追加(28) カリキュラムの整備により科目 を追加(28)
					兼任	講師	MCCRUM MICHAEL DAVID	平成29年4月	Advanced English I (Speech Clinic)	カリキュラム充実のため担当教 員を追加(28)
					兼任	講師	内山 勢	平成28年10月	地域メディア演習	カリキュラムの整備により科目 を追加(28)
					兼任	講師	中野 誠	平成28年10月	地域金融機関とともに「地方創生」を考える	カリキュラムの整備により科目 を追加(28)
					兼任	講師	KIDD JOSHUA ALEXANDR	平成29年4月	Advanced English I (Discussion&Debate)	カリキュラム充実のため担当教 員を追加(28)
					兼任	講師	WARD MICHAEL	平成29年4月	Advanced English I (TOEFL)	カリキュラム充実のため担当教 員を追加(28)
					兼任	講師	村田 宗紀	平成29年4月	スポーツと健康(テニス)	カリキュラム充実のため担当教 員を追加(28)

- (注)・設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における漢年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の漢年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - <u>意見伺いで設置された学部等の事任教員を変更する場合</u>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画 変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任
 - を受害」を促出し、人子改直、子状広へ番級ニーよる教員負債番組(AC教員番組)を受けていたです。AC教員番組を受けずしません。
 ・「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()
 - 書き等のみを記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区分	留 意 事 項 等		履行状況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年8月)	「代表」 「で、 「で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	留意事項	「社会統計学」(3年次前期・選択・2単 位)の前半部分で学修することとりできません。 で学修することともというで学修することともいうで学修することともにというできませる。 単位)の教育は盛むとともに、「新一学」の教育を充っての教育を主まる。 学の大きなが、「ないのでは、「ないでは、「ないでは、」のでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	**************************************
設 置 時 (平成27年8月)	「公共経済学」(2年次前期・必修・2単位)の授業内容には、ミクロ経済学の基礎的な内容を扱う部分	留意事項	でいたと、 で対しているのである。 で対しているのである。 で対しているのである。 で対しているのである。 で対しているのである。 で対しているのである。 で対しているではしているである。 で対しているのである。 で対しているのである。 で対しているのである。 で対しているのである。 で対しているでではしているでではしているである。 で対していると、に、これでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	

「社会調査法」のシラバスには量 的調査に関する内容は盛り込まれて 設置時 いるものの、質的調査に関する内容 が盛り込まれていないため、新たに 授業科目を追加するなど、「社会調査法」の質的調査に関する充実を図 (平成27年8月) ること。 さらに、本学科の教育課程では、 会調査士資格の認定が取得できない おそれがあることから、資格取得に 対応する授業科目の内容や単位数等 を十分に確認した上で必要な見直し を行うなど、学生に不利益が生じな いよう適切に対応すること。 必修科目として「地域福祉の実 「地域デザイン学序 際」を追加し、 設 置 時 論A」において社会福祉学に関する 内容を加えているが、コミュニティ デザイン学科において①「地域社 (平成27年8月) 会」②「まちづくり」③「社会調査」④「ソーシャルスキル」を学 び、「地域対応力」を強化するため には、理系には不足している「人」 に着目した社会関係資本や地域ネッ トワークに関する知見が必要であ そのためには、地域における社 会福祉学的観点(高齢者福祉、格差 社会、ノーマライゼーション、ワークライフバランス等) や人的資源の

を配置すること。 新たに設けた「地域福祉の実際」は1年次後期の必修科目と2年次ででは1年次後期の必修科目と2年次前の選択科目は2年次後期の選択科目となって優別の選択科目としてできるのできるとができる。 な、概論を必修みことができるのうえ、配当年次を含めてできるのうよ

活用、雇用の観点について、体系的

に学ぶことが重要と考えられること

から、上記の対応のみでは不十分で

ある。以下の点に留意し、社会福祉 学に関する体系的な教育課程を編成

するとともに、開設後の教育課程の見直し等の検討を行うためにも、完

成年度までに社会福祉学の専任教員

「地域福祉論」(2年次後期)が 隔年開講となっているが、体系的に 履修できるよう毎年度開講すること。

地域における福祉を学ぶために は、ソーシャルワークや地域包括ケア等の医療・看護との連携や地域内 が重要である。これの内容を取り 扱う科目が配置資源科目解りのにおける が重要である。これの内容に 扱うは、おけるでは が重なである。 これの内容に が重要である。 これの内容に が重要である。 これの内容に が重要である といるなど、 授業科目の充実を図ること。

社会調査士資格については、平成28年3月 20日に一般社団法人社会調査協会から標準カ リキュラムに準拠する授業科目として正式に 留意事項認定された。

説明資料12 社会調査士科目認定証明書 説明資料13 社会調査士科目意見書 (28)

「社会調査法」(2年次後期・必修・2単位)に質的調査に関する内容を盛り込み、質的調査に関する内容を充実させた。

説明資料 1 「社会調査法」授業科目の概要 説明資料 2 「社会調査法」シラバス (29)

「社会調査法」にお いて質的調査に関す る内容を盛り込む。 ととし、平成29年度 からシラバスを書き 換える。なお、質的 調査の内容を含む科 目としては、「農村 マネジメント」(2年) (2年 次前期・必修・2単 位)、 「会話分析入 門」(3年次前期・選 「観光 択・2単位)、 学実習」(3年次後 期・選択・1単位)を 開講することとして おり、それらの中で 質的調査の教育を充 実させることとして 平成28年10月付けで

る。(28)

・「社会福祉学概論」を必修科目として、1

次後期に履修する ・2年次履修の「地域福祉論」は、「地域福 祉

-の実際」を吸収して内容を充実させ、毎年 開講とする。

社会福祉学分野専任教員として、講師1名

を平成28年10月付けで採用するとともに、

・福祉学関連に新規科目「地域ケアマネジメント論」を開講し、「地域資源科目群」の

会福祉学分野の教育を充実させる

との、カリキュラム改善を行った。 そして、これら科目を下記のように段階的 配当年次として、体系的履修をできるように した。

- ・1年次後期 「社会福祉学概論」(必修) 住 授業内容と配当学期を変更する科目

説明資料3 「社会福祉学概論」授業科目の 概要

概要 説明資料4 「社会福祉学概論」シラバス 説明資料5 「地域福祉論」授業科目の概要 説明資料6 「地域福祉論」シラバス 説明資料7 「地域ケアマネジメント論」授 発料8の概要

説明資料8 「地域ケアマネジメント論」シ ラバス (29)

留意事項

(注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄付行為又は寄付行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等

- について、具体的に記入し、<u>報告年度を()書き</u>で付記してください。 ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する 履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付 してください。
- ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される<u>全ての報告書に</u> 記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- · 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入して ください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

111

7 その他全般的事項

<地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

	設	置	時	の	計	画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし							
(1)							

- (注) ・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学委員会及び学部委員会を設置している。

[全学組織]教育企画会議及び同FD・高大連携WG (別紙1:「宇都宮大学教育企画会議の運営に関する申合せ」)

基盤教育センター基盤教育企画部門会議(別紙2:「宇都宮大学基盤教育センター規程」)

[地域デザイン科学部] 学部FD委員会

[各学科] カリキュラム検討委員会

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

[全学組織]教育企画会議及び同FD・高大連携WG (毎月開催予定、地域デザイン科学部委員それぞれ2名と1名) 基盤教育センター基盤教育企画部門会議 (月一回程度開催、地域デザイン科学部委員1名)

〔地域デザイン科学部〕学部 F D 委員会 (年数回開催、4名)

〔各学科〕 カリキュラム検討委員会

c 委員会の審議事項等

[全学組織]教育企画会議・・・全学 FDの審議

同FD・高大連携WG・・・全学FDの企画・運営

基盤教育センター・・・アクティブ・ラーニングに関する優良事例のティップス集やアクティブ・ ラーニング・マニュアルの作成

[地域デザイン科学部] 学部 FD委員会・・・学部 FDの企画・運営

[各学科] カリキュラム検討委員会・・・学科 F D の企画・運営

- ② 実施状況
 - a 実施内容

[全学組織]

- ・ アクティブラーニング指導法の研修
- ・ 新任教員のための研修会
- 講演会

[地域デザイン科学部]

・ 授業方法についての研究会

[各学科]

教員相互の授業参観

b 実施方法

〔全学組織〕

- ・ アクティブラーニングに関する優良事例のチップス集やアクティブラーニングマニュアルを用いたアクティブラーニング指導法の研修の実施
- ・ 新任教員のための研修会における教育・学生支援のあり方等について講義及び基盤教育センターにおける 教育セミナーの開催
- ・ 講演会(主催:教務委員会及び同アクティブラーニング・達成評価WG)

[地域デザイン科学部]

授業方法についての学習会(主催:学部FD委員会)

[各学科]

- ・ 教員相互の授業参観(主催:各学科カリキュラム検討委員会)
- c 開催状況(教員の参加状況含む)

[地域デザイン科学部]

・ 平成28年度は学習会を6回実施し、延べ約200人の教員が参加した。

[各学科]

- ・ 平成28年度は教員相互の授業参観を3科目で実施し、6人が参観を受け、14人が授業参観した
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 新任教員への授業法の指導に活用した。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

前後期それぞれで、授業評価期末アンケートを各1回(7月と1月)他、中間アンケートを各1回実施する予定

b 教員や学生への公開状況,方法等

報告書を作成し、教員に対して評価結果を周知するとともに、学生に対しては閲覧の方法により公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地域デザイン科学部は、地域の持続的な発展に関する教育・研究・地域貢献を推進することによって、豊かな生活の実現に 貢献することを基本理念とし、コミュニティデザイン学科、建築都市デザイン学科、社会基盤デザイン学科の3学科構成で、 地域の課題を理解し、各地域の強み(地域資源・地域特性)を活かしたまちづくりを支える専門職業人を養成することを目指 して、平成28年4月から設置計画に基づく教育課程を実現している。

して、平成28年4月から設置計画に基づく教育課程を実現している。 教員配置、施設、設備、授業科目、学部附属の地域デザインセンター等、計画通りに開設できたことにより、満足な状況に ある。入学者も定員を充足しており、宇都宮大学の他学部に比べて合格者の辞退率が低いなど、受験生からの評価も高いと判 断する。

当学部の開設を核とする重点戦略「地域の地の拠点形成」等が高い評価を受け、平成28年度機能強化経費の増額につながり、また、新校舎建設の建設費が、文部科学省施設整備補助金により28、29年度当初予算で措置され、平成29年度後期には新校舎が完成し使用開始となるなど、計画遂行に向けて順調に進んでいる。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期

翌年度4月頃に年次報告書を発行する 年2回(9月、2月を予定)開催する地域デザインネットワークで報告する

- b 公表方法
 - ・毎年「年次報告書(宇都宮大学地域デザイン科学部 実績報告書)」を作成し、県内自治体をはじめとする関係 各所に配布する
 - ・地域の自治体・企業等との協力で設置する「地域デザインネットワーク会議」において報告するとともに、 大学ホームページ上に公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成27年度に大学として機関別認証評価を実施しており、その後の評価については平成34年度までに受審することになっている(受審する年度は学内で検討中)
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- (4) 情報公表に関する事項
- 〇 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 ((有) ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (29年 5月 31日)

7 その他全般的事項

<地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

	設	置	時	の	計	画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし							

- (注) ・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学委員会及び学部委員会を設置している。

[全学組織]教育企画会議及び同FD・高大連携WG(別紙1:「宇都宮大学教育企画会議の運営に関する申合せ」はコミュニティデザイン学科に添付のため省略)

基盤教育センター基盤教育企画部門会議 (別紙2:「宇都宮大学基盤教育センター規程」はコミュニティデザイン学科に添付のため省略)

[地域デザイン科学部] 学部FD委員会

〔各学科〕 カリキュラム検討委員会

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

[全学組織]教育企画会議及び同FD・高大連携WG (毎月開催予定、地域デザイン科学部委員それぞれ2名と1名) 基盤教育センター基盤教育企画部門会議 (月一回程度開催、地域デザイン科学部委員1名)

[地域デザイン科学部] 学部 F D 委員会 (年数回開催、4名)

〔各学科〕 カリキュラム検討委員会

c 委員会の審議事項等

〔全学組織〕教育企画会議・・・全学FDの審議

同FD・高大連携WG・・・全学FDの企画・運営

基盤教育センター・・・アクティブ・ラーニングに関する優良事例のティップス集やアクティブ・

ラーニング・マニュアルの作成

[地域デザイン科学部] 学部 FD委員会・・・学部 FDの企画・運営

[各学科] カリキュラム検討委員会・・・学科 FDの企画・運営

- ② 実施状況
 - a 実施内容

[全学組織]

- ・ アクティブラーニング指導法の研修
- 新任教員のための研修会
- 講演会

[地域デザイン科学部]

・ 授業方法についての研究会

[各学科]

教員相互の授業参観

b 実施方法

[全学組織]

- ・ アクティブラーニングに関する優良事例のチップス集やアクティブラーニングマニュアルを用いたアクティブラーニング指導法の研修の実施
- ・ 新任教員のための研修会における教育・学生支援のあり方等について講義及び基盤教育センターにおける 教育セミナーの開催
- ・ 講演会(主催:教務委員会及び同アクティブラーニング・達成評価WG)

[地域デザイン科学部]

授業方法についての学習会(主催:学部FD委員会)

[各学科]

- ・ 教員相互の授業参観(主催:各学科カリキュラム検討委員会)
- c 開催状況(教員の参加状況含む)

〔地域デザイン科学部〕

・ 平成28年度は学習会を6回実施し、延べ約200人の教員が参加した。

[各学科]

- ・ 平成28年度は教員相互の授業参観を2科目で実施し、3人が参観を受け、8人が授業参観した
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 新任教員への授業法の指導に活用した。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

前後期それぞれで、授業評価期末アンケートを各1回(7月と1月)他、中間アンケートを各1回実施する予定

b 教員や学生への公開状況,方法等

報告書を作成し、教員に対して評価結果を周知するとともに、学生に対しては閲覧の方法により公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地域デザイン科学部は、地域の持続的な発展に関する教育・研究・地域貢献を推進することによって、豊かな生活の実現に貢献することを基本理念とし、コミュニティデザイン学科、建築都市デザイン学科、社会基盤デザイン学科の3学科構成で、地域の課題を理解し、各地域の強み(地域資源・地域特性)を活かしたまちづくりを支える専門職業人を養成することを目指して、平成28年4月から設置計画に基づく教育課程を実現している。

教員配置、施設、設備、授業科目、学部附属の地域デザインセンター等、計画通りに開設できたことにより、満足な状況にある。 入学者も定員を充足しており、宇都宮大学の他学部に比べて合格者の辞退率が低いなど、受験生からの評価も高いと判断する。 当学部の開設を核とする重点戦略「地域の地の拠点形成」等が高い評価を受け、平成28年度機能強化経費の増額につながり、また、新校舎建設の建設費が、文部科学省施設整備補助金により28、29年度当初予算で措置され、平成29年度後期には新校舎が完成し使用開始となるなど、計画遂行に向けて順調に進んでいる。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期

翌年度4月頃に年次報告書を発行する 年2回(9月、2月を予定)開催する地域デザインネットワークで報告する

- b 公表方法
 - 毎年「年次報告書(宇都宮大学地域デザイン科学部 実績報告書)」を作成し、県内自治体をはじめとする関係 各所に配布する
 - ・地域の自治体・企業等との協力で設置する「地域デザインネットワーク会議」において報告するとともに、 大学ホームページ上に公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成27年度に大学として機関別認証評価を実施しており、その後の評価については平成34年度までに受審することになっている(受審する年度は学内で検討中)
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- (4) 情報公表に関する事項
- 〇 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (29年 5月 31日)

7 その他全般的事項

<地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

	設	置	時	の	計	画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし							
()2)						== 1.1 Ll =	

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学委員会及び学部委員会を設置している。

[全学組織]教育企画会議及び同FD・高大連携WG(別紙1:「宇都宮大学教育企画会議の運営に関する申合せ」はコミュニティデザイン学科に添付のため省略)

基盤教育センター基盤教育企画部門会議 (別紙2:「宇都宮大学基盤教育センター規程」はコミュニティデザイン学科に添付のため省略)

[地域デザイン科学部] 学部FD委員会

〔各学科〕 カリキュラム検討委員会

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

[全学組織]教育企画会議及び同FD・高大連携WG (毎月開催予定、地域デザイン科学部委員それぞれ2名と1名) 基盤教育センター基盤教育企画部門会議 (月一回程度開催、地域デザイン科学部委員1名)

[地域デザイン科学部] 学部 F D 委員会 (年数回開催、4名)

〔各学科〕 カリキュラム検討委員会

c 委員会の審議事項等

〔全学組織〕教育企画会議・・・全学FDの審議

同FD・高大連携WG・・・全学FDの企画・運営

基盤教育センター・・・アクティブ・ラーニングに関する優良事例のティップス集やアクティブ・ ラーニング・マニュアルの作成

[地域デザイン科学部] 学部 FD委員会・・・学部 FDの企画・運営

[各学科] カリキュラム検討委員会・・・学科 FDの企画・運営

- ② 実施状況
 - a 実施内容

[全学組織]

- ・ アクティブラーニング指導法の研修
- ・ 新任教員のための研修会
- 講演会

[地域デザイン科学部]

・ 授業方法についての研究会

[各学科]

教員相互の授業参観

b 実施方法

〔全学組織〕

- ・ アクティブラーニングに関する優良事例のチップス集やアクティブラーニングマニュアルを用いたアクティブラーニング指導法の研修の実施
- ・ 新任教員のための研修会における教育・学生支援のあり方等について講義及び基盤教育センターにおける 教育セミナーの開催
- ・ 講演会(主催:教務委員会及び同アクティブラーニング・達成評価WG)

[地域デザイン科学部]

授業方法についての学習会(主催:学部FD委員会)

[各学科]

- ・ 教員相互の授業参観(主催:各学科カリキュラム検討委員会)
- c 開催状況(教員の参加状況含む)

〔地域デザイン科学部〕

・ 平成28年度は学習会を6回実施し、延べ約200人の教員が参加した。

[各学科]

- ・ 平成28年度は教員相互の授業参観を1科目で実施し、2人が参観を受け、10人が授業参観した
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 新任教員への授業法の指導に活用した。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

前後期それぞれで、授業評価期末アンケートを各1回(7月と1月)他、中間アンケートを各1回実施する予定

b 教員や学生への公開状況,方法等

報告書を作成し、教員に対して評価結果を周知するとともに、学生に対しては閲覧の方法により公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地域デザイン科学部は、地域の持続的な発展に関する教育・研究・地域貢献を推進することによって、豊かな生活の実現に 貢献することを基本理念とし、コミュニティデザイン学科、建築都市デザイン学科、社会基盤デザイン学科の3学科構成で、 地域の課題を理解し、各地域の強み(地域資源・地域特性)を活かしたまちづくりを支える専門職業人を養成することを目指 して、平成28年4月から設置計画に基づく教育課程を実現している。

して、平成28年4月から設置計画に基づく教育課程を実現している。 教員配置、施設、設備、授業科目、学部附属の地域デザインセンター等、計画通りに開設できたことにより、満足な状況にある。入学者も定員を充足しており、宇都宮大学の他学部に比べて合格者の辞退率が低いなど、受験生からの評価も高いと判断する。

当学部の開設を核とする重点戦略「地域の地の拠点形成」等が高い評価を受け、平成28年度機能強化経費の増額につながり、また、新校舎建設の建設費が、文部科学省施設整備補助金により28、29年度当初予算で措置され、平成29年度後期には新校舎が完成し使用開始となるなど、計画遂行に向けて順調に進んでいる。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期

翌年度4月頃に年次報告書を発行する 年2回(9月、2月を予定)開催する地域デザインネットワークで報告する

- b 公表方法
 - ・毎年「年次報告書(宇都宮大学地域デザイン科学部 実績報告書)」を作成し、県内自治体をはじめとする関係 各所に配布する
 - ・地域の自治体・企業等との協力で設置する「地域デザインネットワーク会議」において報告するとともに、 大学ホームページ上に公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成27年度に大学として機関別認証評価を実施しており、その後の評価については平成34年度までに受審することになっている(受審する年度は学内で検討中)
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

無

)

- (4) 情報公表に関する事項
- 設置計画履行状況報告書 a ホームページに公表の有無 (*(* **7**)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (29年 5月 31日)